

(H24調理加工(茨城)大玉すいか)

写真1. ハウス全景



写真2. 散布状況1(ポリフィルムにより遮蔽より奥:無処理区)



写真3. 散布状況2



写真4. A区第1回散布時の果実の大きさ



写真5. A区第2回散布時の果実の大きさ



写真6. A区第3回散布時の果実の大きさ



写真7. A区第4回散布時の果実の大きさ



写真8. A区第5回散布時の果実の大きさ



写真9. B区第1回散布時の果実の大きさ



写真10. B区第2回散布時の果実の大きさ



写真11. B区第3回散布時の果実の大きさ



写真12. B区第4回散布時の果実の大きさ



写真13. 試料採集の状況1



写真14. 試料採集の状況2



写真15. 無処理区Cの試料の果実の大きさ



写真16. 処理区Bの1日後試料の果実の大きさ

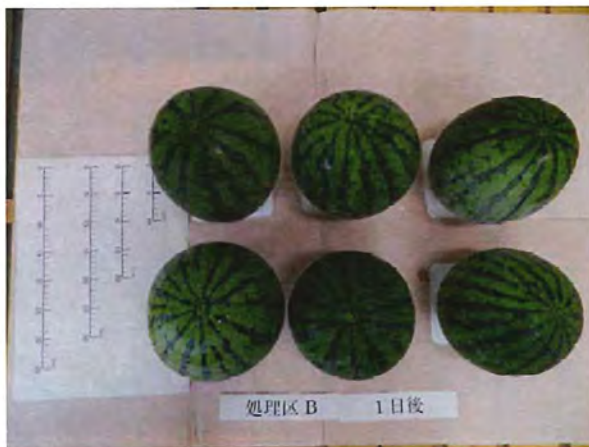


写真17. 処理区Bの3日後試料の果実の大きさ



写真18. 処理区ABの7日後試料の果実の大きさ



(H24調理加工(茨城)大玉すいか)

写真19. 処理区Aの1日後試料の果実の大きさ



写真20. 処理区Aの3日後試料の果実の大きさ



写真21. 処理区Aの7日後試料の果実の大きさ



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年10月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①メダチオン(スプライト水和剤), ②フロニクド(ウララDF), ③アマトキタム(アキラ顆粒水溶剤)。
 (2) 有効成分名及び成分含有率 ①メダチオン 36.0%, ②フロニクド 10.0%, ③アマトキタム 10.0%。
 (3) 被験物質のLot No. ①SIK1JWP040, ②759586, ③SIK1KWG010。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④アセキノシル(カネイトプロアブル), ⑤トルフェンピラト(ハチハチ乳剤), ⑥イプロジオン(ロブテール水和剤)。
 (2) 有効成分名及び成分含有率 ④アセキノシル 15.0%, ⑤トルフェンピラト 15.0%, ⑥イプロジオン 50.0%。
 (3) 被験物質のLot No. ④37175, ⑤1H01A, ⑥PD12C00005。

2. 農作物名 すいか 品種名 夜空 (大玉)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 覚、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 (植壤土) 増土・軽増土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トコ栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種: 平成24年8月30日, 定植: 9月20日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm,

1条植, 約1800株/10a, 施肥: 平成24年8月1日 ケントップ 1500kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

9月17日 こうち園芸ペレット(6-8-4) 117kg/10a, マル栽培, 加温栽培,

その他管理は慣行に従った。人工交配: 10月14日~ 10月22日。

収穫期間(適期): 平成24年11月下旬 ~

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ —
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 各28.0㎡, 50株
無処理区C: 11.2㎡, 20株

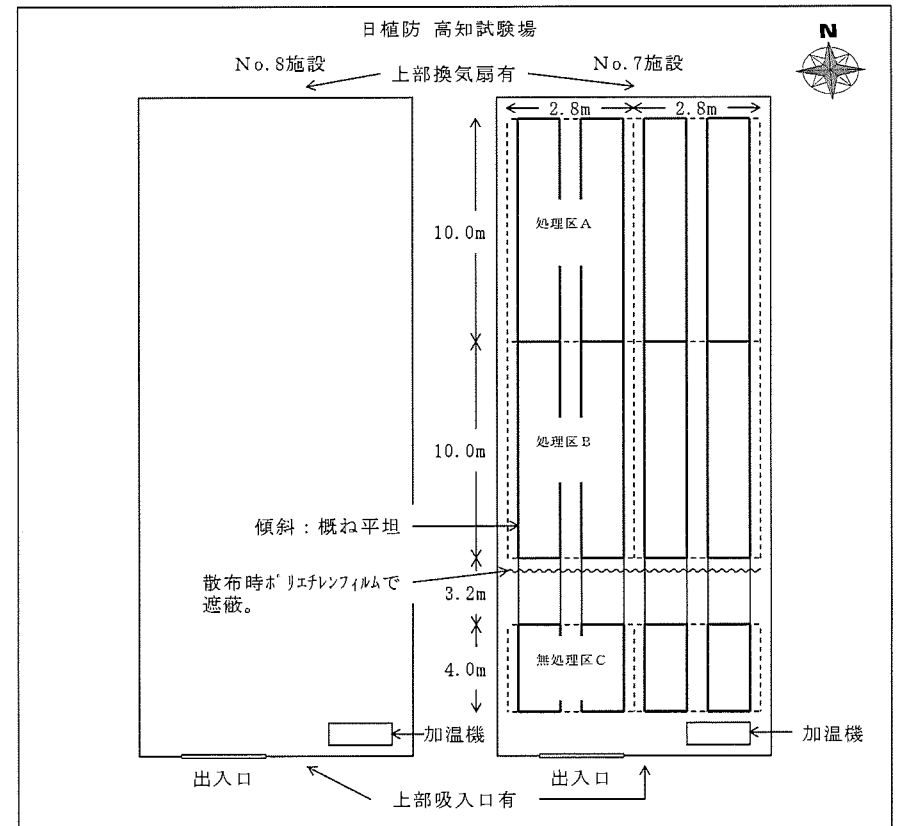
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 225㎡, 容積: 680㎡, 高さ: 3.4m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H24年10月30日	○		無処理			①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月6日	○					①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月13日	①, ③					①1000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ③3.9g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月20日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, ③3.9g /7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月26日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, ③3.9g /7.8L/28.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日	①:メダチオン(スプライト)水和剤									
月 日	②:フロンイト(ウララDF)									
月 日	③:チアトキム(アキラ顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		処理時刻	処理時の天候
H24年10月30日	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理開始時刻; 15:50 処理時の天候: 曇 当日の天候: 曇
11月6日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月13日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:10	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:00	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月26日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:30	処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年11月6日		⑥	無処理			⑥1000倍	279L	⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月13日		⑥				⑥1000倍	279L	⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月20日		⑤, ⑥				⑤1000倍, ⑥1000倍	279L	⑤7.8mL, ⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月26日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	279L	④7.8mL, ⑤7.8mL, /7.8L/28.0㎡ ⑥7.8g	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日	④アセキノシル(カネマイトフロアブル)									
月 日	⑤トルフェンビラト(ハチハチ乳剤)									
月 日	⑥イブロンゾン(ロフラル水剤)									
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		処理時刻	処理時の天候
H24年11月6日	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 処理時の環境条件等 土壌混和時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:00	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月13日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 13:55	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:30	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月26日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:40	処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24. 11月27日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A; 9:40 ~ 9:50 B; 8:30 ~ 8:40 天候: 晴れ C; 7:10 ~ 7:20	C → B → A	A区: 6個 (19.1kg) B区: 6個 (18.7kg) × 1分析 C区: 6個 (19.7kg)	11月27日
11月29日	A-2	B-2						採取 A; 13:30 ~ 13:40 B; 13:05 ~ 13:15 天候: 曇	B → A	A区: 6個 (19.4kg) B区: 6個 (18.8kg) × 1分析	11月29日
12月 3日	A-3	B-3						採取 A; 10:40 ~ 10:50 B; 10:20 ~ 10:30 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (19.1kg) B区: 6個 (18.8kg) × 1分析	12月 3日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24. 11月27日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="checkbox"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="checkbox"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
11月29日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="checkbox"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="checkbox"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
12月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="checkbox"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="checkbox"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="checkbox"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input type="checkbox"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="checkbox"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input type="checkbox"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="checkbox"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input type="checkbox"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で行った。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱脂・初すり等の方法、今後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

果実を個別に包装紙で包んだ後、ポリエチレン袋に入れ、包装紙を敷いたダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを敷き、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを貼り付けた。また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農業研究所

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

(24-調理加工 (高知) 大玉すいかⅠ)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：メロン

平成23年.11/4 グコニール1000 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍, モレスタン水和剤 3000倍 散布,
11/18 カンタストライフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, グコニール1000 1000倍 散布,
11/27 ポリオキシナル水溶剤 50倍塗布,
12/7 グコニール1000 1000倍 散布,
11/28, 12/5, 12 モスピラン水溶剤 2000倍, アフェットフロアブル 2000倍, サンマイトフロアブル 1000倍 散布。

平成23年秋冬作：きゅうり

平成23年.11/2 モレスタン水和剤 3000倍, ヘストガード水溶剤 1000倍, ランマンフロアブル 2000倍 散布,
11/18 カンタストライフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, グコニール1000 1000倍 散布。

平成23年秋冬作：すいか

平成23年.11/2 モレスタン水和剤 3000倍, ヘストガード水溶剤 1000倍 散布,
11/18 カンタストライフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, グコニール1000 1000倍 散布,
12/2 アファーム乳剤 2000倍, スレックス水和剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,
12/1, 8 トレボン乳剤 1000倍, バッサ乳剤 1500倍, アドマイヤ顆粒水和剤 10000倍, ゲントツ水溶剤 2000倍 散布,
12/12 トレボン乳剤 1000倍, アドマイヤ顆粒水和剤 10000倍 散布,
12/14 バッサ乳剤 1500倍, ゲントツ水溶剤 2000倍 散布。

平成24年冬春作：にがうり

平成24年.2/28 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,
3/7 アドマイヤ顆粒水和剤 10000倍 散布,
3/28 モスピラン水溶剤 4000倍, グコニール1000 1000倍 散布,
4/12 モスピランジェット 50g/400㎡,
4/10, 17, 24, 5/1, 8 トップシンM水和剤 1500倍 散布。

平成24年春夏作：ピーマン

平成24年.6/11 シアントラニプロール(DKI-1045)粒剤 2g/株, アルバリン粒剤 1g/株, アルバリン粒剤 2g/株。

平成24年秋冬作：すいか (大玉すいか, 小玉すいか)

平成24年.10/2 フェニックス顆粒水和剤 2000倍, アドマイヤフロアブル 4000倍 散布,
10/24 フェニックス顆粒水和剤 2000倍, ヘルカートフロアブル 1000倍, ヘストガード水溶剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

すいか

平成24年.10/30 以降の防除はなし。

(24-調理加工 (高知) 大玉すいか I)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
10	気温 (施設内温度)																														18.2	21.6	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																○
	区記号 (試料番号)																																A
11	気温 (施設内温度)	21.4	21.4	21.3	21.6	20.1	20.4	20.2	20.4	20.1	19.7	17.1	20.2	18.6	19.0	18.3	19.6	15.8	19.2	19.5	19.2	18.4	16.0	16.5	17.4	17.7	16.7	16.6	17.1	14.3	17.2		
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取						○							○							○						○	△			△		
	区記号 (試料番号)						A, B							A, B								A, B						A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2			
12	気温 (施設内温度)	16.3	14.4	16.8																													
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取			△																													
	区記号 (試料番号)			A-3, B-3																													
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (試験区パネルと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、テークガー (株式会社 ティント・ティ おんどとりTR-71Ui) を使用した。

(24-調理加工(高知)大玉すいかⅠ)

別紙1 試料写真

写真1. 試験区全景



写真2. 1回目処理



写真3. 2回目処理



写真4. 3回目処理



写真5. 4回目処理



写真6. 5回目処理



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年11月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①メチダチオン(スプライト®水和剤), ②フロニカミド(ウララDF), ③チアトキシム(アタラ顆粒水溶剤)。
 (2) 有効成分名及び成分含有率 ①メチダチオン 36.0%, ②フロニカミド 10.0%, ③チアトキシム 10.0%。
 (3) 被験物質のLot No. ①SIK1JWP040, ②759586, ③SIK1KWG010。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④アセキシル(カネイト707®), ⑤トルフェンバト(ハチチ乳剤), ⑥イプロジオン(ロブール水和剤)。
 (2) 有効成分名及び成分含有率 ④アセキシル 15.0%, ⑤トルフェンバト 15.0%, ⑥イプロジオン 50.0%。
 (3) 被験物質のLot No. ④37175, ⑤1H01A, ⑥PD12C00005。

2. 農作物名 すいか 品種名 夜空 (大玉)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 寛、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土 (壤土) 埴壤土・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被選資材(茶は選れい紗番号)、いちご・おうとう等の被選時期、茶の選れい紗・ト初栽培の被選時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

大玉すいか: 播種: 平成24年9月16日, 定植: 10月9日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm, 1条植,
約1800株/10a, 施肥: 平成24年8月9日 ヤシガラチップ 1400kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

追肥: 11月16日 くみあい液肥1号(12-5-7) 33kg/10a, マル栽培, 加温栽培,

その他管理は慣行に従った。人工交配: 10月31日~11月7日。

収穫期間(適期): 平成24年12月中旬~

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 各28.0㎡, 50株
無処理区C: 11.2㎡, 20株

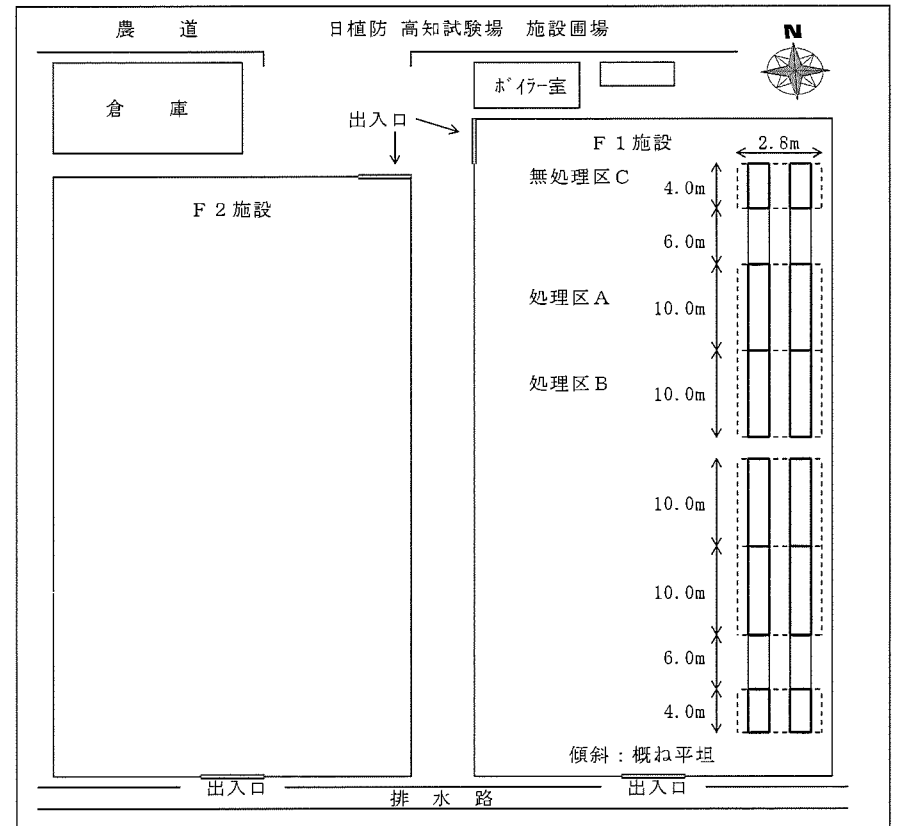
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 986㎡, 容積: 2909㎡, 高さ: 3.9m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の東方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年11月13日	①		無処理			①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月20日	①					①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月27日	①, ③					①1000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ③3.9g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
12月4日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, ③3.9g / 7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月10日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, ③3.9g / 7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日	①:メチダチオン(スプライト水和剤)									
月 日	②:フロンカミト(ウララDF)									
月 日	③:チアトキム(アクラ顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		処理時刻	処理時の天候
H24年11月13日	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 処理時の環境条件等 土壌湿潤時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:05	処理時の天候: 曇一時雨 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 10:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月27日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 14:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月4日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 14:45	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月10日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:20	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年11月20日		⑥	無処理			⑥1000倍	279L	⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月27日		⑥				⑥1000倍	279L	⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
12月4日		⑤, ⑥				⑤1000倍, ⑥1000倍	279L	⑤7.8mL, ⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月10日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	279L	④7.8mL, ⑤7.8mL, ⑥7.8g /7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日	④アセキノシル(カネマイトフロアブル)									
月 日	⑤トルフェンビラト(ハチハチ乳剤)									
月 日	⑥イブロジオン(ロフレール水和剤)									
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
			H24年11月20日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。
11月27日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 13:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月4日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 13:45	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月10日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 15:20	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24.12月11日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A; 10:40 ~ 10:50 B; 10:00 ~ 10:10 天候: 晴れ C; 9:20 ~ 9:30	C → B → A	A区: 6個 (13.0kg) B区: 6個 (14.0kg) × 1分析 C区: 6個 (12.3kg)	12月11日
12月13日	A-2	B-2						採取 A; 10:30 ~ 10:40 B; 9:20 ~ 9:30 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (13.3kg) B区: 6個 (14.4kg) × 1分析	12月13日
12月17日	A-3	B-3						採取 A; 10:00 ~ 10:10 B; 9:10 ~ 9:20 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (13.6kg) B区: 6個 (14.6kg) × 1分析	12月17日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24.12月11日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月13日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月17日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で行った。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・積すり等の方法、車後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

果実を個別に包装紙で包んだ後、ポリエチレン袋に入れ、包装紙を敷いたダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを敷き、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを貼り付けた。また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考 -

(24 - 調理加工 (高知) 大玉すいかⅡ)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：きゅうり

平成23年. 11/25 アファーム乳剤 2000倍, ランマンフロアブル 2000倍, カンタストライフロアブル 1000倍 散布,
12/1 スピロン乳剤 1000倍, モレスタン水和剤 2000倍, トレボン乳剤 1000倍, アトマイヤー顆粒水和剤 5000倍 散布。

平成23年秋冬作：メロン

平成23年. 12/27 ヘルコートフロアブル 2000倍, アファーム乳剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,
12/27 アルバリン粒剤 2g/株,
平成24年. 1/11 ヘルコート水和剤 1000倍, アファーム乳剤 1000倍, アトマイヤー顆粒水和剤 5000倍 散布,
1/26 ボリタシAL水溶剤 1000倍, フレオフロアブル 1000倍, トップジンM水和剤 1500倍 散布,
2/6, 13, 20 モスビラン水溶剤 2000倍 散布,
3/1 アファーム乳剤 2000倍, ヘルコートフロアブル 2000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布。

平成24年春夏作：ししとう

平成24年. 5/2 ホルスター乳剤 1500倍, アトマイヤー顆粒水和剤 10000倍 散布,
5/9 ハチハチ乳剤 1000倍 散布,
5/25 ハチハチ乳剤 1000倍 散布,
6/7 ホルスター乳剤 1500倍, トルネートフロアブル 2000倍 散布,
6/15 アファーム乳剤 2000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍, モレスタン水和剤 3000倍 散布,
6/22 ボリタシAL水溶剤 5000倍, フレオフロアブル 1000倍 散布,
7/4 アファーム乳剤 2000倍 散布,
4/27 タントウ粒剤 1g/株,
6/5, 12, 19 タントウ水溶剤 2000倍 散布。

平成24年秋冬作：すいか (大玉すいか, 小玉すいか)

平成24年. 8/24 D-D 20L/10a,
9/20 アトマイヤー顆粒水和剤 5000倍, タコニール1000 1000倍 散布,
10/10 アファーム乳剤 1000倍 散布,
10/29 ガートホープ液剤 4000倍 灌注,
11/9 ヘルコートフロアブル 1000倍, フェニックス顆粒水和剤 2000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

すいか

平成24年. 11/30 ヘルコートフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 1000倍, ベストガード水溶剤 2000倍 散布。

(24-調理加工 (高知) 大玉すいかII)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 _____ 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11	気温 (施設内温度)													21.9	21.2	20.6	22.6	18.3	21.3	22.6	21.4	21.9	18.9	19.0	20.6	21.6	19.5	19.8	21.0	18.7	20.3	
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取													○								○						○				
	区記号 (試料番号)													A								A, B						A, B				
12	気温 (施設内温度)	19.7	17.7	20.9	19.7	18.7	19.0	19.8	18.8	19.1	19.5	20.4	20.3	18.5	21.2	21.5	21.0	18.8														
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取				○						○	△		△				△														
	区記号 (試料番号)				A, B						A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2					A-3, B-3														
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (試験区アベルと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、データカー (株式会社 ティアドグレイ おんどとりTR-71Ui) を使用した。

(24-調理加工(高知)大玉すいかⅡ)

別紙1 試料写真

写真1. 試験区全景



写真4. 3回目処理



写真2. 1回目処理



写真5. 4回目処理



写真3. 2回目処理



写真6. 5回目処理



平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 月 ~ 24年 月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①チアメトキサム(アクタラ)顆粒水溶剤, ②フロンカミト(ウララ)DF, ③DMTP(スプラサイト)水和剤, ④イプロロン(ロフラル)水和剤, ⑤トルフェンピラト(ハチハチ)乳剤, ⑥アセキノシル(カネマイト)フロアブル
(2) 有効成分名及び成分含有率 ①チアメトキサム 10%, ②フロンカミト 10%, ③DMTP 36%, ④イプロロン 50%, ⑤トルフェンピラト 15%, ⑥アセキノシル 15%
(3) 被験物質の Lot No. ①SIK1KWG010, ②759586, ③SIK1JWP040, ④PD12C00005, ⑤1H01A, ⑥37175

- 2. 農作物名 すいか (大玉) 品種名 縞王
3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場
試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設 (H-08)
4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬
5. 土性 砂壤土
6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)
別紙に記載。

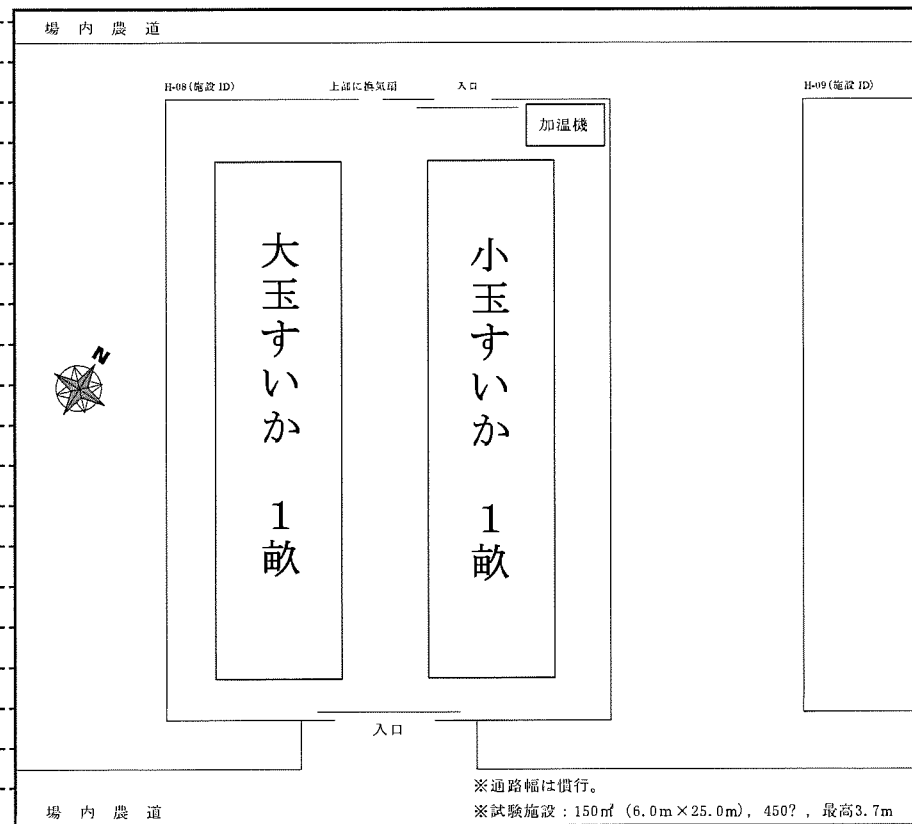
- 7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トネ栽培の被覆時期を記載する
<施設> 無袋
番種:平成24年8月27日(台木 かちどき2号:12/8/24) 接ぎ木:平成24年9月3日
定植:平成24年9月24日 畝間:2.50m 株間:0.30m 1条植 主枝2本仕立て
栽植本数(10aあたり):1300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦
施肥(10aあたり):<元肥>12/9/13 有機配合888号(8-8-8) 38kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 25kg
<追肥>無し
交配期間:交配無し

- 8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

- 9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡(6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m
(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)
ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



備考 当該作物がセンチウの被害等により生育が見込めない状況となったため、10月中旬に試験を中止した。

24 - 調理加工 (宮崎) 大玉すいかA)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

氏. 過去1年間に作付けた作物及び使用した農薬

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
メロン	モレスタン水和剤	11	10	12	3000倍
	ダントツ水溶剤	11	10	12	2000倍
	アファーム乳剤	11	10	12	1000倍
	スタークル顆粒水溶剤	11	10	24	2000倍
	モレスタン水和剤	11	10	24	3000倍
	スミレックス水和剤	11	10	24	1000倍
	ランマンフロアブル	11	10	24	1000倍
	ライメイフロアブル	11	11	15	2000倍
	アファーム乳剤	11	11	15	1000倍
	スミレックス水和剤	11	11	15	1000倍
	ダントツ水溶剤	11	11	15	4000倍
	モレスタン水和剤	11	11	15	3000倍
	モスピラン水溶剤	11	11	28	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	28	1000倍
	アフェットフロアブル	11	11	28	2000倍
	アファーム乳剤	11	11	30	1000倍
	スミレックス水和剤	11	11	30	1000倍
	モレスタン水和剤	11	11	30	3000倍
	ライメイフロアブル	11	11	30	2000倍
	モスピラン水溶剤	11	12	5	2000倍
サンマイトフロアブル	11	12	5	1000倍	
アフェットフロアブル	11	12	5	2000倍	
アフェットフロアブル	11	12	12	2000倍	
サンマイトフロアブル	11	12	12	1000倍	
モスピラン水溶剤	11	12	12	2000倍	
すいか	モレスタン水和剤	11	10	12	3000倍
	ダントツ水溶剤	11	10	12	2000倍
	アファーム乳剤	11	10	12	1000倍
	ジマンダイセン水和剤	11	10	24	600倍
	モレスタン水和剤	11	10	24	3000倍
	アフェットフロアブル	11	11	14	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	14	1000倍
	モスピラン水溶剤	11	11	14	2000倍

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
すいか	ダントツ水溶剤	11	11	15	4000倍
	スミレックス水和剤	11	11	15	1000倍
	アファーム乳剤	11	11	15	1000倍
	モレスタン水和剤	11	11	15	3000倍
	モスピラン水溶剤	11	11	21	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	21	1000倍
	アフェットフロアブル	11	11	21	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	28	1000倍
	アフェットフロアブル	11	11	28	2000倍
	モスピラン水溶剤	11	11	28	2000倍
	みょうが	ランマンフロアブル	12	3	28
アファーム乳剤		12	6	6	1000倍
リトミル粒剤2		12	7	12	20kg/10a, 生育期, 畝面上土壌散布
スピノエース顆粒水和剤		12	7	17	5000倍
コロイト乳剤		12	7	17	1000倍
ランマンフロアブル		12	8	9	500倍, 3 $\frac{1}{2}$ ℓ/m ² , 生育期, 畝面土壌灌注
ランマンフロアブル		12	8	17	500倍, 3 $\frac{1}{2}$ ℓ/m ² , 生育期, 畝面土壌灌注
ランマンフロアブル		12	8	23	500倍, 3 $\frac{1}{2}$ ℓ/m ² , 生育期, 畝面土壌灌注
オラクル顆粒水和剤		12	8	27	2000倍, 3 $\frac{1}{2}$ ℓ/m ² , 土壌灌注
フェニックス顆粒水和剤		12	8	27	2000倍
小玉すいか	ダコニール1000	12	8	24	1000倍(台木)
	塩基性塩化銅	12	8	24	種苗会社による種子浸漬(台木)
	ダコニール1000	12	8	27	1000倍
	塩基性塩化銅	12	8	27	種苗会社による種子浸漬
	アミスター20フロアブル	12	9	7	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	11	800倍
	ダントツ水溶剤	12	9	21	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	21	600倍
	アファーム乳剤	12	9	21	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	21	3000倍
	スミレックス水和剤	12	9	21	1000倍
アファーム乳剤	12	10	5	1000倍	

24 ー 調理加工（宮崎）大玉すいかA）

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

㊦. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名（商品名または有効成分）	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
大玉 すいか 現作)	ダコニール1000	12	8	24	1000倍(台木)
	塩基性塩化銅	12	8	24	種苗会社による種子浸漬(台木)
	ダコニール1000	12	8	27	1000倍(穂木)
	塩基性塩化銅	12	8	27	種苗会社による種子浸漬(穂木)
	アミスター207ロアブル	12	9	7	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	11	800倍
	ダントツ水溶剤	12	9	21	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	21	600倍
	アファーム乳剤	12	9	21	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	21	3000倍
	スミレックス水和剤	12	9	21	1000倍
	アファーム乳剤	12	10	5	1000倍

平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 月 ~ 24年 月)

1. 被験物質

1) 一般名・剤型 ①チアメトキサム(アクタラ)顆粒水溶剤, ②フロニカミド(ウララ)DF, ③DMTP(スプラサイト)水和剤, ④, イプロジオン(ロブテール)水和剤, ⑤トルフェンピラト(ハチハチ)乳剤, ⑥アセキノシル(カネマイ)フロアブル

2) 有効成分名及び成分含有率 ①チアメトキサム 10%, ②フロニカミド 10%, ③DMTP 36%, ④イプロジオン 50%, ⑤トルフェンピラト 15%, ⑥アセキノシル 15%

3) 被験物質の Lot No. ①SIK1KVG010, ②759586, ③SIK1JWP040, ④PD12C00005, ⑤1H01A, ⑥37175

2. 農作物名 すいか (大玉) 品種名 綺王

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設 (H-07)

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壤土

3. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番登)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トシ栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

番種:平成24年10月15日(台木 かしどき2号:12/10/11) 接ぎ木:平成24年10月22日

定植:平成24年11月27日 畝間:2.50m 株間:0.30m 1条植 主枝2本仕立て

栽植本数(10aあたり):1300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

畝肥(10aあたり):<元肥>12/11/16 有機配合888号(8-8-8) 63kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 42kg

<追肥>無し

交配期間:13/1/09~1/29

3. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

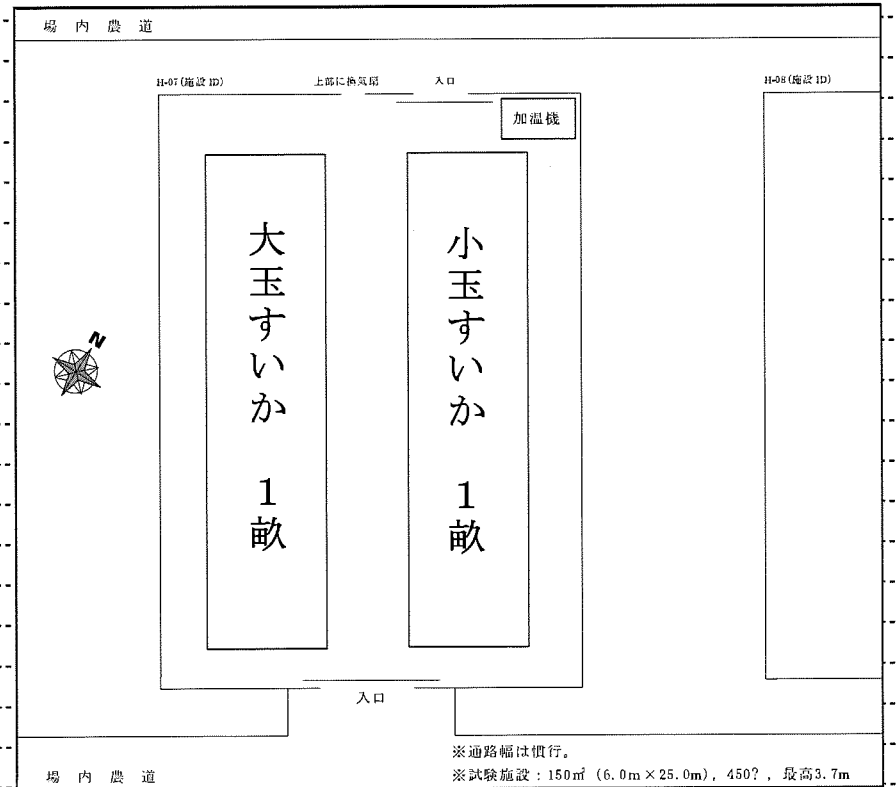
10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡(6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



※通路幅は慣行。
※試験施設:150㎡(6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m

備考 低温・日照不足のため交配後に着果不良となった。このために草勢が強くなり着果が見込めない状況となった。以上のとおり試料採取ができないために2月上旬に試験を中止した。

24 - 調理加工（宮崎）大玉すいかB）

㊦. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名（商品名または有効成分）	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
け物用 メロン	タチカレース液剤	12	1	31	500倍, 1ℓ/株 灌注
	イオウフロアブル	12	2	16	500倍
	ランマンフロアブル	12	2	16	1000倍
	カンタストライフロアブル	12	2	16	1000倍
	スターマイトフロアブル	12	2	16	2000倍
	プレオフロアブル	12	2	21	1000倍
	モスピラン水溶剤	12	2	24	2000倍
	モスピラン水溶剤	12	3	2	2000倍
ーマン	スタークル顆粒水溶剤	12	4	13	3000倍
	モレスタン水和剤	12	4	13	3000倍
	フルピカフロアブル	12	4	30	2000倍
	ダントツ水溶剤	12	5	1	4000倍
	アファーム乳剤	12	5	1	1000倍
	モレスタン水和剤	12	5	1	3000倍
	S-2200SC	12	5	2	2000倍
	フルピカフロアブル	12	5	7	2000倍
	S-2200SC	12	5	9	2000倍
	アファーム乳剤	12	5	11	1000倍
	プレオフロアブル	12	5	11	1000倍
	フルピカフロアブル	12	5	14	2000倍
	S-2200SC	12	5	16	2000倍
	フルピカフロアブル	12	5	21	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	5	26	2000倍
	モレスタン水和剤	12	5	26	3000倍
	アファーム乳剤	12	5	26	1000倍
	プレオフロアブル	12	5	26	1000倍
	アフェットフロアブル	12	6	11	2000倍, 1ℓ/株, 株元灌注
	ダントツ水溶剤	12	6	13	2000倍
イオウフロアブル	12	6	13	500倍	
アファーム乳剤	12	6	13	1000倍	
アフェットフロアブル	12	6	18	2000倍, 1ℓ/株, 株元灌注	
アフェットフロアブル	12	6	25	2000倍, 1ℓ/株, 株元灌注	
裸地	クロピクテープ	12	7	25	110m/100㎡
きゅうり	ジノテフラン・ベンチオピラト(MHS-1201)スプレー	12	8	28	原液散布
	KPP-209-SC(ポリオキシD亜鉛塩)	12	8	28	2000倍
	モレスタン水和剤	12	8	28	3000倍
	KUF-2401水和剤(新規+既知)	12	8	28	2000倍

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

作物	農薬名（商品名または有効成分）	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
きゅうり	KUF-2401水和剤(新規+既知)	12	9	5	2000倍
	ジノテフラン・ベンチオピラト(MHS-1201)スプレー	12	9	5	原液散布
	KPP-209-SC(ポリオキシD亜鉛塩)	12	9	5	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	5	3000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	9	7	2000倍
	アファーム乳剤	12	9	7	2000倍
	ジノテフラン・ベンチオピラト(MHS-1201)スプレー	12	9	13	原液散布
	KPP-209-SC(ポリオキシD亜鉛塩)	12	9	13	2000倍
	KUF-2401水和剤(新規+既知)	12	9	13	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	13	3000倍
小玉 すいか	モスピラン水溶剤	12	11	22	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	11	22	400倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	17	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	17	3000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	17	600倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	アファーム乳剤	13	1	9	1000倍
	コルト顆粒水和剤	13	1	9	4000倍
	スミレックス水和剤	13	1	9	1000倍
	ダコニール1000	13	1	9	1000倍
大玉 すいか (現作)	モスピラン水溶剤	12	11	22	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	11	22	400倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	17	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	17	3000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	17	600倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	アファーム乳剤	13	1	9	1000倍
	コルト顆粒水和剤	13	1	9	4000倍
	スミレックス水和剤	13	1	9	1000倍
	ダコニール1000	13	1	9	1000倍

平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 月 ~ 24年 月)

1. 被験物質

1) 一般名・剤型 ①チアトキサム(アクトラ)顆粒水溶剤, ②フロカミド(ウララ)DF, ③DMTP(スプラサイト)水和剤, ④イプロシオン(ロフテール)水和剤, ⑤トルフェンピラト(ハチハチ)乳剤, ⑥アセキノシル(カネマイト)フロアブル

2) 有効成分名及び成分含有率 ①チアトキサム 10%, ②フロカミド 10%, ③DMTP 36%, ④イプロシオン 50%, ⑤トルフェンピラト 15%, ⑥アセキノシル 15%

3) 被験物質の Lot No. ①SIK1KWG010, ②759586, ③SIK1JWP040, ④PD12C00005, ⑤1H01A, ⑥37175

2. 農作物名 すいか (大玉) 品種名 綺王

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設 (S-3, S-5)

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壤土

3. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トシ栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

播種:平成24年10月30日(台木 からどき2号:12/10/26) 接ぎ木:平成24年11月6日

定植:平成24年12月11日 畝間:2.50m 株間:0.30m 1条植 主枝2本仕立て

栽植本数(10aあたり):1300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

元肥(10aあたり):<元肥>12/11/29 有機配合888号(8-8-8) 50kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 33kg

<追肥>無し

交配期間:13/1/17~1/26

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

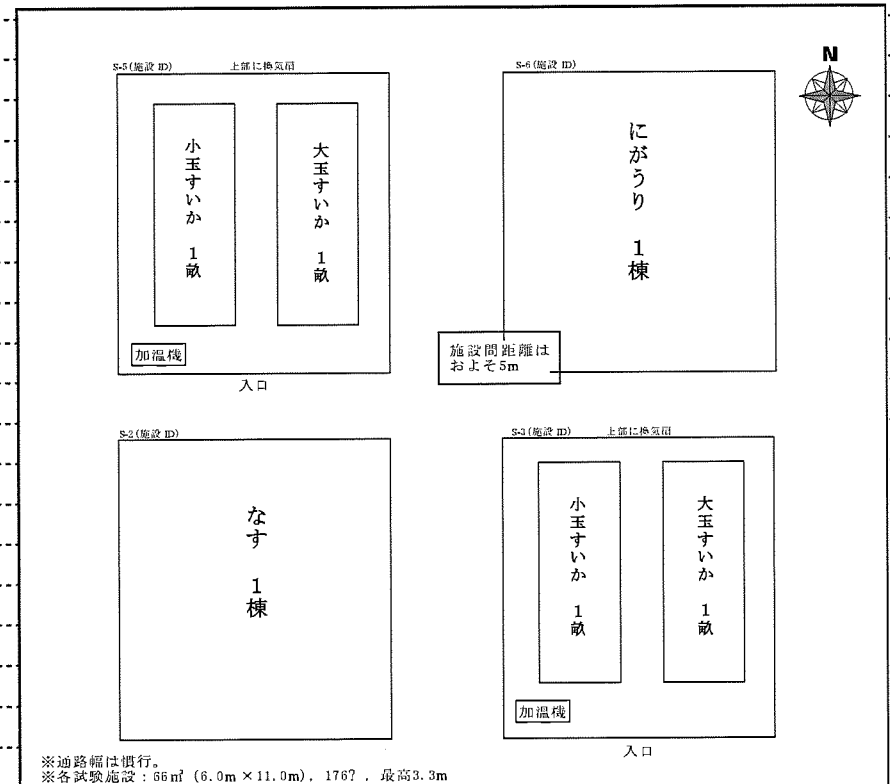
10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 各施設 66㎡ (6.0m×11.0m), 176㎡, 最高3.3m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



備考 低温・日照不足のため交配後に着果不良となった。このために草勢が強く着果が見込めない状況となった。以上のとおり試料採取ができないために2月上旬に試験を中止した。

24 - 調理加工 (宮崎) 大玉すいかC)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

5. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

施設ID: S-3>

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
かぶ	ガードベイトA	12	1	13	3kg/10a, 畝面上に散布
	マラソン乳剤	12	1	18	1000倍
	マラソン乳剤	12	1	25	1000倍
	マラソン乳剤	12	2	1	1000倍
	マラソン乳剤	12	2	8	1000倍
	モスピランシエット	12	2	10	50g/400m ²
	マラソン乳剤	12	2	15	1000倍
	しとう	モレスタン水和剤	12	5	1
スミレックス水和剤		12	5	1	1000倍
スタークル顆粒水溶剤		12	5	1	2000倍
アファーム乳剤		12	5	10	1000倍
S-2200SC		12	5	22	2000倍
リミル粒剤2		12	5	23	2g/株, 生育期株元散布
S-2200SC		12	5	29	2000倍
イオウフロアブル		12	5	30	500倍
カンタストライフロアブル		12	5	30	1500倍
スタークル顆粒水溶剤		12	5	30	2000倍
S-2200SC		12	6	5	2000倍
コルト顆粒水和剤		12	6	6	4000倍
スミレックス水和剤		12	6	6	1000倍
アファーム乳剤		12	6	6	1000倍
アドマイヤー水和剤		12	6	22	2000倍
スミレックス水和剤		12	6	22	1000倍
裸地	クロビクテープ	12	7	30	110m/100m ²
メロン	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	10	19	1000倍
	モレスタン水和剤	12	10	19	3000倍
	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	10	26	1000倍
	モレスタン水和剤	12	10	26	3000倍
	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	11	2	1000倍
	モレスタン水和剤	12	11	2	3000倍
	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	11	11	1000倍
	モレスタン水和剤	12	11	11	3000倍

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
小玉すいか	アファーム乳剤	12	12	10	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	10	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	10	3000倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	大玉すいか(現作)	アファーム乳剤	12	12	10
スタークル顆粒水溶剤		12	12	10	2000倍
モレスタン水和剤		12	12	10	3000倍
モスピラン水溶剤		12	12	27	2000倍
モレスタン水和剤		12	12	27	3000倍
スミレックス水和剤		12	12	27	1500倍
ジマンダイセン水和剤		12	12	27	600倍

24 一調理加工（宮崎）大玉すいかC）

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

5. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

施設ID: S-5>

作物	農薬名(商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
ニトマト	スミレックスくん煙顆粒	11	12	1	6g/100m ²
	スミレックス水和剤	11	12	22	1000倍
	ダコニール1000	11	12	22	1000倍
	スタークル顆粒水溶剤	11	12	22	2000倍
	金鳥除虫菊乳剤3	11	12	26	500倍
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	2	500倍
	ダコニールくん煙剤	12	1	4	40g/100m ²
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	9	500倍
	ダコニール1000	12	1	11	1000倍
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	16	500倍
	スミレックスくん煙顆粒	12	1	17	6g/100m ²
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	23	500倍
	ダコニールくん煙剤	12	1	26	40g/100m ²
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	30	500倍
	ダコニールくん煙剤	12	2	10	40g/100m ²
	しとう	モレスタン水和剤	12	5	1
スミレックス水和剤		12	5	1	1000倍
スタークル顆粒水溶剤		12	5	1	2000倍
アファーム乳剤		12	5	10	1000倍
リトミル粒剤2		12	5	23	2g/株, 生育期株元散布
カンタストライフロアブル		12	5	30	1500倍
スタークル顆粒水溶剤		12	5	30	2000倍
イオウフロアブル		12	5	30	500倍
ディアナSC		12	6	5	2500倍
アファーム乳剤		12	6	6	1000倍
スミレックス水和剤		12	6	6	1000倍
コルト顆粒水和剤		12	6	6	4000倍
ディアナSC		12	6	12	2500倍
スミレックス水和剤		12	6	22	1000倍
アトマイヤー水和剤		12	6	22	2000倍
裸地	クロビクテフ	12	8	30	110m/100m ²

作物	農薬名(商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
小玉 すいか	アファーム乳剤	12	12	10	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	10	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	10	3000倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	大玉 すいか (現作)	アファーム乳剤	12	12	10
スタークル顆粒水溶剤		12	12	10	2000倍
モレスタン水和剤		12	12	10	3000倍
モスピラン水溶剤		12	12	27	2000倍
モレスタン水和剤		12	12	27	3000倍
スミレックス水和剤		12	12	27	1500倍
ジマンダイセン水和剤		12	12	27	600倍

平成24年度 農薬登録に係る調理加工試験明細書

(試験期間 24年10月 ~ 24年11月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型
- ①メチダチオン(スプラサイド)水和剤
 - ②フロニカミド(ウララ)DF
 - ③チアメトキサム(アクタラ)顆粒水溶剤
 - ④アセキノシル(カネマイト)フロアブル
 - ⑤トルフェンピラド(ハチハチ)乳剤
 - ⑥イプロジオン(ロブラール)水和剤
- (2) 有効成分名及び成分含有率
- ①メチダチオン 36%
 - ②フロニカミド 10%
 - ③チアメトキサム 10%
 - ④アセキノシル 15%
 - ⑤トルフェンピラド 15%
 - ⑥イプロジオン 50%
- (3) 被験物質のLot No.
- ①14.10 SIK1JWP040 ②15.10 759586 ③15.10 SIK1KWG010
 - ④14.10 37175 ⑤15.10 1H01A ⑥15.10 PD12C00005

2. 農作物名 小玉すいか 品種名 ひとりじめ7
3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所
- 試験圃場所在地 茨城県牛久市結東町535番地
4. 試験責任者氏名 森田 久孝、小川 和己、宮川 直也、後藤 直人、柑本 俊樹、小林 照二
5. 土性 砂土・砂壤土・**壤土**・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日
6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)
- 別紙1.に記載

7. 栽培概要
- 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齡、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
 被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トシ栽培の被覆時期を記載す
- 露地・施設の別 施設(ガラスハウス) 有袋・無袋の別 —
- 定植:平成24年8月24日
- 栽植密度: 畝間180cm、株間60cm、1条植え、925株/10a、マルチ栽培
- 施肥(10a当たり): 8月14日 配合594(5-9-4) 20kg、苦土重焼燐 14kg
- 10月4日 くみあい尿素複合液肥1号 800倍
- その他の管理は、慣行に従った。
- 収穫期間(適期):平成24年10月下旬~11月上旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ — を記入して下さい。
9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)
- 9月10日アフェットフロアブル2000倍・ガコニール1000 1000倍・アファム乳剤2000倍、9月24日スピノネース顆粒水和剤5000倍
- 10月3日アドマイヤー水和剤 2000倍・ゴッツA 500倍・コマバト乳剤2000倍・アファム乳剤2000倍
- 10月11日ゴッツA 1000倍・ベストガード水溶剤 1000倍・モレスタン水和剤 3000倍
- 10月19日ベストガード水溶剤 1000倍・サンマイトフロアブル 1000倍

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

処理区A、処理区B:各区38.9㎡(7.2m×1.8m×3畝) 36株、無処理区C:16.2㎡(3m×1.8m×3畝) 15株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

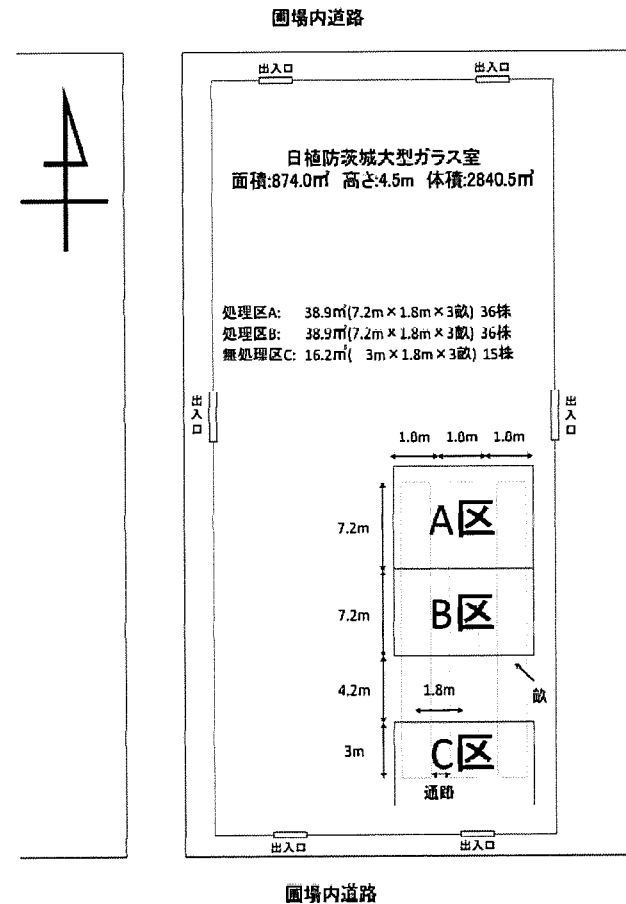
面積:874.0㎡、容積:2840.5㎡、高さ4.5m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区	B区	C区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成24年10月 1日	スブラサイド		無処理	1000倍	221L	8.6g/8.6L/38.9㎡	10.0g/10.0L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎葉散布
10月 8日	スブラサイド			1000倍	247L	9.6g/9.6L/38.9㎡	10.0g/10.0L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎葉散布
10月15日	スブラサイド			1000倍	247L	9.6g/9.6L/38.9㎡	12.0g/12.0L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎葉散布 (混用)
	アクタラ		2000倍	4.8g/9.6L/38.9㎡		6.0g/12.0L			
10月22日	スブラサイド			1000倍	262L	10.2g/10.2L/38.9㎡	12.0g/12.0L	果実成熟期 (草丈約20cm)	茎葉散布 (混用)
	アクタラ		2000倍	5.6g/10.2L/38.9㎡		6.0g/12.0L			
	ウララ		2000倍	5.6g/10.2L/38.9㎡		6.0g/12.0L			
10月28日	スブラサイド			1000倍	262L	10.2g/10.2L/38.9㎡	12.0g/12.0L	収穫期 (草丈約20cm)	茎葉散布 (混用)
	アクタラ		2000倍	5.6g/10.2L/38.9㎡		6.0g/12.0L			
	ウララ		2000倍	5.6g/10.2L/38.9㎡		6.0g/12.0L			

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
平成24年10月 1日	背負式バッテリー動噴 (丸山 MSB151-A) に、2頭口コーンノズル (麻場 CPW-21.0) をつけ、株全体へ均一に散布した。		時刻 16:20 ~ 16:30	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月 8日			時刻 16:00 ~ 16:10	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月15日			時刻 10:50 ~ 11:00	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月22日			時刻 15:00 ~ 15:15	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月28日			時刻 14:20 ~ 14:35	天候: 曇り (日中曇り)、風の影響なし。

区分 処理月日	A区	B区	C区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成24年10月8日		ロブラール	無処理	1000倍	247L	9.6g/9.6L/38.9㎡	10.0g/10.0L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎葉散布
10月15日		ロブラール		1000倍	247L	9.6g/9.6L/38.9㎡	12.0g/12.0L	果実肥大&成熟期 (草丈約20cm)	茎葉散布
10月22日		ロブラール		1000倍	262L	9.6g/10.2L/38.9㎡	12.0g/12.0L	果実成熟期 (草丈約20cm)	茎葉散布 (混用)
		ハチハチ	1000倍	10.2mL/10.2L/38.9㎡		12.0mL/12.0L			
10月28日		ロブラール		1000倍	262L	10.2g/10.2L/38.9㎡	12.0g/12.0L	果実収穫期 (草丈約20cm)	茎葉散布 (混用)
		ハチハチ	1000倍	10.2mL/10.2L/38.9㎡		12.0mL/12.0L			
		カネマイト	1000倍	10.2mL/10.2L/38.9㎡		12.0mL/12.0L			

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
平成24年10月 8日	背負式バッテリー動噴 (丸山 MSB151-A) に、2頭口コーンノズル (麻場 CPW-21.0) をつけ、株全体へ均一に散布した。		時刻 16:15 ~ 16:25	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月15日			時刻 11:45 ~ 11:55	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月22日			時刻 16:00 ~ 16:15	天候: 晴れ (日中晴れ)、風の影響なし。
10月28日			時刻 14:00 ~ 14:15	天候: 曇り (日中曇り)、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、薬液の飛散による無処理区の汚染を防止するため、試験区間を約1.8mの高さまでポリフィルムで遮蔽した。

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

採取月日	区分 A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
平成24年10月29日	A-1	B-1	C	C区 時刻: 8:10 ~ 8:13 天候: 曇り	C→B→A	6個/9.4kg	10月29日
				B区 時刻: 8:20 ~ 8:23 天候: 曇り		6個/10.3kg	
				A区 時刻: 8:25 ~ 8:28 天候: 曇り		6個/10.3kg	
10月31日	A-2	B-2		B区 時刻: 10:10 ~ 10:13 天候: 晴れ	B→A	6個/10.6kg	10月31日
				A区 時刻: 10:30 ~ 10:33 天候: 晴れ		6個/11.2kg	
11月4日	A-3	B-3		B区 時刻: 9:20 ~ 9:23 天候: 晴れ	B→A	6個/11.4kg	11月4日
				A区 時刻: 9:45 ~ 9:48 天候: 晴れ		6個/12.1kg	

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
平成24年10月29日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月31日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
11月4日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載
各区、試験区の境界部(南北)をはずして偏りがないように区全体から大きさの揃った試料を鉢で採取し、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、複等の除去、風乾、乾燥、
脱粒・廻すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載
試料は1個ずつ包装紙に包んでポリ袋に入れ、緩衝材で包んだ。それを段ボール箱1箱につき3個入れ、裁断した紙を詰めて動かないようにし、箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包シールを貼り付けて梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等
ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日に指定して送付した。

(5) 備考

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

すいか:	平成23年10月13日	アフーム乳剤 2000倍・ロブラール水和剤 1000倍・スコア水和剤10 2000倍
	10月21日	ベストガード水溶剤 1000倍
	10月26日	ベストガード水溶剤 1000倍
	10月 4日, 11日, 18日	アフェットフロアブル 2000倍・サンマイトフロアブル 1000倍・モスピラン水溶剤 2000倍散布
かぼちゃ:	平成24年 4月26日	ゴッツA 1000倍・マイトコーネフロアブル 1000倍
	5月 2日	ゴッツA 1000倍・アフーム乳剤 2000倍
	5月 7日	スコア水和剤10 2000倍・ベストガード水溶剤 2000倍
	5月15日	バスタ液剤 100倍通路散布
	6月 1日	サンヨール 500倍・アフーム乳剤 2000倍
	6月12日	モレスタン水和剤 2000倍・ゴッツA 1000倍
	6月20日	モレスタン水和剤 2000倍散布・ベストガード水溶剤 2000倍散布
	6月11日, 18日, 25日, 7月2日, 9日	ベンレート水和剤 2000倍
無栽培	平成24年 8月 2日	ソイリオン 25L/10a全面土壌点注処理

別紙2. 試験風景

写真1. ハウス全景



写真2. 散布状況1(ポリフィルムにより遮蔽より奥:無処理区)



写真3. 散布状況2



写真4. A区第1回散布時の果実の大きさ



写真5. A区第2回散布時の果実の大きさ



写真6. A区第3回散布時の果実の大きさ



写真7. A区第4回散布時の果実の大きさ



写真8. A区第5回散布時の果実の大きさ



写真9. B区第1回散布時の果実の大きさ



写真10. B区第2回散布時の果実の大きさ



写真11. B区第3回散布時の果実の大きさ



写真12. B区第4回散布時の果実の大きさ写真



(H24調理加工(茨城)小玉すいか)

写真13. 試料採集の状況1



写真14. 試料採集の状況2



写真15. 無処理区Cの試料の果実の大きさ

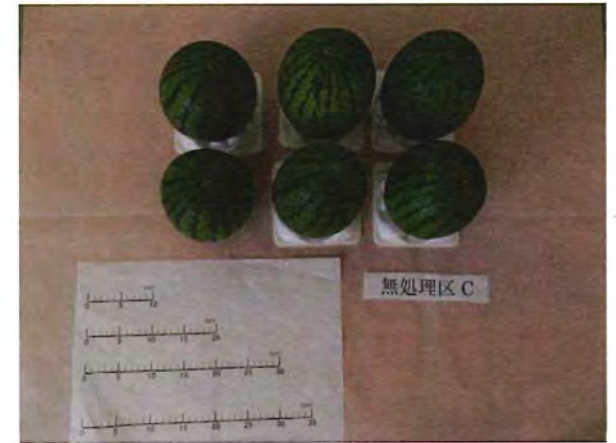


写真16. 処理区Bの1日後試料の果実の大きさ

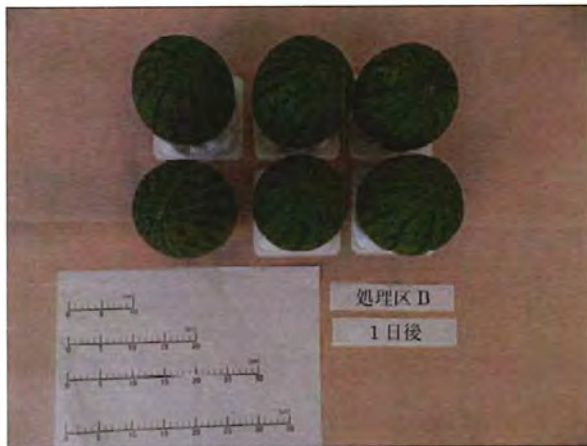


写真17. 処理区Bの3日後試料の果実の大きさ



写真18. 処理区Bの7日後試料の果実の大きさ



写真19. 処理区Aの1日後試料の果実の大きさ



写真20. 処理区Aの3日後試料の果実の大きさ



写真21. 処理区Aの7日後試料の果実の大きさ



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年10月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①メチダチオン(スプライト®水和剤), ②フロニカミド(カララDF), ③チアメトキサム(アクトラ顆粒水溶剤)。
 (2) 有効成分名及び成分含有率 ①メチダチオン 36.0%, ②フロニカミド 10.0%, ③チアメトキサム 10.0%。
 (3) 被験物質のLot No. ①SIK1JWP040, ②759586, ③SIK1KWG010。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④アセキノシル(カネイトフロアブル), ⑤トルフェニトラト(ハチハチ乳剤), ⑥イブロジオン(ロフラー水水和剤)。
 (2) 有効成分名及び成分含有率 ④アセキノシル 15.0%, ⑤トルフェニトラト 15.0%, ⑥イブロジオン 50.0%。
 (3) 被験物質のLot No. ④37175, ⑤1H01A, ⑥PD12C00005。

2. 農作物名 すいか 品種名 紅こだま (小玉)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 寛、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 (埴壤土) 埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・シトネンゴの被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種: 平成24年8月30日, 定植: 9月20日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm,

1条植, 約1800株/10a, 施肥: 平成24年8月1日 ケントップ 1500kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

9月17日 こうち園芸ペレット(6-8-4) 117kg/10a, マル栽培, 加温栽培,

その他管理は慣行に従った。人工交配: 10月16日~10月26日。

収穫期間(適期): 平成24年11月下旬 ~。

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ —
を記入して下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 各28.0㎡, 50株
無処理区C: 11.2㎡, 20株

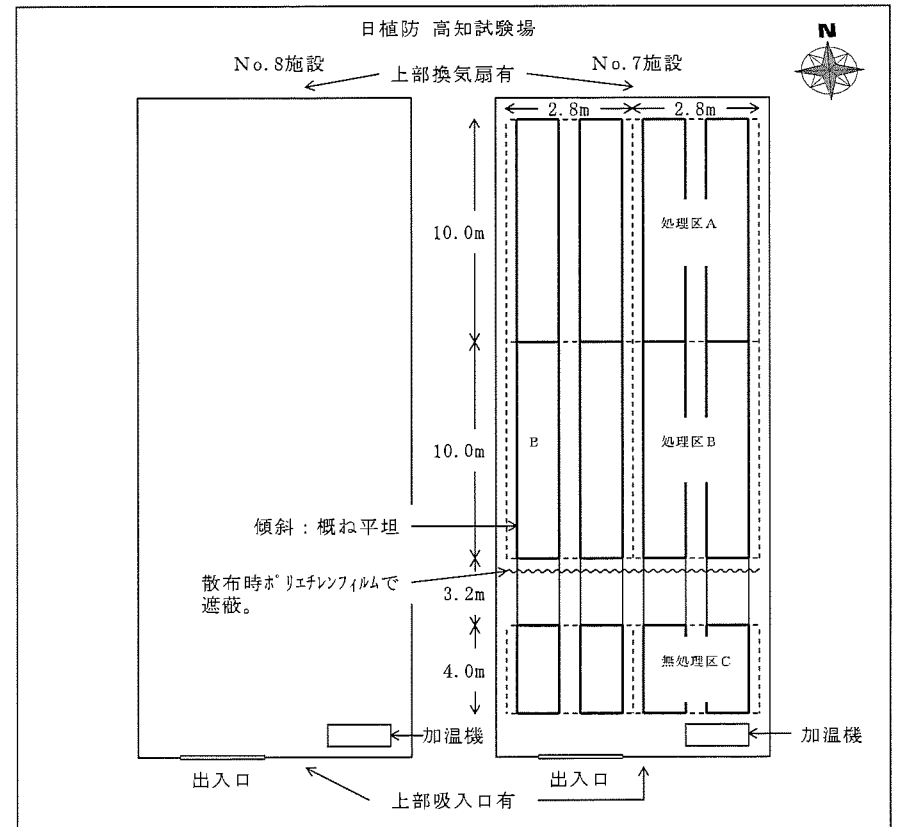
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 225㎡, 容積: 680㎡, 高さ: 3.4m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年10月30日	①		無処理			①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月6日	①					①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月13日	①, ③					①1000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ③3.9g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月20日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, ③3.9g /7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月26日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, ③3.9g /7.8L/28.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日	①:メチカチオン(スプラサイト)水和剤									
月 日	②:フロンカミト(ウララDF)									
月 日	③:チアトキサム(アキラ顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年10月30日	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:05	処理時の天候: 曇 当日の天候: 曇
11月6日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 17:05	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月13日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:25	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:15	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月26日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:45	処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H24年11月6日		⑥	無処理			⑥1000倍	279L	⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月13日		⑥				⑥1000倍	279L	⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月20日		⑤, ⑥				⑤1000倍, ⑥1000倍	279L	⑤7.8mL, ⑥7.8g/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月26日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	279L	④7.8mL, ⑤7.8mL, ⑥7.8g /7.8L/28.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日								大玉すいか, 小玉すいか : 各28.0㎡		
月 日	④アセキノシル(カネマイフロアブル)									
月 日	⑤トルフェンピラト(ハチハチ乳剤)									
月 日	⑥イプロジオン(ロブラル水和剤)									
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年11月6日	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 処理時の環境条件等 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式ハッチェー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:15	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月13日	背負式ハッチェー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 14:10	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式ハッチェー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:45	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月26日	背負式ハッチェー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:55	処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24. 11月27日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A; 9:50 ~ 10:00 B; 8:40 ~ 8:50 天候: 晴れ C; 7:20 ~ 7:30	C → B → A	A区: 6個 (13.2kg) B区: 6個 (13.5kg) × 1分析 C区: 6個 (13.1kg)	11月27日
11月29日	A-2	B-2						採取 A; 13:40 ~ 13:50 B; 13:15 ~ 13:25 天候: 曇	B → A	A区: 6個 (13.2kg) B区: 6個 (13.2kg) × 1分析	11月29日
12月 3日	A-3	B-3						採取 A; 10:50 ~ 11:00 B; 10:30 ~ 10:40 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (13.1kg) B区: 6個 (13.3kg) × 1分析	12月 3日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24. 11月27日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
11月29日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
12月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後残滓等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱粒・粗すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

果実を個別に包装紙で包んだ後、ポリエチレン袋に入れ、包装紙を敷いたダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを敷き、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを貼り付けた。また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考 -

(24-調理加工 (高知) 小玉すいかⅠ)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：メロン

平成23年. 11/4 グコニール1000 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍, モレスタン水和剤 3000倍 散布,

11/18 カンタストライフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, グコニール1000 1000倍 散布,

11/27 ポリネシナル水溶剤 50倍塗布,

12/7 グコニール1000 1000倍 散布,

11/28, 12/5, 12 モスビラン水溶剤 2000倍, アセットフロアブル 2000倍, サンマイトフロアブル 1000倍 散布。

平成23年秋冬作：きゅうり

平成23年. 11/2 モレスタン水和剤 3000倍, ヘストカート水溶剤 1000倍, テンマンフロアブル 2000倍 散布,

11/18 カンタストライフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, グコニール1000 1000倍 散布。

平成23年秋冬作：すいか

平成23年. 11/2 モレスタン水和剤 3000倍, ヘストカート水溶剤 1000倍 散布,

11/18 カンタストライフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, グコニール1000 1000倍 散布,

12/2 アファーム乳剤 2000倍, スミレックス水和剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

12/1, 8 トレボン乳剤 1000倍, ハッザ乳剤 1500倍, アトマイヤー顆粒水和剤 10000倍, グントツ水溶剤 2000倍 散布,

12/12 トレボン乳剤 1000倍, アトマイヤー顆粒水和剤 10000倍 散布,

12/14 ハッザ乳剤 1500倍, グントツ水溶剤 2000倍 散布。

平成24年冬春作：にがうり

平成24年. 2/28 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

3/7 アトマイヤー顆粒水和剤 10000倍 散布,

3/28 モスビラン水溶剤 4000倍, グコニール1000 1000倍 散布,

4/12 モスビランジェット 50g/400㎡,

4/10, 17, 24, 5/1, 8 トップジンM水和剤 1500倍 散布。

平成24年春夏作：ピーマン

平成24年. 6/11 シアントラニプロール(DKI-1045)粒剤 2g/株, アルハリン粒剤 1g/株, アルハリン粒剤 2g/株。

平成24年秋冬作：すいか (大玉すいか, 小玉すいか)

平成24年. 10/2 フェニックス顆粒水和剤 2000倍, アトマイヤーフロアブル 4000倍 散布,

10/24 フェニックス顆粒水和剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍, ヘストカート水溶剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

すいか

平成24年. 10/30 以降の防除はなし。

(24-調理加工 (高知) 小玉すいかI)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 _____ 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
10	気温 (施設内温度)																														18.2	21.6	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																○
	区記号 (試料番号)																																A
11	気温 (施設内温度)	21.4	21.4	21.3	21.6	20.1	20.4	20.2	20.4	20.1	19.7	17.1	20.2	18.6	19.0	18.3	19.6	15.8	19.2	19.5	19.2	18.4	16.0	16.5	17.4	17.7	16.7	16.6	17.1	14.3	17.2		
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取						○							○							○						○	△		△			
	区記号 (試料番号)						A, B							A, B								A, B						A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2			
12	気温 (施設内温度)	16.3	14.4	16.8																													
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取			△																													
	区記号 (試料番号)			A-3, B-3																													
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (試験区ラベルと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、テークカー (株式会社 ティアソグティ おんどとりTR-71Ui) を使用した。

(24-調理加工 (高知) 小玉すいか I)

別紙1 試料写真

写真1. 試験区全景



写真2. 1回目処理



写真3. 2回目処理



写真4. 3回目処理



写真5. 4回目処理



写真6. 5回目処理



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年11月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①メチダチオン(スプライト®水和剤), ②プロエカミト®(ワラウDF), ③チアマトキアム(アクトラ顆粒水溶剤)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①メチダチオン 36.0%, ②プロエカミト® 10.0%, ③チアマトキアム 10.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ①SIK1JWP040, ②759586, ③SIK1KWG010。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④アセキノシル(カネマイトプロアブル), ⑤トルフェンピラト®(ハチハチ乳剤), ⑥イブ®ロジオン(ロア®ラール水和剤)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ④アセキノシル 15.0%, ⑤トルフェンピラト® 15.0%, ⑥イブ®ロジオン 50.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ④37175, ⑤1H01A, ⑥PD12C00005。

2. 農作物名 すいか 品種名 紅こだま (小玉)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 覚、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土 (壤土) 埴壤土・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

小玉すいか： 播種：平成24年9月16日， 定植：10月9日， 畝幅：140cm， 株間：40cm， 1条植，
 約1800株/10a， 施肥：平成24年8月9日 ヤシガラチップ 1400kg/10a， 苦土石灰 100kg/10a，
 追肥：11月16日 くみあい液肥1号(12-5-7) 33kg/10a， マル栽培， 加温栽培，
 その他管理は慣行に従った。 人工交配： 11月2日～ 11月10日

収穫期間(適期)： 平成24年12月中旬～。

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ — を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

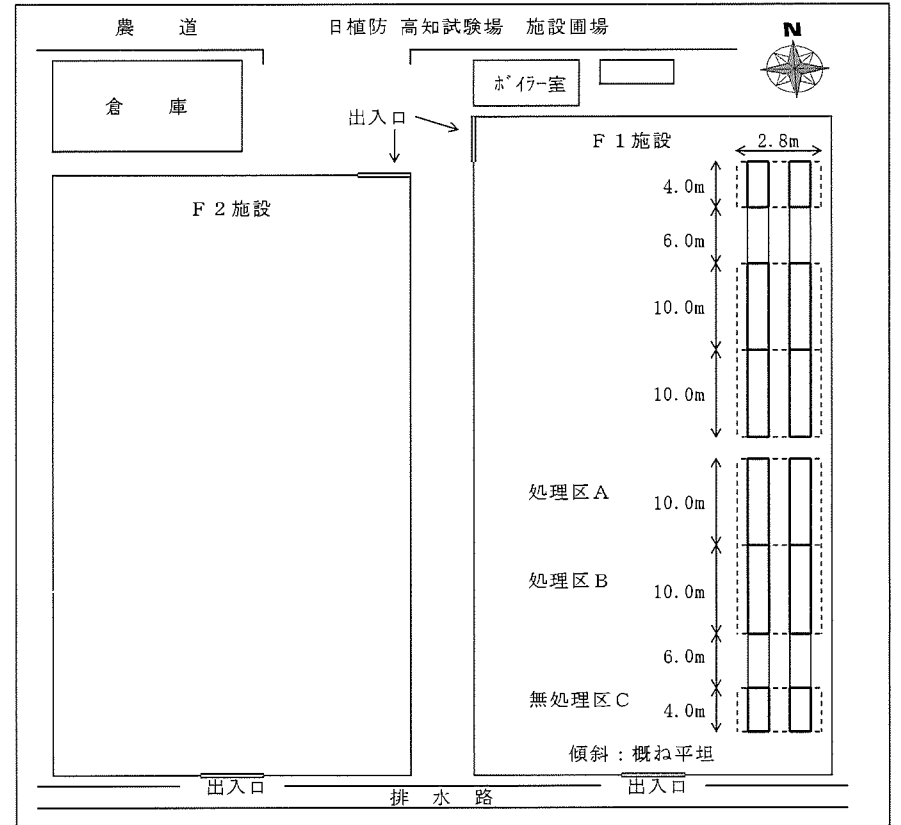
10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B：各28.0㎡，50株
無処理区C：11.2㎡，20株

- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積：986㎡，容積：2909㎡，高さ：3.9m

- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H24年11月13日	○		無処理			①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月20日	○					①1000倍	279L	①7.8g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
11月27日	①, ③					①1000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ③3.9g/7.8L/28.0㎡	果実肥大期	茎葉散布
12月4日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, /7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
12月10日	①, ②, ③					①1000倍, ②2000倍, ③2000倍	279L	①7.8g, ②3.9g, /7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日	①:メチダチオン(スプラサイト)水和剤									
月 日	②:フロンカミド(ウララDF)									
月 日	③:チアトキサム(アクトラ)顆粒水溶剤									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年11月13日	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:20	処理時の天候: 曇一時雨 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 11:05	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月27日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:05	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月4日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:00	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月10日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノスル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:35	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24. 12月11日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A; 10:30 ~ 10:40 B; 9:50 ~ 10:00 天候: 晴れ C; 9:10 ~ 9:20	C → B → A	A区: 6個 (7.8kg) B区: 6個 (8.4kg) × 1分析 C区: 6個 (8.3kg)	12月11日
12月13日	A-2	B-2						採取 A; 10:40 ~ 10:50 B; 9:30 ~ 9:40 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (7.5kg) B区: 6個 (8.5kg) × 1分析	12月13日
12月17日	A-3	B-3						採取 A; 10:10 ~ 10:20 B; 9:20 ~ 9:30 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (7.8kg) B区: 6個 (8.3kg) × 1分析	12月17日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24. 12月11日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月13日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月17日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で行った。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱粒・選り分けの方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

果実を個別に包装紙で包んだ後、ポリエチレン袋に入れ、包装紙を敷いたダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを敷き、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを貼り付けた。また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考 -

(24 - 調理加工 (高知) 小玉すいかⅡ)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：きゅうり

平成23年. 11/25 アファーム乳剤 2000倍, ランマンフロアブル 2000倍, カクストライフロアブル 1000倍 散布,
12/1 スミチオン乳剤 1000倍, モレスタン水和剤 2000倍, トレボン乳剤 1000倍, アドマイヤー顆粒水和剤 5000倍 散布。

平成23年秋冬作：メロン

平成23年. 12/27 ヘルコートフロアブル 2000倍, アファーム乳剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,
12/27 アルバリン粒剤 2g/株,
平成24年. 1/11 ヘルコート水和剤 1000倍, アファーム乳剤 1000倍, アドマイヤー顆粒水和剤 5000倍 散布,
1/26 ボリホキシAL水溶剤 1000倍, フレオフロアブル 1000倍, トップジンM水和剤 1500倍 散布,
2/6, 13, 20 モスピラン水溶剤 2000倍 散布,
3/1 アファーム乳剤 2000倍, ヘルコートフロアブル 2000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布。

平成24年春夏作：ししとう

平成24年. 5/2 ホルスター乳剤 1500倍, アドマイヤー顆粒水和剤 10000倍 散布,
5/9 ハチハチ乳剤 1000倍 散布,
5/25 ハチハチ乳剤 1000倍 散布,
6/7 ホルスター乳剤 1500倍, トルネートフロアブル 2000倍 散布,
6/15 アファーム乳剤 2000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍, モレスタン水和剤 3000倍 散布,
6/22 ボリホキシAL水溶剤 5000倍, フレオフロアブル 1000倍 散布,
7/4 アファーム乳剤 2000倍 散布,
4/27 グントツ粒剤 1g/株,
6/5, 12, 19 グントツ水溶剤 2000倍 散布。

平成24年秋冬作：すいか (大玉すいか, 小玉すいか)

平成24年. 8/24 D-D 20L/10a,
9/20 アドマイヤー顆粒水和剤 5000倍, グコニール1000 1000倍 散布,
10/10 アファーム乳剤 1000倍 散布,
10/29 ガートホープ液剤 4000倍 灌注,
11/9 ヘルコートフロアブル 1000倍, フェニックス顆粒水和剤 2000倍, ヘストガード水溶剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

すいか

平成24年. 11/30 ヘルコートフロアブル 1000倍, アファーム乳剤 1000倍, ヘストガード水溶剤 2000倍 散布。

(24-調理加工 (高知) 小玉すいかII)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11	気温 (施設内温度)													21.9	21.2	20.6	22.6	18.3	21.3	22.6	21.4	21.9	18.9	19.0	20.6	21.6	19.5	19.8	21.0	18.7	20.3	
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取														○							○							○			
	区記号 (試料番号)														A								A, B						A, B			
12	気温 (施設内温度)	19.7	17.7	20.9	19.7	18.7	19.0	19.8	18.8	19.1	19.5	20.4	20.3	18.5	21.2	21.5	21.0	18.8														
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取				○						○	△		△				△														
	区記号 (試料番号)				A, B						A, B	A-1, B-1, C		A-2, B-2				A-3, B-3														
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (試験区ラベルと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、データカー (株式会社 ティアントデイ おんどとりTR-71U) を使用した。

別紙1 試料写真

写真1. 試験区全景



写真2. 1回目処理



写真3. 2回目処理



写真4. 3回目処理



写真5. 4回目処理



写真6. 5回目処理



平成 24年度 農作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 月 ~ 24年 月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①チアマトキサム(アクトラ)顆粒水溶剤, ②フロニカミド(ウララ)DF,
③DMTP(スプラサイト)水和剤, ④, イプロジオン(ロフラー)水和剤
⑤トルフェンピラト(ハチハチ)乳剤, ⑥アセキシル(カネマイト)フロアブル
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①チアマトキサム 10%, ②フロニカミド 10%, ③DMTP 36%,
④イプロジオン 50%, ⑤トルフェンピラト 15%, ⑥アセキシル 15%
- (3) 被験物質の Lot No. ①SIK1KWG010, ②759586, ③SIK1JWP040,
④PD12C00005, ⑤1H01A, ⑥37175

2. 農作物名 すいか(小玉) 品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場
試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設(H-08)

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壤土

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)
別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トナリ栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

播種:平成24年8月27日(台木 かしどき2号:12/8/24) 接ぎ木:平成24年9月3日

定植:平成24年9月24日 畝間:2.50m 株間:0.30m 1条植 主枝2本仕立て

栽植本数(10aあたり):1300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり):<元肥>12/9/13 有機配合888号(8-8-8) 38kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 25kg

<追肥>無し

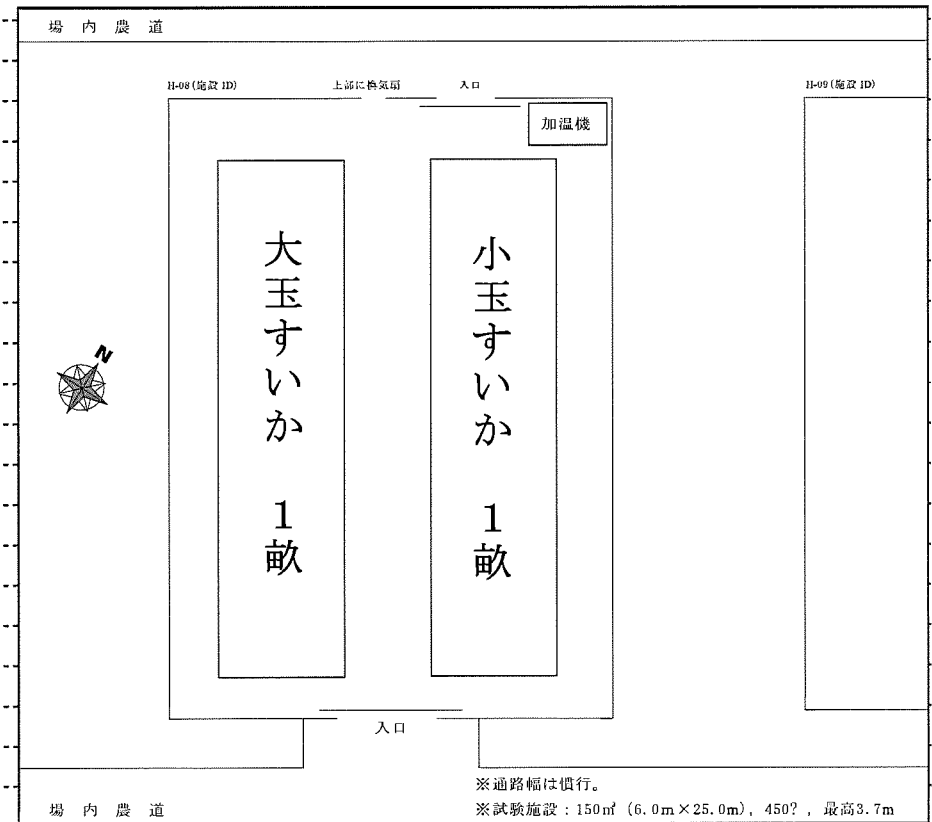
交配期間:交配無し

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡(6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m
- (3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)
- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



備考 当該作物がセンチウの被害等により生育が見込めない状況となったため、
10月中旬に試験を中止した。

24 - 調理加工 (宮崎) 小玉すいかA)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

紙. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
	モレスタン水和剤	11	10	12	3000倍
	ダントツ水溶剤	11	10	12	2000倍
	アファーム乳剤	11	10	12	1000倍
	スタークル顆粒水溶剤	11	10	24	2000倍
	モレスタン水和剤	11	10	24	3000倍
	スミレックス水和剤	11	10	24	1000倍
	ランマンフロアブル	11	10	24	1000倍
	ライメイフロアブル	11	11	15	2000倍
	アファーム乳剤	11	11	15	1000倍
	スミレックス水和剤	11	11	15	1000倍
	ダントツ水溶剤	11	11	15	4000倍
	モレスタン水和剤	11	11	15	3000倍
メロン	モスピラン水溶剤	11	11	28	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	28	1000倍
	アフェットフロアブル	11	11	28	2000倍
	アファーム乳剤	11	11	30	1000倍
	スミレックス水和剤	11	11	30	1000倍
	モレスタン水和剤	11	11	30	3000倍
	ライメイフロアブル	11	11	30	2000倍
	モスピラン水溶剤	11	12	5	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	12	5	1000倍
	アフェットフロアブル	11	12	5	2000倍
	アフェットフロアブル	11	12	12	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	12	12	1000倍
	モスピラン水溶剤	11	12	12	2000倍
	モレスタン水和剤	11	10	12	3000倍
	ダントツ水溶剤	11	10	12	2000倍
	アファーム乳剤	11	10	12	1000倍
すいか	ジマンダイセン水和剤	11	10	24	600倍
	モレスタン水和剤	11	10	24	3000倍
	アフェットフロアブル	11	11	14	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	14	1000倍
	モスピラン水溶剤	11	11	14	2000倍

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
	ダントツ水溶剤	11	11	15	4000倍
	スミレックス水和剤	11	11	15	1000倍
	アファーム乳剤	11	11	15	1000倍
	モレスタン水和剤	11	11	15	3000倍
すいか	モスピラン水溶剤	11	11	21	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	21	1000倍
	アフェットフロアブル	11	11	21	2000倍
	サンマイトフロアブル	11	11	28	1000倍
	アフェットフロアブル	11	11	28	2000倍
	モスピラン水溶剤	11	11	28	2000倍
	ランマンフロアブル	12	3	28	200倍, 植付当日, 種根茎浸漬処理
	アファーム乳剤	12	6	6	1000倍
みょうが	リノミル粒剤2	12	7	12	20kg/10a, 生育期, 畝面上土壌散布
	スピノエース顆粒水和剤	12	7	17	5000倍
	コロマイト乳剤	12	7	17	1000倍
	ランマンフロアブル	12	8	9	500倍, 3% ¹ /m ² , 生育期, 畝面土壌灌注
	ランマンフロアブル	12	8	17	500倍, 3% ¹ /m ² , 生育期, 畝面土壌灌注
	ランマンフロアブル	12	8	23	500倍, 3% ¹ /m ² , 生育期, 畝面土壌灌注
	オラル顆粒水和剤	12	8	27	2000倍, 3% ¹ /m ² , 土壌灌注
	フェニックス顆粒水和剤	12	8	27	2000倍
	ダコニール1000	12	8	24	1000倍 (台木)
	塩基性塩化銅	12	8	24	種苗会社による種子浸漬 (台木)
	ダコニール1000	12	8	27	1000倍 (穂木)
	塩基性塩化銅	12	8	27	種苗会社による種子浸漬 (穂木)
	アミスター20フロアブル	12	9	7	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	11	800倍
大玉すいか	ダントツ水溶剤	12	9	21	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	21	600倍
	アファーム乳剤	12	9	21	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	21	3000倍
	スミレックス水和剤	12	9	21	1000倍
	アファーム乳剤	12	10	5	1000倍

24 ー調理加工（宮崎）小玉すいかA）

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

紙. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名（商品名または有効成分）	年	月	日	濃度又は処理量／処理方法
小玉 すいか (現作)	ダコール1000	12	8	24	1000倍(台木)
	塩基性塩化銅	12	8	24	種苗会社による種子浸漬(台木)
	ダコール1000	12	8	27	1000倍(穂木)
	塩基性塩化銅	12	8	27	種苗会社による種子浸漬(穂木)
	アミスター207ロアブル	12	9	7	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	11	800倍
	ダントツ水溶剤	12	9	21	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	9	21	600倍
	アファーム乳剤	12	9	21	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	21	3000倍
	スミレックス水和剤	12	9	21	1000倍
	アファーム乳剤	12	10	5	1000倍

平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 月 ~ 24年 月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型 ①チアトキサム(アクタラ)顆粒水溶剤, ②プロニカミド(ウララ)DF,
 ③DMTP(スプラサイト)水和剤, ④, イプロジオン(ロブール)水和剤
 ⑤トルフェンピラト(ハチハチ)乳剤, ⑥アセキノシル(カネマイト)フロアブル

(2) 有効成分名及び成分含有率 ①チアトキサム 10%, ②プロニカミド 10%, ③DMTP 36%,
 ④イプロジオン 50%, ⑤トルフェンピラト 15%, ⑥アセキノシル 15%

(3) 被験物質の Lot No. ①SIK1KWG010, ②759586, ③SIK1JWP040,
 ④PD12C00005, ⑤1H01A, ⑥37175

2. 農作物名 すいか(小玉) 品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設(H-07)

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壤土

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬(別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要

播種期・移植期・施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、
 被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・10a栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

播種:平成24年10月15日(台木 かしどき2号:12/10/11) 接ぎ木:平成24年10月22日

定植:平成24年11月27日 畝間:2.50m 株間:0.30m 1条植 主枝2本仕立て

栽植本数(10aあたり):1300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり):<元肥>12/11/16 有機配合888号(8-8-8)63kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12)42kg

<追肥>無し

交配期間:13/1/09~1/29

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージ
 を記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数

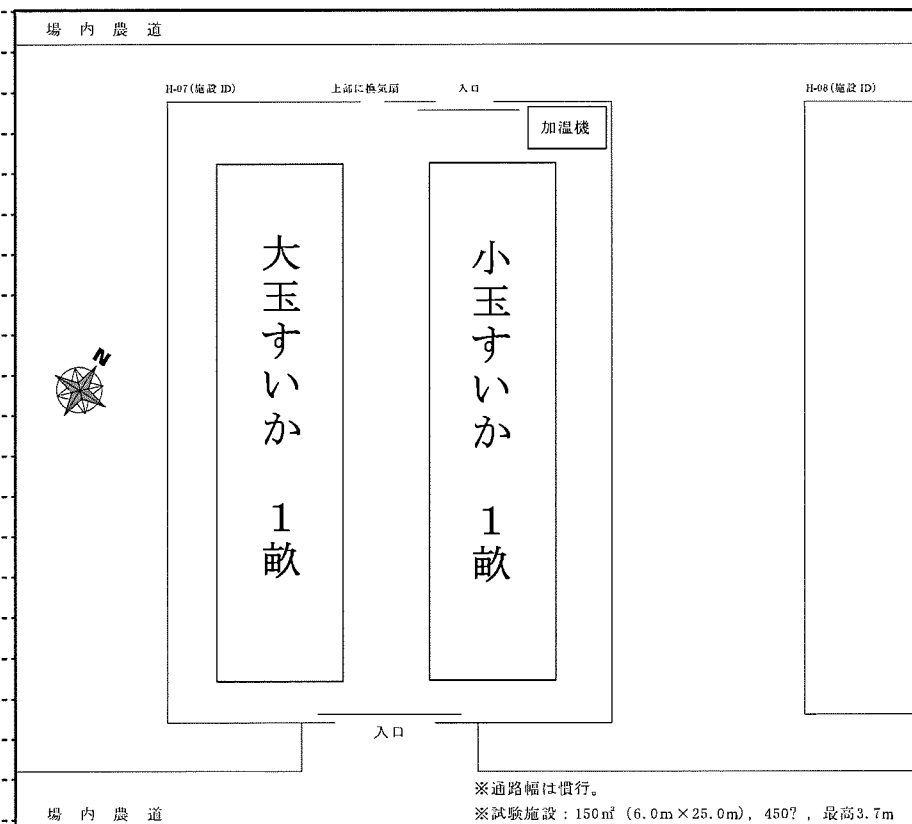
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡(6.0m×25.0m), 450㎡, 最高3.7m

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



備考 低温・日照不足のため交配後に着果不良となった。このために草勢が強くなり着果が見込めない状況となった。以上のとおり試料採取ができないために2月上旬に試験を中止した。

24 - 調理加工 (宮崎) 小玉すいかB)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

紙. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
きゅうり用 メロン	タチガレエス液剤	12	1	31	500倍, 1ℓ/株灌注
	イオウフロアブル	12	2	16	500倍
	ランマンフロアブル	12	2	16	1000倍
	カンタストライフロアブル	12	2	16	1000倍
	スターマイトフロアブル	12	2	16	2000倍
	プレオフロアブル	12	2	21	1000倍
	モスピラン水溶剤	12	2	24	2000倍
	モスピラン水溶剤	12	3	2	2000倍
ピーマン	スタークル顆粒水溶剤	12	4	13	3000倍
	モレスタン水和剤	12	4	13	3000倍
	フルピカフロアブル	12	4	30	2000倍
	ダントツ水溶剤	12	5	1	4000倍
	アファーム乳剤	12	5	1	1000倍
	モレスタン水和剤	12	5	1	3000倍
	S-2200SC	12	5	2	2000倍
	フルピカフロアブル	12	5	7	2000倍
	S-2200SC	12	5	9	2000倍
	アファーム乳剤	12	5	11	1000倍
	プレオフロアブル	12	5	11	1000倍
	フルピカフロアブル	12	5	14	2000倍
	S-2200SC	12	5	16	2000倍
	フルピカフロアブル	12	5	21	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	5	26	2000倍
	モレスタン水和剤	12	5	26	3000倍
	アファーム乳剤	12	5	26	1000倍
	プレオフロアブル	12	5	26	1000倍
	アフェットフロアブル	12	6	11	2000倍, 1ℓ/株, 株元灌注
	ダントツ水溶剤	12	6	13	2000倍
	イオウフロアブル	12	6	13	500倍
	アファーム乳剤	12	6	13	1000倍
	アフェットフロアブル	12	6	18	2000倍, 1ℓ/株, 株元灌注
	アフェットフロアブル	12	6	25	2000倍, 1ℓ/株, 株元灌注
	裸地	クロビクテープ	12	7	25
きゅうり	ジノテフラン・ベンチオピラト(MHS-1201)スプレー	12	8	28	原液散布
	KPP-209-SC(ホリオキシンド亜鉛塩)	12	8	28	2000倍
	モレスタン水和剤	12	8	28	3000倍
	KUF-2401水和剤(新規+既知)	12	8	28	2000倍

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
きゅうり	KUF-2401水和剤(新規+既知)	12	9	5	2000倍
	ジノテフラン・ベンチオピラト(MHS-1201)スプレー	12	9	5	原液散布
	KPP-209-SC(ホリオキシンド亜鉛塩)	12	9	5	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	5	3000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	9	7	2000倍
	アファーム乳剤	12	9	7	2000倍
	ジノテフラン・ベンチオピラト(MHS-1201)スプレー	12	9	13	原液散布
	KPP-209-SC(ホリオキシンド亜鉛塩)	12	9	13	2000倍
	KUF-2401水和剤(新規+既知)	12	9	13	2000倍
	モレスタン水和剤	12	9	13	3000倍
大玉 すいか	モスピラン水溶剤	12	11	22	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	11	22	400倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	17	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	17	3000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	17	600倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	アファーム乳剤	13	1	9	1000倍
	コルト顆粒水和剤	13	1	9	4000倍
	スミレックス水和剤	13	1	9	1000倍
	ダコニール1000	13	1	9	1000倍
小玉 すいか (現作)	モスピラン水溶剤	12	11	22	2000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	11	22	400倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	17	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	17	3000倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	17	600倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	アファーム乳剤	13	1	9	1000倍
	コルト顆粒水和剤	13	1	9	4000倍
	スミレックス水和剤	13	1	9	1000倍
	ダコニール1000	13	1	9	1000倍

平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 月 ~ 24年 月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①チアメキシム(アクタラ)顆粒水溶剤, ②フロンカミト(ウララ)DF, ③DMTP(スプラサイト)水和剤, ④イプロジオン(ロブテール)水和剤, ⑤トルフェンピラト(ハチハチ)乳剤, ⑥アセキノシル(カネマイト)フロアブル

- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①チアメキシム 10%, ②フロンカミト 10%, ③DMTP 36%, ④イプロジオン 50%, ⑤トルフェンピラト 15%, ⑥アセキノシル 15%

- (3) 被験物質の Lot No. ①SIK1KWG010, ②759586, ③SIK1JWP040, ④PD12C00005, ⑤1H01A, ⑥37175

2. 農作物名 すいか(小玉) 品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設(S-3, S-5)

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壌土

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬(別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(7/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トシ栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

播種:平成24年10月30日(台木 かしどき2号:12/10/26) 接ぎ木:平成24年11月6日

定植:平成24年12月11日 畝間:2.50m 株間:0.30m 1条植 主枝2本仕立て

栽植本数(10aあたり):1300株 透明マルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり):<元肥>12/11/29 有機配合888号(8-8-8)50kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12)33kg

<追肥>無し

交配期間:13/1/17~1/26

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

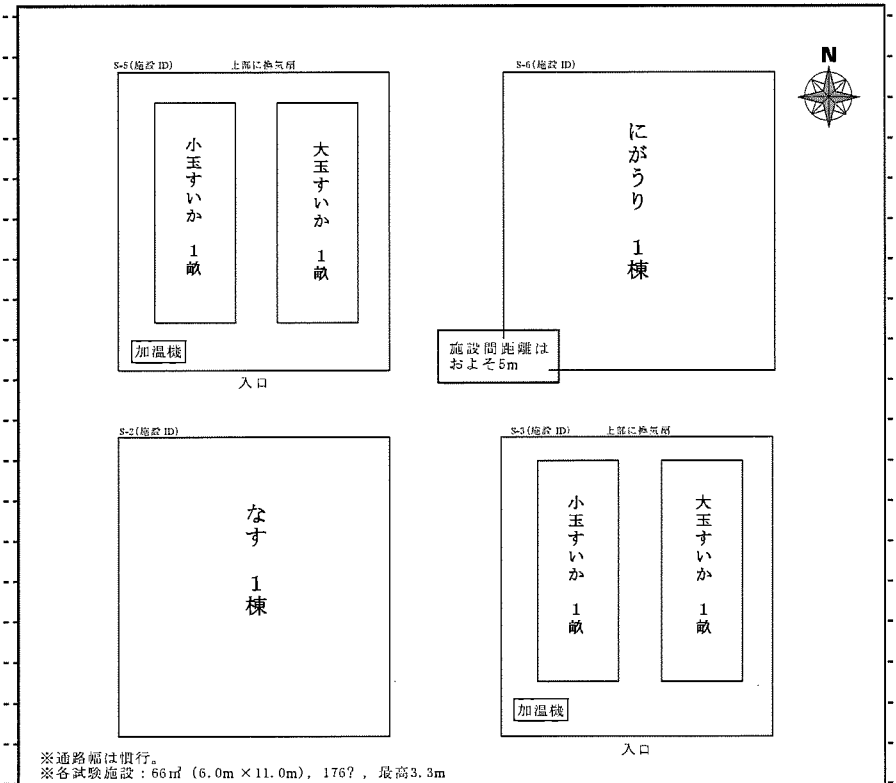
10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 各施設 66㎡(6.0m×11.0m), 176㎡, 最高3.3m

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



備考 低温・日照不足のため交配後に着果不良となった。このために草勢が強く着果が見込めない状況となった。以上のとおり試料採取ができないために2月上旬に試験を中止した。

24 - 調理加工 (宮崎) 小玉すいかC)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

紙. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

施設ID: S-3>

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
かぶ	ガードハイトA	12	1	13	3kg/10a, 畝面上に散布
	マラソン乳剤	12	1	18	1000倍
	マラソン乳剤	12	1	25	1000倍
	マラソン乳剤	12	2	1	1000倍
	マラソン乳剤	12	2	8	1000倍
	モスピランジェット	12	2	10	50g/400㎡
	マラソン乳剤	12	2	15	1000倍
ししとう	モレスタン水和剤	12	5	1	3000倍
	スミレックス水和剤	12	5	1	1000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	5	1	2000倍
	アフーム乳剤	12	5	10	1000倍
	S-2200SC	12	5	22	2000倍
	リドミル粒剤2	12	5	23	2g/株, 生育期株元散布
	S-2200SC	12	5	29	2000倍
	イオウフロアブル	12	5	30	500倍
	カンタストライフロアブル	12	5	30	1500倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	5	30	2000倍
	S-2200SC	12	6	5	2000倍
	コルト顆粒水和剤	12	6	6	4000倍
	スミレックス水和剤	12	6	6	1000倍
	アフーム乳剤	12	6	6	1000倍
アドマイヤー水和剤	12	6	22	2000倍	
スミレックス水和剤	12	6	22	1000倍	
裸地	クロビクテープ	12	7	30	110m/100㎡
メロン	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	10	19	1000倍
	モレスタン水和剤	12	10	19	3000倍
	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	10	26	1000倍
	モレスタン水和剤	12	10	26	3000倍
	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	11	2	1000倍
	モレスタン水和剤	12	11	2	3000倍
	イソピラザム(NC-233)フロアブル20	12	11	11	1000倍
	モレスタン水和剤	12	11	11	3000倍

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
大玉すいか	アフーム乳剤	12	12	10	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	10	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	10	3000倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
	小玉すいか(現作)	アフーム乳剤	12	12	10
スタークル顆粒水溶剤		12	12	10	2000倍
モレスタン水和剤		12	12	10	3000倍
モスピラン水溶剤		12	12	27	2000倍
モレスタン水和剤		12	12	27	3000倍
スミレックス水和剤		12	12	27	1500倍
ジマンダイセン水和剤		12	12	27	600倍

24 - 調理加工 (宮崎) 小玉すいかC)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

紙. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

施設ID: S-5 >

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
ニトマト	スミレックスくん煙顆粒	11	12	1	6g/100m ²
	スミレックス水和剤	11	12	22	1000倍
	ダコニール1000	11	12	22	1000倍
	スタークル顆粒水溶剤	11	12	22	2000倍
	金鳥除虫菊乳剤3	11	12	26	500倍
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	2	500倍
	ダコニールくん煙剤	12	1	4	40g/100m ²
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	9	500倍
	ダコニール1000	12	1	11	1000倍
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	16	500倍
	スミレックスくん煙顆粒	12	1	17	6g/100m ²
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	23	500倍
	ダコニールくん煙剤	12	1	26	40g/100m ²
	金鳥除虫菊乳剤3	12	1	30	500倍
ダコニールくん煙剤	12	2	10	40g/100m ²	
ししとう	モレスタン水和剤	12	5	1	3000倍
	スミレックス水和剤	12	5	1	1000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	5	1	2000倍
	アファーム乳剤	12	5	10	1000倍
	リトミル粒剤2	12	5	23	2g/株, 生育期株元散布
	カンタストライフアブル	12	5	30	1500倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	5	30	2000倍
	イオウフロアブル	12	5	30	500倍
	ディアナSC	12	6	5	2500倍
	アファーム乳剤	12	6	6	1000倍
	スミレックス水和剤	12	6	6	1000倍
	コルト顆粒水和剤	12	6	6	4000倍
	ディアナSC	12	6	12	2500倍
	スミレックス水和剤	12	6	22	1000倍
アトマイヤー水和剤	12	6	22	2000倍	
裸地	クロピクテープ	12	8	30	110m/100m ²

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
大玉 すいか	アファーム乳剤	12	12	10	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	10	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	10	3000倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍
小玉 すいか (現作)	アファーム乳剤	12	12	10	2000倍
	スタークル顆粒水溶剤	12	12	10	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	10	3000倍
	モスピラン水溶剤	12	12	27	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	27	3000倍
	スミレックス水和剤	12	12	27	1500倍
	ジマンダイセン水和剤	12	12	27	600倍

平成24年度

農薬登録に係る調理加工試験導入に関する調査事業

試料調製明細書

ネットメロン	日本植物防疫協会茨城研究所 日本植物防疫協会高知試験場 I、II 日本植物防疫協会宮崎試験場
ノーネットメロン	日本植物防疫協会茨城研究所 日本植物防疫協会高知試験場 I、II 日本植物防疫協会宮崎試験場

平成24年度 農薬登録に係る調理加工試験明細書

(試験期間 24年10月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型	①	クロマフェノジド(マトリック)フロアブル				
	②	フロニカミド(ウララ)DF				
	③	ジノテフラン(スターグル)顆粒水溶剤				
	④	ピリダリル(プレオ)フロアブル				
	⑤	ピリプロキシフェン(ラノー)乳剤				
	⑥	ボスカリド(カンタス)ドライフロアブル				
(2) 有効成分名及び成分含有率	①	クロマフェノジド	5%			
	②	フロニカミド	10%			
	③	ジノテフラン	20%			
	④	ピリダリル	10%			
	⑤	ピリプロキシフェン	10%			
	⑥	ボスカリド	50%			
(3) 被験物質のLot No.	①	14.10 17H4002	②	15.10 759586	③	15.10 09F50001
	④	14.10 CAA010	⑤	14.10 GA333F	⑥	16.10 K1Z01

2. 農作物名 ネットメロン 品種名 アールスアリーナ夏系2号

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名 森田 久孝、小川 和己、宮川 直也、後藤直人、柑本俊樹、小林照二

5. 土性 砂土・砂壤土・(壤土)・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1に記載

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、被覆資材(茶は茶れい紗番号)、いちご：おうとう等の被覆時期、茶の茶れい紗、トマト栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別 施設(ビニールハウス) 有袋・無袋の別 —

播種：平成24年7月23日、定植：8月16日

栽植密度：畝間180cm、株間50cm、条間50cm、2条植え、2222株/10a、立体栽培

施肥(10a当たり)：平成24年8月15日 配合594(5-9-4) 80kg、苦土重焼燐 28kg

その他の管理は、慣行に従った。

収穫期間(適期)：平成24年10月下旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

8月6日ソリレン20L/10a全面土壌点注、8月6日スピノセス顆粒水和剤5000倍・ダコニール1000 1000倍、

8月21日マイコカル1000倍・ベストガード水溶剤2000倍、8月23日モレスタン水和剤4000倍・スピノセス顆粒水和剤

5000倍、8月29日ダコニール1000 1000倍・ジマンタイオン水和剤600倍、9月4日フルビカフロアブル2000倍・スピノセス

顆粒水和剤5000倍・ダコニール1000 1000倍、9月13日アフェットフロアブル2000倍・ダコニール1000 1000倍・アファーム乳

2000倍、9月20日ライメイフロアブル2000倍・アミスター20フロアブル2000倍・ロブテール水和剤1000倍、

9月26日カーセートPZ水和剤1000倍・スピノセス顆粒水和剤5000倍・サンマイフロアブル1000倍、

10月4日ライメイフロアブル2000倍・ロブテール水和剤1000倍・アトマイ水和剤2000倍

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

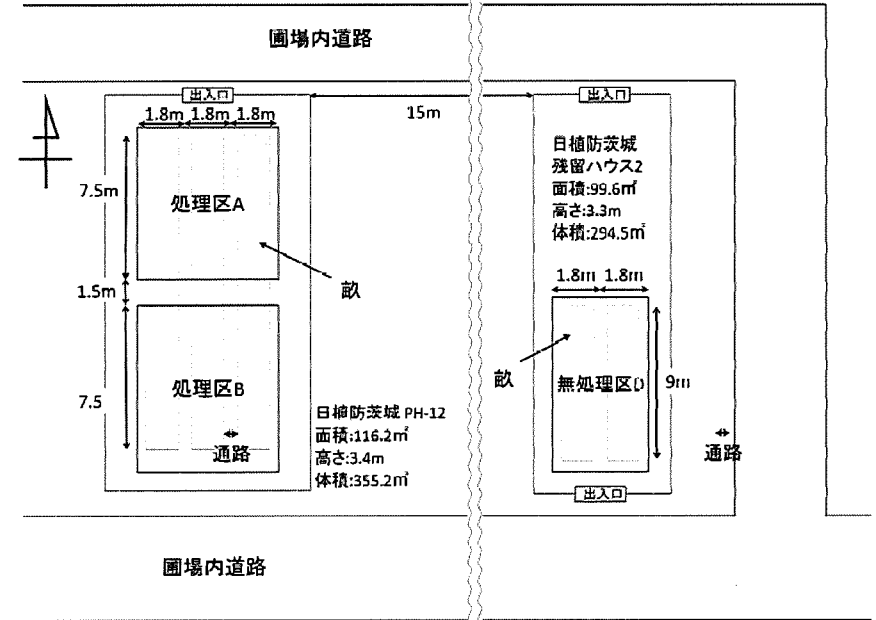
処理区A、処理区B：各区40.5㎡(7.5m×1.8m×3畝) 90株、無処理区C：32.4㎡(9m×1.8m×2畝) 72株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ PH-12(処理区)面積：116.2㎡ 容積：355.2㎡ 高さ：3.4m

残留ハウス2(無処理区)面積：126.2㎡ 容積：294.5㎡ 高さ：3.3m

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作成して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



処理区A 40.5㎡(7.5m×1.8m×3) 90株
 処理区B 40.5㎡(7.5m×1.8m×3) 90株
 無処理区C 32.4㎡(9m×1.8m×2) 72株

1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成24年10月9日	マトリック		無処理	2000倍	279L	5.65ml/11.3L/40.5㎡	6.0ml/12.0L	果実肥大期(草丈約2m)	茎葉散布
10月16日	マトリック			2000倍	279L	5.65ml/11.3L/40.5㎡	6.0ml/12.0L	果実成熟期 (草丈約2m)	茎葉散布 (混用)
	ウララ			2000倍		5.65g/11.3L/40.5㎡	6.0g/12.0L		
	スタークル			2000倍		5.65g/11.3L/40.5㎡	6.0g/12.0L		
10月22日	マトリック			2000倍	279L	5.65ml/11.3L/40.5㎡	6.0ml/12.0L	収穫期 (草丈約2m)	茎葉散布 (混用)
	ウララ			2000倍		5.65g/11.3L/40.5㎡	6.0g/12.0L		
	スタークル			2000倍		5.65g/11.3L/40.5㎡	6.0g/12.0L		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
平成24年10月9日			時刻 15:40 ~ 15:55	天候: 晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
10月16日	背負式バッテリー動噴(丸山 MSB151-A)に、2頭ロコーンノズル(麻場 CPW-21.0)をつけ、株全体へ均一に散布した。		時刻 16:00 ~ 16:15	天候: 晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
10月22日			時刻 15:30 ~ 15:45	天候: 晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成24年10月2日		ラノー	無処理	1000倍	279L	11.3ml/11.3L/40.5㎡	12.0ml/12.0L	果実肥大期 (草丈約2m)	茎葉散布
10月9日		ラノー		1000倍	279L	11.3ml/11.3L/40.5㎡	12.0ml/12.0L	果実肥大期 (草丈約2m)	茎葉散布 (混用)
		カンタス		1000倍		11.3g/11.3L/40.5㎡	12.0g/12.0L		
10月16日		ラノー		1000倍	279L	11.3ml/11.3L/40.5㎡	12.0ml/12.0L	果実成熟期 (草丈約2m)	茎葉散布 (混用)
		カンタス		1000倍		11.3g/11.3L/40.5㎡	12.0g/12.0L		
		プレオ		1000倍		11.3ml/11.3L/40.5㎡	12.0ml/12.0L		
10月22日		ラノー		1000倍	279L	11.3ml/11.3L/40.5㎡	12.0ml/12.0L	収穫初期 (草丈約2m)	茎葉散布 (混用)
		カンタス		1000倍		11.3g/11.3L/40.5㎡	12.0g/12.0L		
		プレオ		1000倍		11.3ml/11.3L/40.5㎡	12.0ml/12.0L		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
平成24年10月2日			時刻 17:00 ~ 17:15	天候: 曇り(日中曇り)、風の影響なし。
10月9日	背負式バッテリー動噴(丸山 MSB151-A)に、2頭ロコーンノズル(麻場 CPW-21.0)をつけ、株全体へ均一に散布した。		時刻 15:20 ~ 15:35	天候: 晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
10月16日			時刻 15:40 ~ 15:55	天候: 晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
10月22日			時刻 15:55 ~ 16:10	天候: 晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

処理区A、処理区Bの間を、高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
平成24年10月23日	A-1	B-1	C	C区 時刻: 11:10 ~ 11:13 天候: 曇り	C→B→A	6個/8.1kg	10月23日
				B区 時刻: 11:30 ~ 11:33 天候: 曇り		6個/7.8kg	
				A区 時刻: 11:45 ~ 11:48 天候: 曇り		6個/7.9kg	
10月25日	A-2	B-2		B区 時刻: 13:05 ~ 13:08 天候: 曇り	B→A	6個/8.7kg	10月25日
				A区 時刻: 13:15 ~ 13:18 天候: 曇り		6個/8.5kg	
10月29日	A-3	B-3		B区 時刻: 8:20 ~ 8:23 天候: 曇り	B→A	6個/8.8kg	10月29日
				A区 時刻: 8:25 ~ 8:28 天候: 曇り		6個/8.9kg	

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
平成24年10月23日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月25日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月29日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

- (1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載。

各区、試験区の境界部(南北)をはずして、偏りがないように区全体から大きさの揃った試料を鉢で採取し、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた。
- (2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・粉すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載。

試料は1個ずつ包装紙に包んでポリ袋に入れ、試料番号毎に段ボール箱に入れて動かないように裁断した紙を詰め、箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包シールを貼り付けて梱包した。
- (3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所
- (4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日に指定して送付した。
- (5) 備考

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所: 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所 PH-12

観測条件: 気温:平均気温(1 時間毎)、

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	施設内気温(°C)		19.8	18.7	18.0	19.1	18.6	14.4	12.4	12.0	11.3	15.9	13.7	9.3	10.7	14.1	8.7	9.9	14.1	7.4	6.1	8.5	9.2	11.8	7.5	11.6	9.0	11.8	11.9	7.8		

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区 (PH12)

メロン:	平成23年10月 2日	アオバ液剤 4000倍 2L/m ² 灌注
	10月21日	ベストガード水溶剤 1000倍・粘着くん液剤 100倍・アミスターオブティフロアブル 1000倍
	10月28日	コロマイト乳剤 1000倍・ゴッツA 1000倍・粘着くん液剤 100倍
	10月17, 24, 31日	モスピラン水溶剤 2000倍・アフエットフロアブル 2000倍・サンマイトフロアブル 1000倍
メロン:	平成24年 3月16日	テロン92 20L/10a土壌全面点注
	4月26日	ゴッツA 1000倍・マイトコーネフロアブル 1000倍
	5月14日	ダコニール1000 1000倍
	5月15日	バスタ液剤 100倍通路散布
	5月21日	カスミンボルドー 1000倍・ベストガード水溶剤 2000倍
	5月28日	ロブラール水和剤 1000倍・ダコニール1000 1000倍
	6月 7日	ロブラール水和剤 1000倍・ダコニール1000 1000倍・モレスタン水和剤 3000倍
	6月27日	モレスタン水和剤 3000倍・ダコニール1000 1000倍
	7月12日	モスピラン水溶剤 8000倍・ダントツ水溶剤 4000倍
	6月19日	アーデント水和剤 750倍・ベルクート水和剤 1000倍
	6月26日	アーデント水和剤 750倍・ベルクート水和剤 1000倍・ロディー乳剤 1000倍・テルスター水和剤 1000倍・フルピカフロアブル 2000倍・マネージDF 1000倍・ランマンフロアブル 1000倍
	7月 3日	アーデント水和剤 750倍・ベルクート水和剤 1000倍・ロディー乳剤 1000倍・テルスター水和剤 1000倍・フルピカフロアブル 2000倍散布・マネージDF 1000倍・ランマンフロアブル 1000倍・ホライズンドライフロアブル 2500倍・フォリオゴールド 800倍・スコア顆粒水和剤 2000倍
	7月10日	アーデント水和剤 750倍・ベルクート水和剤 1000倍・ロディー乳剤 1000倍・テルスター水和剤 1000倍・フルピカフロアブル 2000倍・マネージDF 1000倍・ランマンフロアブル 1000倍・ホライズンドライフロアブル 2500倍・フォリオゴールド 800倍・スコア顆粒水和剤 2000倍・バロックフロアブル 2000倍・ダニサラバフロアブル 1000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍
	7月16日	アーデント水和剤 750倍・ベルクート水和剤 1000倍・ロディー乳剤 1000倍・テルスター水和剤 1000倍・フルピカフロアブル 2000倍・マネージDF 1000倍・ランマンフロアブル 1000倍・ホライズンドライフロアブル 2500倍・フォリオゴールド 800倍・スコア顆粒水和剤 2000倍・バロックフロアブル 2000倍・ダニサラバフロアブル 1000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍・カネマイトフロアブル 1000倍・ピラニカEW 2000倍

無処理区 (残留ハウス2)

メロン:	平成24年 3月16日	テロン92 20L/10a土壌全面点注処理
	4月26日	ゴッツA 1000倍・マイトコーネフロアブル 1000倍
	5月14日	ダコニール1000 1000倍
	5月15日	バスタ液剤 100倍通路散布
	5月21日	カスミンボルドー 1000倍・ベストガード水溶剤 2000倍
	5月28日	ロブラール水和剤 1000倍・ダコニール1000 1000倍
	6月 7日	ロブラール水和剤 1000倍・ダコニール1000 1000倍・モレスタン水和剤 3000倍
	6月27日	モレスタン水和剤 3000倍・ダコニール1000 1000倍
	7月12日	モスピラン水溶剤 8000倍・ダントツ水溶剤 4000倍

別紙2. 試験風景

写真1. ハウス全景(処理区)



写真2. ハウス全景(無処理区)



写真3. 散布状況



写真4. A区第1回散布時の果実の大きさ



写真5. A区第2回散布時の果実の大きさ



写真6. B区第3回散布時の果実の大きさ



(H24調理加工(茨城)ネットメロン)

写真7. B区第1回散布時の果実の大きさ



写真8. B区第2回散布時の果実の大きさ



試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

写真9. B区第3回散布時の果実の大きさ



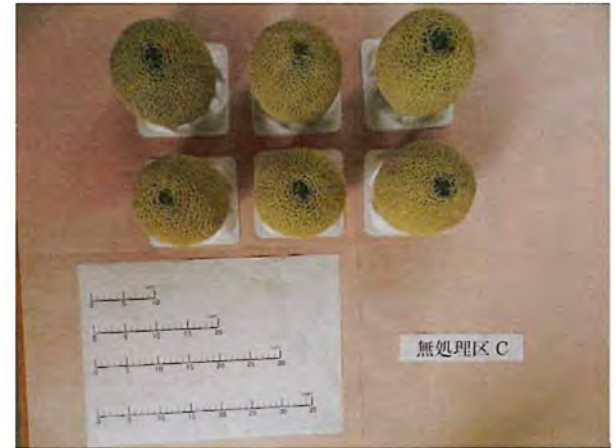
写真10. B区第4回散布時の果実の大きさ



写真11. 試料最終の状況



写真12. 無処理区Cの試料の果実の大きさ



(H24調理加工(茨城)ネットメロン)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

写真13. 処理区Bの1日後試料の果実の大きさ

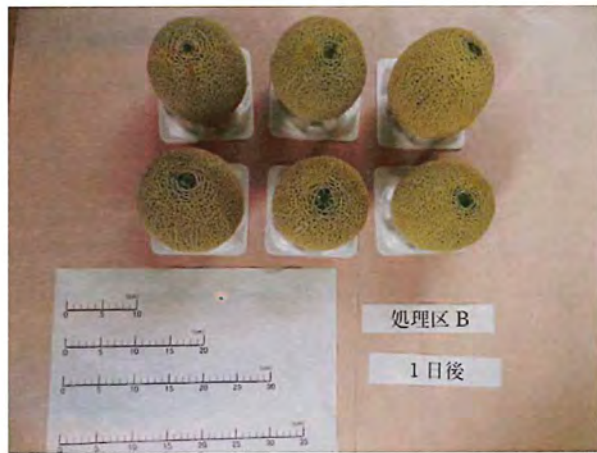


写真14. 処理区Bの3日後試料の果実の大きさ

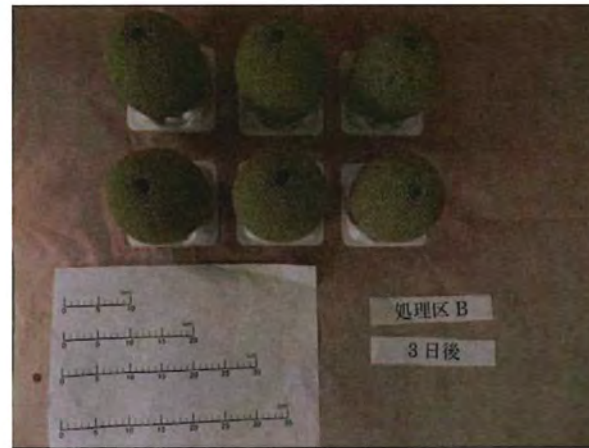


写真15. 処理区Bの7日後試料の果実の大きさ

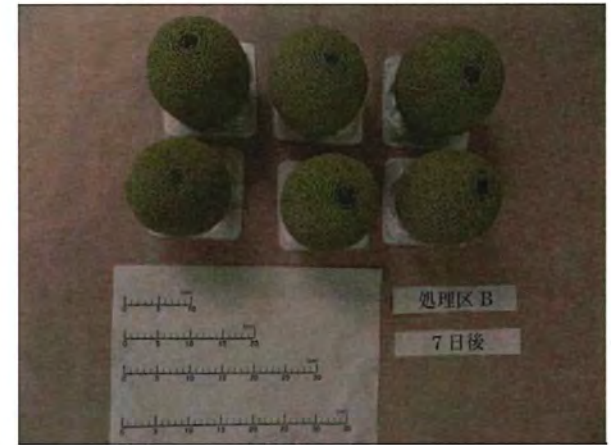


写真16. 処理区Aの1日後試料の果実の大きさ



写真17. 処理区Aの3日後試料の果実の大きさ

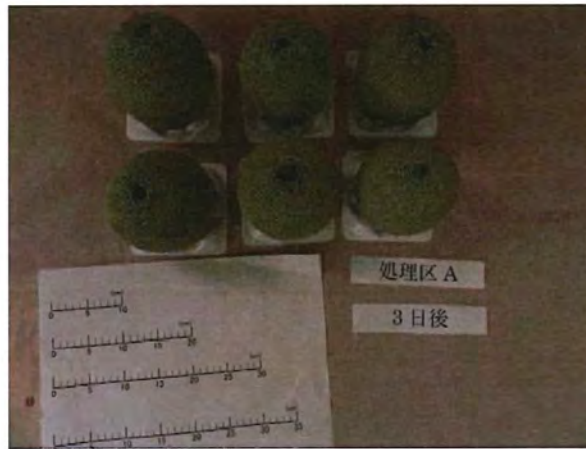
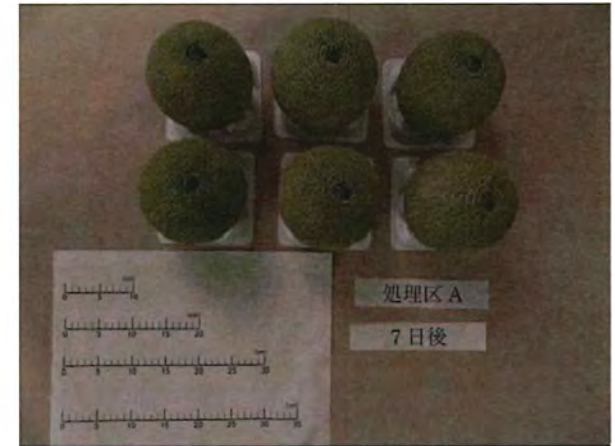


写真18. 処理区Aの7日後試料の果実の大きさ



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年11月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①クロマフェノシド[®] (マトリックプロア[®]), ②プロニカミド[®] (ウララDF), ③ジ[®]ノテフラン (スタークル顆粒水溶剤)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①クロマフェノシド[®] 5.0%, ②プロニカミド[®] 10.0%, ③ジ[®]ノテフラン 20.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ①17H40002, ②759586, ③09F50001。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④ビリダリル (プレオプロア[®]), ⑤ビリ[®]ロキシフェン (ターノ乳剤), ⑥ホ[®]スカリト (カンタストライプロア[®])。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ④ビリダリル 10.0%, ⑤ビリ[®]ロキシフェン 10.0%, ⑥ホ[®]スカリト 50.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ④CAA010, ⑤GA333F, ⑥K1Z01。

2. 農作物名 メロン 品種名 雅秋冬412

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 覚、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 (植壤土) 埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても掲げません)

別紙に記載。

7. 栽培概要

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

ネットメロン：播種：平成24年8月21日，定植：9月4日，畝幅：140cm，株間：40cm，

1条植，約1800株/10a，施肥：平成24年8月3日 ケントップ 1500kg/10a，苦土石灰 100kg/10a，

マルチ栽培，加温栽培 その他管理は慣行に従った。人工交配：9月26日～10月1日。

収穫期間 (適期)：平成24年11月下旬 ~。

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ —

を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても掲げません)

別紙に記載。

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本 (株) 数 ネットメロン：処理区A, B：各28.0㎡，50株
無処理区C：11.2㎡，20株

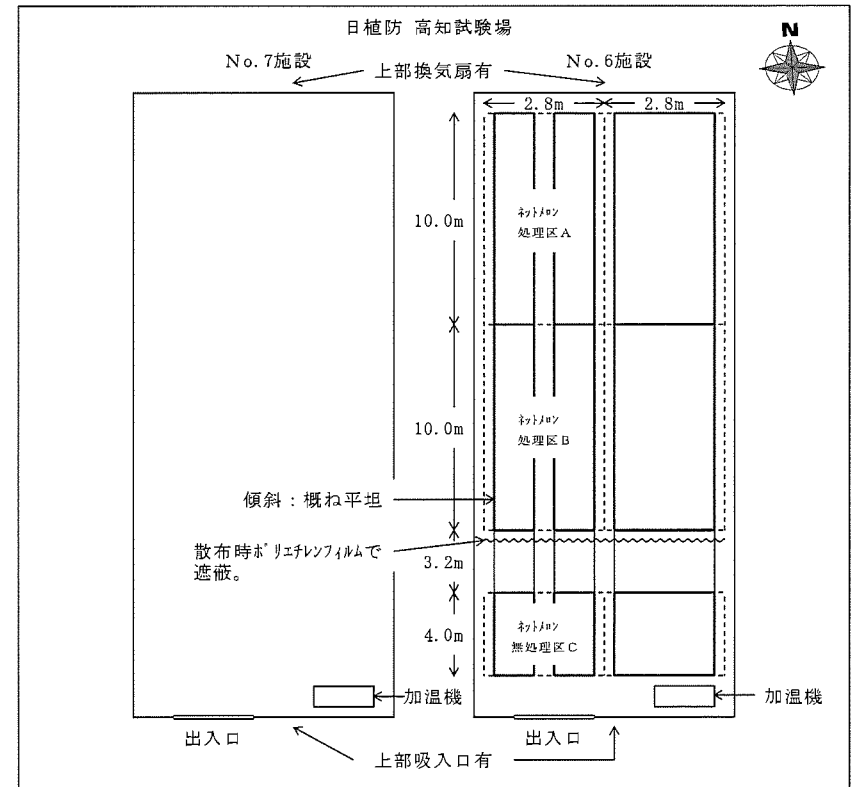
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積：225㎡，容積：680㎡，高さ：3.4m

- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても掲げません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年11月13日	①	/	無処理			①2000倍	281L	①4.0mL/7.9L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月20日	①, ②, ③					①2000倍, ②2000倍, ③2000倍	281L	①4.0mL, ②4.0g, ③4.0g /7.9L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月26日	①, ②, ③					①2000倍, ②2000倍, ③2000倍	281L	①4.0mL, ②4.0g, ③4.0g /7.9L/28.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日	①:クロマフェノジド (マトリックプロアブル)									
月 日	②:プロニカミド (ウラアDF)									
月 日	③:ジメチルメチルシラン (スカール顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年11月13日	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 17:00	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月26日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:35	処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24. 11月27日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A; 10:10 ~ 10:20 B; 9:00 ~ 9:10 天候: 晴れ C; 7:30 ~ 7:40	C → B → A	A区: 6個(14.1kg) B区: 6個(14.3kg) × 1分析 C区: 6個(14.0kg)	11月27日
11月29日	A-2	B-2						採取 A; 11:30 ~ 11:40 B; 11:00 ~ 11:10 天候: 曇	B → A	A区: 6個(14.3kg) × 1分析 B区: 6個(14.2kg)	11月29日
12月 3日	A-3	B-3						採取 A; 11:30 ~ 11:40 B; 11:10 ~ 11:20 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個(14.1kg) × 1分析 B区: 6個(14.1kg)	12月 3日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24. 11月27日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
11月29日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

- (1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後処理等のための輸送方法を記載
- 処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。
- 採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で運んだ。
- (2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻、剪り等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載
- ダンボール箱に包装紙を敷き、破損防止のため底にエアークッションを敷いた。果実を個別に包装紙で包んだ後、ダンボール箱に並べて入れ梱包した。
- また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。
- 試験区ごと別々に梱包した。
- (3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所
- (4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等
- 到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。
- (5) 備考 -

(24-調理加工(高知) ネットメロン I)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：すいか

平成23年. 11/11 モレスタン水和剤 4000倍, アファーム乳剤 2000倍 散布,

12/2 アファーム乳剤 2000倍 散布,

12/9 ブレオフロアブル 1000倍, アトマイザーフロアブル 4000倍 散布,

12/27 モレスタン水和剤 3000倍 散布,

12/1, 8, 19 S-2200 40SC 2000倍, トップシモン水和剤 1500倍, ビクシODF 2000倍, スプレックス水和剤 1500倍 散布。

平成24年春作：ほうれんそう

平成24年. 3/16 ランマンフロアブル 500倍 灌注,

4/17 アトマイザー顆粒水和剤 10000倍 散布,

4/9, 16 ニッゾラン水和剤 2000倍 散布。

平成24年春夏作：なす

平成24年. 6/6 アファームエクト顆粒水和剤 1500倍, ベネアOD 4000倍, アファーム乳剤 2000倍 散布,

6/26, 7/3 ホリガリレリン脂肪酸エステル(NK-1001)乳剤 1000倍 散布,

6/26 A-253乳剤 4000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布。

平成24年秋冬作：ネットメロン

平成24年. 9/2 アトマイザー水和剤 2000倍 散布,

9/19 アファーム乳剤 2000倍, アトマイザーフロアブル 4000倍, グコニール1000 1000倍 散布,

9/28 ブレバランフロアブル#5 1000倍 散布,

10/12 グコニール1000 1000倍, モレスタン水和剤 3000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布。

平成24年秋冬作：ノーネットメロン

平成24年. 9/8 アファーム乳剤 2000倍 散布,

9/20 アファーム乳剤 2000倍 散布,

9/28 ブレバランフロアブル#5 1000倍 散布,

10/2 アトマイザーフロアブル 4000倍, ベルコートフロアブル 1000倍 散布,

10/12 グコニール1000 1000倍, モレスタン水和剤 3000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成24年. 11/9 アファーム乳剤 2000倍, ベストガード水溶剤 1000倍, ベルコートフロアブル 1000倍 散布。

(24-調理加工(高知) ネットメロン I)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 _____ 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	気温(施設内温度)						20.3	20.0	19.7	19.8	19.4	17.1	19.7	19.2	18.7	17.6	20.1	16.5	19.9	20.4	20.0	19.6	16.9	17.1	18.7	19.0	17.9	18.6	18.3	16.8	18.5	
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取						○							○							○						○	△		△		
	区記号(試料番号)						B							A, B							A, B						A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2			
1	気温(施設内温度)	18.1	15.9	18.1																												
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取			△																												
	区記号(試料番号)			A-3, B-3																												
	気温(施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															

薬剤処理日(ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号(試験区ラベルと同様の番号)を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、データロガー(株式会社 ティント*デイ おんどとり TR-71Ui)を使用した。

(24-調理加工(高知)ネットメロンI)

別紙1 試料写真

写真1. ネットメロン全景



写真2. ネットメロン1回目処理



写真3. ネットメロン2回目処理



写真4. ネットメロン3回目処理



写真5. ネットメロン4回目処理



写真6. ネットメロン5回目処理



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年11月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①クロマフェノシド(マトリックプロアブル), ②フロエカミド(ウララDF), ③ジメチアザン(スタークル顆粒水溶剤)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①クロマフェノシド 5.0%, ②フロエカミド 10.0%, ③ジメチアザン 20.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ①17H40002, ②759586, ③09F50001。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④ビリダリル(プレオプロアブル), ⑤ビリプロキシフェン(ラー乳剤), ⑥ホスカリト(カンタストライプロアブル)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ④ビリダリル 10.0%, ⑤ビリプロキシフェン 10.0%, ⑥ホスカリト 50.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ④CAA010, ⑤GA333F, ⑥K1Z01。

2. 農作物名 メロン(ネット)

品種名 雅秋冬412

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 覚、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壌土 (壤土) 埴壌土・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
 被覆資材(茶は茶袋の番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の茶袋の被覆時期を記載する
 露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

ネットメロン: 播種:平成24年9月4日, 定植:9月18日, 畝幅:140cm, 株間:40cm, 1条植,

約1800株/10a, 施肥:平成24年8月9日 ヤシガラチップ 1400kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

追肥:11月20日 くみあい液肥1号(12-5-7) 33kg/10a, マル栽培, 加温栽培,

その他管理は慣行に従った。人工交配:10月15日~10月19日。

収穫期間(適期):平成24年12月中旬~。

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージ — を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

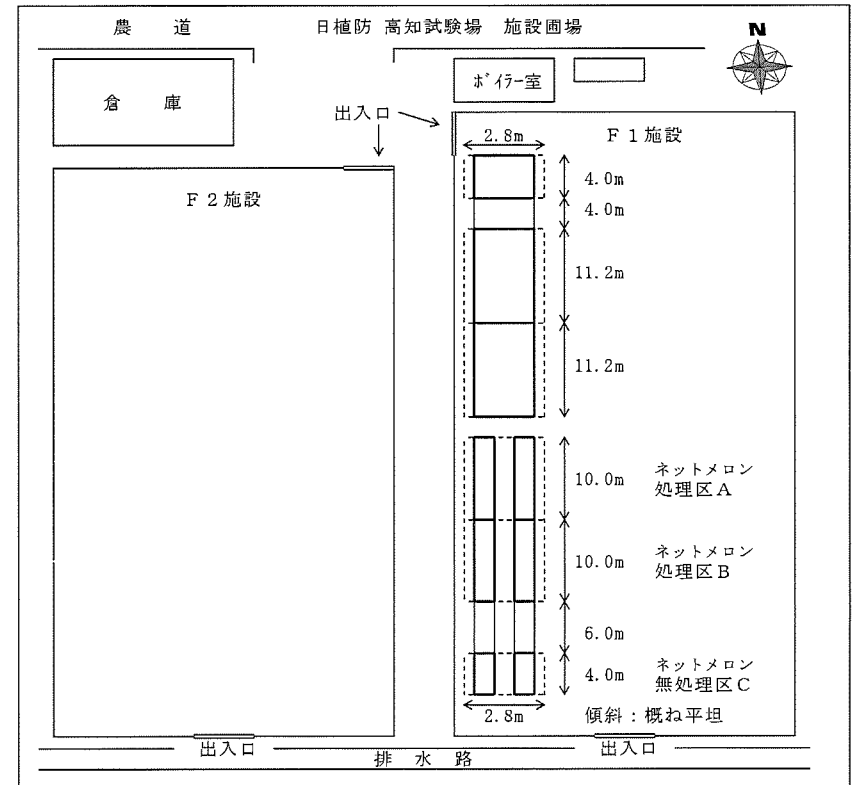
(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 各28.0㎡, 50株

無処理区C: 11.2㎡, 20株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積:986㎡, 容積:2909m³, 高さ:3.9m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	処理濃度	処理量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年11月27日	①	/	無処理			①2000倍	281L	①4.0mL/7.9L/28.0m ²	成熟期	茎葉散布
12月4日	①, ②, ③					①2000倍, ②2000倍, ③2000倍	281L	①4.0mL, ②4.0g, /7.9L/28.0m ² ③4.0g	成熟期	茎葉散布
12月10日	①, ②, ③					①2000倍, ②2000倍, ③2000倍	281L	①4.0mL, ②4.0g, /7.9L/28.0m ² ③4.0g	収穫期	茎葉散布
月 日	①:クロマフェノジド (マトリックフロアブル)									
月 日	②:プロニカト (ワララDF)									
月 日	③:ジノテフラン (スカークル顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
		H24年11月27日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。		
12月4日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。			処理開始時刻; 15:00	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月10日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。			処理開始時刻; 16:35	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24.12月11日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A: 11:00 ~ 11:10 B: 10:20 ~ 10:30 天候: 晴れ C: 9:40 ~ 9:50	C → B → A	A区: 6個 (10.4kg) B区: 6個 (9.8kg) × 1分析 C区: 6個 (10.9kg)	12月11日
12月13日	A-2	B-2						採取 A: 10:50 ~ 11:00 B: 9:50 ~ 10:00 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (10.6kg) B区: 6個 (9.8kg) × 1分析	12月13日
12月17日	A-3	B-3						採取 A: 10:20 ~ 10:30 B: 9:30 ~ 9:40 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個 (10.7kg) B区: 6個 (9.4kg) × 1分析	12月17日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24.12月11日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月13日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月17日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

- (1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後処理等のための輸送方法を記載
- 処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。
- 採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で行った。
- (2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、電磁、
脱粒・選り等の方法、調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載
- ダンボール箱に包装紙を敷き、破損防止のため底にエアークッションを敷いた。果実を個別に包装紙で包んだ後、ダンボール箱に並べて入れ梱包した。
- また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。
- 試験区ごと別々に梱包した。
- (3) 試料送付先 分析機関： 一般財団法人 残留農薬研究所
- (4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等
- 到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。
- (5) 備考 -

(24ー調理加工(高知) ネットメロンⅡ)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：なす

平成23年. 11/21 カートホブ 液剤 4000倍 灌注,

11/25 アファーム乳剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 2000倍 散布,

11/14, 21, 28 NF-1717フロアブル 1000倍 散布,

12/9 ヘルクトフロアブル 2000倍, アファーム乳剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

12/27 ヘルクトフロアブル 2000倍, アファーム乳剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

平成24年. 1/12 アファーム乳剤 1000倍, ベストガード水溶剤 2000倍 散布,

1/10, 17, 24 ME5343顆粒水和剤 2000倍 散布,

3/1 アファーム乳剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 2000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

3/8 アトマイザーフロアブル 4000倍, フレオフロアブル 1000倍 散布,

3/16 ホルスター乳剤 1500倍, カンタストライフロアブル 1000倍 散布,

2/27, 3/5, 12, 19, 26 タニコール1000フロアブル 1000倍 散布,

2/27, 3/5, 12, 19, 26 カンVⅡエゾル 原液噴射,

4/24 アトマイザーフロアブル 4000倍, アファーム乳剤 1000倍 散布。

平成24年秋冬作：ネットメロン

平成24年. 8/24 D-D 20L/10a,

10/2 アトマイザーフロアブル 4000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布,

10/11 アファーム乳剤 1000倍 散布,

10/19 トリフィン水和剤 3000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布,

10/29 カートホブ 液剤 4000倍 灌注,

11/9 ベストガード水溶剤 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布,

11/16 カートホブ 液剤 4000倍 灌注。

平成24年秋冬作：まくわうり

平成24年. 8/24 D-D 20L/10a,

塩基性塩化銅, 食酢 購入種子に処理済,

9/8 アファーム乳剤 2000倍 散布,

9/24 アファーム乳剤 2000倍, アトマイザーフロアブル 4000倍 散布,

10/2 アトマイザーフロアブル 4000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布,

10/11 アファーム乳剤 1000倍 散布,

10/19 トリフィン水和剤 3000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布,

10/29 カートホブ 液剤 4000倍 灌注,

11/9 ベストガード水溶剤 1000倍, アファーム乳剤 2000倍, モルスタン水和剤 4000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成24年. 11/30 ベストガード水溶剤 2000倍, アファーム乳剤 1000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布。

(24-調理加工 (高知) ネットメロンⅡ)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深瀬 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 _____ 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11	気温 (施設内温度)																				21.4	21.9	18.9	19.0	20.6	21.6	19.5	19.8	21.0	18.7	20.3	
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																					○							○			
	区記号 (試料番号)																					B							A, B			
12	気温 (施設内温度)	19.7	17.7	20.9	19.7	18.7	19.0	19.8	18.8	19.1	19.5	20.4	20.3	18.5	21.2	21.5	21.0	18.8														
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取				○						○	△		△					△													
	区記号 (試料番号)				A, B						A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2					A-3, B-3														
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (試験区ラベルと同様の番号) を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、デークガー (株式会社 ティアドゥイ おんどとりTR-71Ui) を使用した。

(24-調理加工(高知)ネットメロンⅡ)

別紙1 試料写真

写真1. ネットメロン全景



写真2. ネットメロン1回目処理



写真3. ネットメロン2回目処理



写真4. ネットメロン3回目処理



写真5. ネットメロン4回目処理



平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 12月 ~ 25年 1月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①クロマフェニトド (マトリック)フロアブル, ②フロニカミド (ウララ) DF,
③ジメトフレン (スタークル) 顆粒水溶剤, ④ピリタリル (フレオ) フロアブル,
⑤ピリプロキシフェン (ラーノ) 乳剤, ⑥ホスカリド (カンタス) ドライフロアブル
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①クロマフェニトド 5.0%, ②フロニカミド 10.0%, ③ジメトフレン 20.0%,
④ピリタリル 10.0%, ⑤ピリプロキシフェン 10.0%, ⑥ホスカリド 50.0%

(3) 被験物質の Lot No. ①17H40002, ②759586, ③09F50001, ④CAA10, ⑤GA333F, ⑥K1Z01

2. 農作物名 メロン (ネット) 品種名 アールスセイヌ秋冬II

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壤土 減水深 cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期・移植期・施肥の種類・量・時期・樹齢・栽植密度 (畝間・株間)・株数 (10a)、水管理等、
被覆資材 (茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

播種: 平成24年9月21日 定植: 平成24年10月16日 畝間: 1.35m 株間: 0.45m 1条植

主枝1本仕立て 栽植本数(10aあたり): 1,600株 白ポリマルチ 圃場は概ね平坦

施肥(10aあたり): <元肥> 12/10/03 堆肥 3000kg 苦土石灰 140kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 5

有機配合888号(8-8-8) 75kg 12/10/15 硝安 定植前日, 2g/植六穴与

<追肥> 無し

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

12/12/20 スプレックスくん煙顆粒 50g/450m²

12/12/26 スプレックスくん煙顆粒 50g/450m²

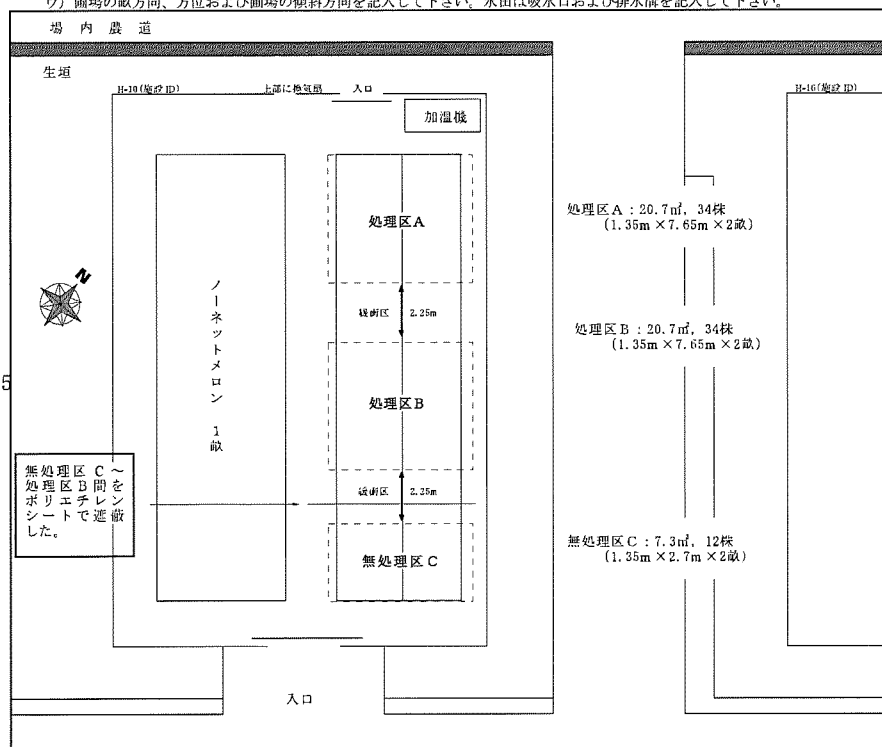
10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A: 20.7m² (34株) 処理区B: 20.7m² (34株)
無処理区C: 7.3m² (12株)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150m² (6.0m×25.0m), 450m³, 最高3.7m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区	B区	C区			処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
12月 19日		⑤	無処理			1000倍	242ℓ	⑤6.0ml/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
12月 26日	①					2000倍	242ℓ	①3.0ml/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
		⑤⑥				1000倍(混用)	242ℓ	⑤6.0ml,⑥6.00g/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
1月 2日	①②③					2000倍(混用)	242ℓ	①3.0ml,②3.00g,③3.00g/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
		④⑤⑥		①クロマフェジド [®] (マトリック)フロアブル 2000倍		1000倍(混用)	242ℓ	④6.0ml,⑤6.0ml,⑥6.00g/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
1月 8日	①②③			②プロニカミド [®] (リラテ)DF 2000倍		2000倍(混用)	242ℓ	①3.0ml,②3.00g,③3.00g/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
		④⑤⑥		③ジ [®] ナフラン(スタークル)顆粒水溶剤 2000倍		1000倍(混用)	242ℓ	④6.0ml,⑤6.0ml,⑥6.00g/6.0%調製液を作製 20.7㎡に5.0%を散布した	収穫期	茎葉散布
				④ビ [®] リダ [®] リル(ア [®] レオ)フロアブル 1000倍						
				⑤ビ [®] リダ [®] ロキシフェン(ラノ)乳剤 1000倍						
				⑥ホ [®] スカリト [®] (カンタス)ドライフロアブル 1000倍						

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
12月 19日	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角コンノズル	茎葉散布	処理時刻 AM11:11~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
12月 26日	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角コンノズル	茎葉散布	処理時刻 A区AM11:37~,B区PM1:29~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1月 2日	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角コンノズル	茎葉散布	処理時刻 A区AM11:20~,B区AM11:59~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1月 8日	丸山製 バッテリー噴霧機 MSB151-A+狭角コンノズル	茎葉散布	処理時刻 A区PM1:33~,B区PM1:49~ 天候:曇り 無風 処理後の天気は曇り

- (1) 展着剤 ー 使用した区番号 展着剤名 濃度または量
- (2) 備考
-
-
-
-
-

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区分 A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1月 9日	A-1	B-1	C	AM9:06-9:10, 9:52-9:57, 10:19-10:24 晴れ	C→A→B	各区 6個×1分析	1月 9日
1月 11日	A-2	B-2		AM9:28-9:32, 9:56-9:59 晴れ	A→B	各区 6個×1分析	1月 11日
1月 15日	A-3	B-3		AM9:23-9:26, 9:58-10:02 晴れ	A→B	各区 6個×1分析	1月 15日

採取月日	区分	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1月 9日		1. 試料の大きさは (通常) 2. 熟期は (通常) 3. その他 () 4. 原因
1月 11日		1. 試料の大きさは (通常) 2. 熟期は (通常) 3. その他 () 4. 原因
1月 15日		1. 試料の大きさは (通常) 2. 熟期は (通常) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、採取後乾燥のための輸送方法を記載
 南北の境界部を除き、偏りがないよう区全体から採取専用のハサミを用いて果実を採取し、ボークスペーパーを敷いたカゴに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法
 果実を個別に包装紙材で包み、2重にしたポリ袋およびエアキャップ (小) で包んだ後、包装紙材を敷いたダンボール箱に入れた。なお、箱の底部および上部にエアキャップ (大) を2重にして敷いた。箱の内側に試験区ラベルを、外側に梱包シールを貼り付けした。なお、試験区毎に別梱包とした。

(3) 試料送付先 分析機関：一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、輸送会社等
 ヤマト運輸株式会社の便で、着日および冷蔵を指定し送付した。

(5) 備考

(24 - 調理加工 (宮崎) 初メロン)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

気象表

観測地点および試料調製場所 観測地点: 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設 (H-10)

記号 ○: 薬剤処理日

気温: 平均気温 (1 時間毎)

降水量: 日界 一 時

△: 試料採取日

(24 - 25 年)

測定時刻 一 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
12	気温 (施設内温度)											22.2	22.2	21.6	22.3	21.5	21.8	22.8	21.7	22.2	22.0	21.2	21.6	22.8	21.5	21.6	21.7	22.0	21.6	23.1	21.4	22.1	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																				○							○					
	区記号 (試料番号)																				B						A, B						
1	気温 (施設内温度)	22.9	22.6	23.0	21.1	21.4	21.3	22.7	21.3	21.6	21.8	20.4	21.8	20.1	20.8	21.2	22.3	21.8	20.3														
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取		○							○	△		△			△																	
	区記号 (試料番号)		A, B							A, B	C, A-1, B-1	A-2, B-2				A-3, B-3																	

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。
また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

観測機器 気温: T&DおんどとりTR-71Ui

別紙. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
ノーネットメロン	ハッザ乳剤	11	12	15	1500倍
	アグロシリン乳剤	11	12	15	1000倍
	スミレックス水和剤	11	12	22	1000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	11	12	22	10000倍
	ハッザ乳剤	11	12	22	1500倍
	アグロシリン乳剤	11	12	22	1000倍
	ランマンフロアブル	11	12	22	1000倍
	スミレックス水和剤	11	12	22	1000倍
	モスピラン水溶剤	11	12	22	2000倍
	ランマンフロアブル	11	12	22	1000倍
	モレスタン水和剤	11	12	22	3000倍
	ダントツ水溶剤	11	12	29	2000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	11	12	29	10000倍
	ハッザ乳剤	11	12	29	1500倍
	アグロシリン乳剤	11	12	29	1000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	2	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	4	2000倍
ハッザ乳剤	12	1	4	1500倍	
アグロシリン乳剤	12	1	4	1000倍	
ネットメロン	アグロシリン乳剤	11	12	20	1000倍
	モレスタン水和剤	11	12	22	3000倍
	モスピラン水溶剤	11	12	22	2000倍
	ダントツ水溶剤	11	12	22	2000倍
	ハッザ乳剤	11	12	27	1500倍
	アグロシリン乳剤	11	12	27	1000倍
	ハッザ乳剤	12	1	3	1500倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	3	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	3	2000倍
	アグロシリン乳剤	12	1	3	1000倍
	アグロシリン乳剤	12	1	10	1000倍
	ハッザ乳剤	12	1	10	1500倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	10	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	10	2000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	14	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	16	2000倍
	アグロシリン乳剤	12	1	16	1000倍
ハッザ乳剤	12	1	16	1500倍	

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
ほうれんそう	ネマキック粒剤	12	3	12	20kg/10a, 播種前, 全面処理土壌混和
	フロマトキン (ANM-138) フロアブル	12	4	9	2000倍
	フロマトキン (ANM-138) フロアブル	12	4	16	2000倍
メロン (現作・育苗期)	塩基性塩化銅	12	9	21	種苗会社による種子浸漬処理
	ダコニール1000	12	9	21	1000倍
	ザンマイフロアブル	12	10	15	1000倍
	ダコニール1000	12	10	15	1000倍
	ジマンダ イセン水和剤	12	10	15	500倍
メロン (現作・定植後)	アフアーム乳剤	12	11	2	2000倍
	ダコニール1000	12	11	2	1000倍
	ジマンダ イセン水和剤	12	11	2	500倍
	アトマイヤー水和剤	12	11	13	2000倍
	ダコニール1000	12	11	13	1000倍
	モレスタン水和剤	12	11	13	2000倍
	ジマンダ イセン水和剤	12	11	13	500倍
	モスピランゼット	12	11	23	50g/450 m ³
	モレスタン水和剤	12	11	28	2000倍
	コルト顆粒水和剤	12	11	28	3000倍
	ジマンダ イセン水和剤	12	11	28	500倍
	ダコニール1000	12	11	28	1000倍
	ダコニール1000	12	12	7	1000倍
	アフアーム乳剤	12	12	7	2000倍
モレスタン水和剤	12	12	7	2000倍	
ジマンダ イセン水和剤	12	12	7	500倍	

(24 - 調理加工 (宮崎) ネットメロン)

処理時の果実の写真

処理区B:1回目散布時(2012/12/19)



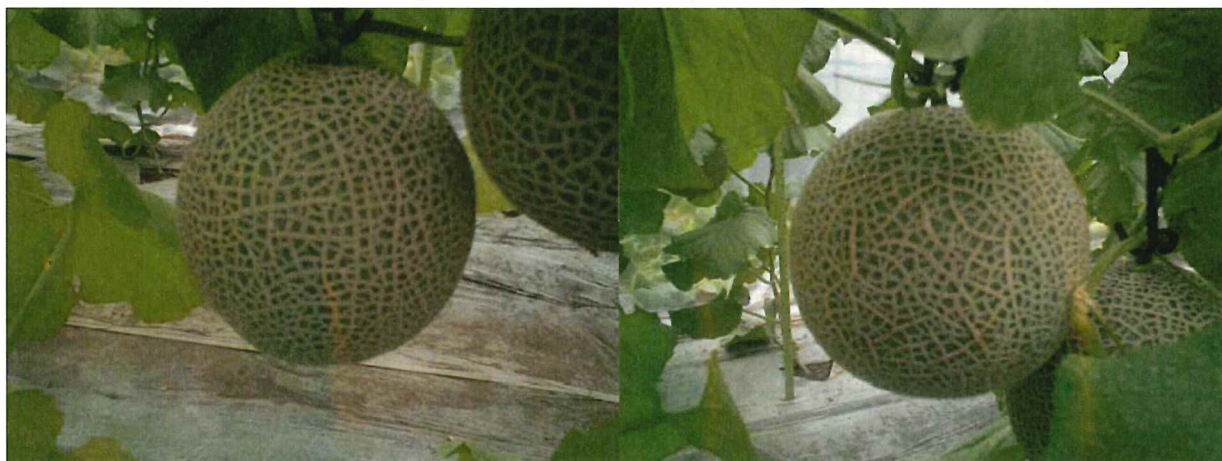
処理区A:1回目散布時(2012/12/26)

処理区B:2回目散布時(2012/12/26)



処理区A:2回目散布時(2013/01/02)

処理区B:3回目散布時(2013/01/02)



(24 - 調理加工 (宮崎) ネットマン)

処理時の果実の写真

処理区A: 3回目散布時(2013/01/08)

処理区B: 4回目散布時(2013/01/08)



平成24年度 農薬登録に係る調理加工試験明細書

(試験期間 24年9月 ~ 24年11月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①クロマフェノジド(マトリック)フロアブル ②フロニカミド(ウララ)DF ③ジノテフラン(スタークル)顆粒水溶剤 ④ピリダリル(プレオ)フロアブル ⑤ピリプロキシフェン(テノー)乳剤 ⑥ボスカリド(カンタス)ドライフロアブル
(2) 有効成分名及び成分含有率 ①クロマフェノジド 5% ②フロニカミド 10% ③ジノテフラン 20% ④ピリダリル 10% ⑤ピリプロキシフェン 10% ⑥ボスカリド 50%
(3) 被験物質のLot No. ①14.10 17H4002 ②15.10 759586 ③15.10 09F50001 ④14.10 CAA010 ⑤14.10 GA333F ⑥16.10 K1Z01

2. 農作物名 ノーネットメロン 品種名 アカブルコメロン

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名 森田 久孝、小川 和己、宮川 直也、後藤直人、柑本俊樹、小林照二

5. 土性 砂土・砂壤土・(壤土)・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1.に記載

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、被覆資材(資は養れい砂番号)、いちご:おうとう等の被覆時期、茶の養れい砂・トナリ栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別 施設(ガラスハウス) 有袋・無袋の別 -

播種:平成24年7月23日、定植:24年8月15日

栽植密度:畝間250cm、株間70cm、1条植え、570株/10a、マルチ栽培

施肥(10a当たり):8月14日配合594(5-9-4)80kg、苦土重焼燐28kg、その他の管理は、慣行に従った。

収穫期間(適期):平成24年10月下旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ - を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

8月6日スビノエス顆粒水和剤5000倍・ダコニール1000 1000倍、8月21日マイコター1000倍・ヘスタガード水和剤2000倍、9月4日フルビカフロアブル2000倍・スビノエス顆粒水和剤5000倍、9月10日アットプロアブル2000倍・ダコニール1000 1000倍・777-4乳剤2000倍、9月20日モレスタン水和剤4000倍・サンマイプロアブル1500倍・コッパA1000倍、9月27日アターム乳剤2000倍・コマイト乳剤1000倍・カゼートPZ水和剤1000倍、10月3日アトマイ水和剤2000倍・コッパA500倍・コマイト乳剤1000倍・アターム乳剤2000倍、10月11日ヘスタガード水和剤1500倍・コッパA500倍・モレスタン水和剤3000倍、10月17日ヘスタガード水和剤1000倍・サンマイプロアブル1000倍

10. 試験区

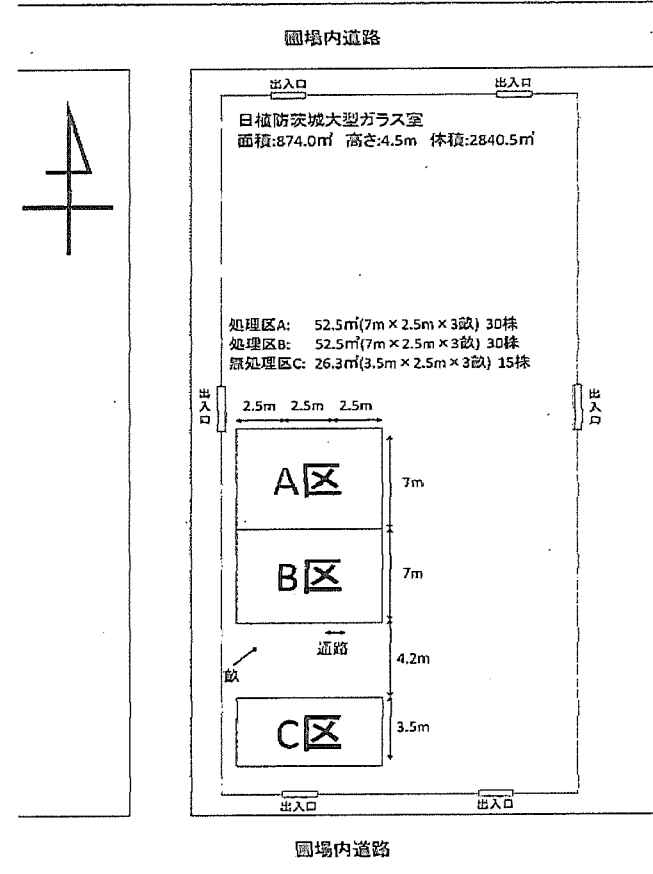
(1) 1試験区の面積および(株)数

処理区A、処理区B:各区52.5㎡(7m×2.5m×3畝) 30株、無処理区C:26.3㎡(3.5m×2.5m×3畝) 15株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積:874.0㎡、容積:2840.5㎡、高さ4.5m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は排水口および排水口を記入して下さい。



1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成24年10月 2日	マトリック		無処理	2000倍	257L	6.75ml/13.5L/52.5m ²	7.0ml/14.0L	果実肥大期 (草丈約25cm)	茎葉散布
10月 9日	マトリック			2000倍	286L	7.5ml/15.0L/52.5m ²	8.0ml/16.0L	果実成熟期 (草丈約25cm)	茎葉散布 (混用)
	ウララ			2000倍		7.5g/15.0L/52.5m ²	8.0g/16.0L		
	スタークル			2000倍		7.5g/15.0L/52.5m ²	8.0g/16.0L		
10月15日	マトリック			2000倍	286L	7.5ml/15.0L/52.5m ²	8.0ml/16.0L	収穫初期 (草丈約25cm)	茎葉散布 (混用)
	ウララ			2000倍		7.5g/15.0L/52.5m ²	8.0g/16.0L		
	スタークル			2000倍		7.5g/15.0L/52.5m ²	8.0g/16.0L		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機種)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
平成24年10月 2日	背負式バッテリー動噴(丸山 MSB151-A)に、2頭口コーンノズル(麻場 CPW-21.0)をつけ、株全体へ均一に散布した。		時刻 16:45 ~ 17:00	天候:曇り(日中曇り)、風の影響なし。
10月 9日			時刻 16:30 ~ 16:45	天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
10月15日			時刻 15:35 ~ 15:50	天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成24年 9月25日		ラノー	無処理	1000倍	257L	13.5ml/13.5L/52.5m ²	15.0ml/15.0L	果実肥大期 (草丈約25cm)	茎葉散布
10月 2日		ラノー		1000倍	257L	13.5ml/13.5L/52.5m ²	15.0ml/15.0L	果実肥大期 (草丈約25cm)	茎葉散布 (混用)
		カンタス		1000倍		13.5g/13.5L/52.5m ²	15.0g/15.0L		
10月 9日		ラノー		1000倍	286L	15.0ml/15.0L/52.5m ²	16.0ml/16.0L	果実成熟期 (草丈約25cm)	茎葉散布 (混用)
		カンタス		1000倍		15.0g/15.0L/52.5m ²	16.0g/16.0L		
		ブレオ		1000倍		15.0ml/15.0L/52.5m ²	16.0ml/16.0L		
10月15日		ラノー		1000倍	286L	15.0ml/15.0L/52.5m ²	16.0ml/16.0L	収穫初期 (草丈約25cm)	茎葉散布 (混用)
		カンタス		1000倍		15.0g/15.0L/52.5m ²	16.0g/16.0L		
		ブレオ		1000倍		15.0ml/15.0L/52.5m ²	16.0ml/16.0L		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機種)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
平成24年9月25日	背負式バッテリー動噴(丸山 MSB151-A)に、2頭口コーンノズル(麻場 CPW-21.0)をつけ、株全体へ均一に散布した。		時刻 11:25 ~ 11:40	天候:曇り(日中曇り)、風の影響なし。
10月 2日			時刻 16:20 ~ 16:35	天候:曇り(日中曇り)、風の影響なし。
10月 9日			時刻 16:10 ~ 16:25	天候:晴れ(日中晴れ)、風の影響なし。
10月15日			時刻 15:15 ~ 15:30	天候:曇り(日中曇り)、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

試験薬剤の散布時には、薬液の飛散による無処理区の汚染を防止するため、試験区間を約1.8mの高さまでポリフィルムで遮蔽した。

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

採取月日	区分 A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
平成24年10月16日	A-1	B-1	C	C区時刻: 10:50~ 10:55 天候:晴れ	C→B→A	6個/12.6kg	10月16日
				B区時刻: 11:15~ 11:20 天候:晴れ		6個/14.0kg	
				A区時刻: 11:40~ 11:45 天候:晴れ		6個/12.4kg	
10月18日	A-2	B-2		B区時刻: 9:00~ 9:05 天候:曇り	B→A	6個/14.0kg	10月18日
				A区時刻: 9:30~ 9:35 天候:曇り		6個/13.6kg	
10月22日	A-3	B-3		B区時刻: 11:30~ 11:35 天候:晴れ	B→A	6個/13.5kg	10月22日
				A区時刻: 11:50~ 11:55 天候:晴れ		6個/14.2kg	

採取月日	区分	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
平成24年10月16日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月18日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
10月22日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区の境界部 (南北) をはずして偏りがないように区全体から大きさの揃った試料を鉢で採取し、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・茹すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

試料は1個ずつ包装紙で包んでポリ袋に入れ、それを段ボール箱11箱につき3個を入れて動かないように裁断した紙を詰め、箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包シールを貼り付けて梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日に指定して送付した。

(5) 備考

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

さやいんげん (マルチ被覆栽培) :

平成23年 9月20日 アファーム乳剤 2000倍
10月19日 コロマイト乳剤 1500・ゴッツA 500倍
10月20日 トップジンM水和剤 700倍
10月28日 コロマイト乳剤 1500倍・ゴッツA 500倍
11月 4日 トップジンM水和剤 1500倍・アファーム乳剤 2000倍・粘着くん液剤 100倍

すいか (マルチ被覆栽培) :

平成24年 5月 7日 アドマイヤー顆粒水和剤 10000倍・ゴッツA 1000倍
5月15日 バスタ液剤 100倍通路散布
5月22日 ロブラール水和剤 1000倍・モスピラン水溶剤 4000倍
6月11日 ゴッツA 500倍・モスピラン水溶剤 3000倍
6月14日 アドマイヤー顆粒水和剤 10000倍・ロブラール水和剤 1000倍
6月 5日 アーデント水和剤 1000倍
6月12日 アーデント水和剤 1000倍・ロディー 1000倍・チェス顆粒水和剤 5000倍・ランマンフロアブル 1000倍
6月19日 アーデント水和剤 1000倍・ロディー 1000倍・チェス顆粒水和剤 5000倍・ランマンフロアブル 1000倍・
ホライズンドライフフロアブル 2500倍・カンタスドライフロアブル 1000倍・ストロビーフロアブル 2000倍・
シグナムWDG 1500倍
6月26日 アーデント水和剤 1000倍・ロディー 1000倍・チェス顆粒水和剤 5000倍・ランマンフロアブル 1000倍・
ホライズンドライフフロアブル 2500倍・カンタスドライフロアブル 1000倍・ストロビーフロアブル 2000倍・
シグナムWDG 1500倍・ダニサラバフロアブル 1000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍・
パンチョTF顆粒水和剤 1360倍・コテツフロアブル 2000倍
7月 2日 アーデント水和剤 1000倍・ロディー 1000倍散布・チェス顆粒水和剤 5000倍散布・ランマンフロアブル 1000倍・
ホライズンドライフフロアブル 2500倍・カンタスドライフロアブル 1000倍・ストロビーフロアブル 2000倍・
シグナムWDG 1500倍・ダニサラバフロアブル 1000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍・パンチョTF顆粒水和剤 1360倍・
コテツフロアブル 2000倍・スターマイトフロアブル 2000倍

無栽培

平成24年 8月2日 ソイリーン 25L/10a全面土壌点注

別紙2. 試験風景

写真1. ハウス全景



写真2. 散布状況(ポリフィルムにより遮蔽より奥:無処理区)



写真3. A区第1回散布時の果実の大きさ



写真4. A区第2回散布時の果実の大きさ



写真5. A区第3回散布時の果実の大きさ



写真6. A区第4回散布時の果実の大きさ



(H24調理加工(茨城)ノーネットメロン)

一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

写真7. B区第1回散布時の果実の大きさ



写真8. B区第2回散布時の果実の大きさ



写真9. B区第3回散布時の果実の大きさ



写真10. 試料採集の状況1



写真11. 試料採集の状況2



写真12. 処理区Cの試料の果実の大きさ



写真13. 処理区Bの1日後試料の果実の大きさ



写真14. 処理区Bの3日後試料の果実の大きさ

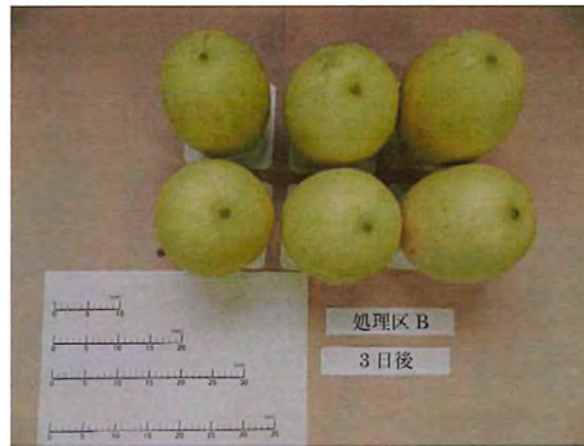


写真15. 処理区Bの7日後試料の果実の大きさ



写真16. 処理区Aの1日後試料の果実の大きさ

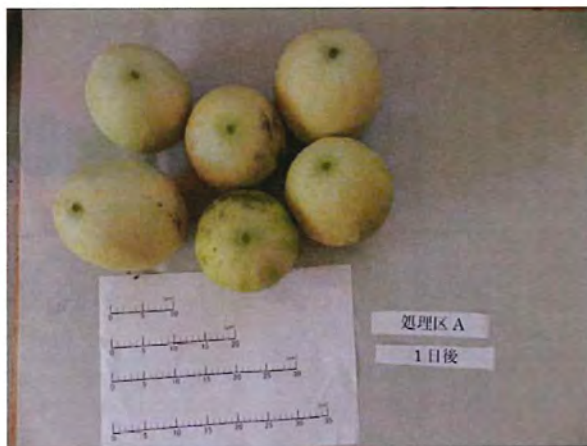


写真17. 処理区Aの3日後試料の果実の大きさ

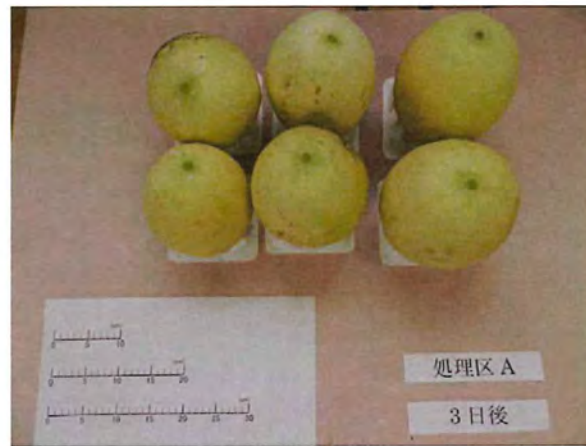


写真18. 処理区Aの7日後試料の果実の大きさ



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年11月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①クマフェノシト[®](マトリックフロアブル), ②フロンカミト[®](セララDF), ③ジノテフラン(スタークル顆粒水溶剤)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①クマフェノシト[®] 5.0%, ②フロンカミト[®] 10.0%, ③ジノテフラン 20.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ①17H40002, ②759586, ③09F50001。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④ピリダリル(プレオフロアブル), ⑤ピリプロキシフェン(ラノ乳剤), ⑥ホスカリト[®](カンタストライフロアブル)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ④ピリダリル 10.0%, ⑤ピリプロキシフェン 10.0%, ⑥ホスカリト[®] 50.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ④CAA010, ⑤GA333F, ⑥K1Z01。

2. 農作物名 メロン

品種名 ホームランスター改良系

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 寛、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 (堆肥土) 埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としてご提出ください)

別紙に記載。

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齡、栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)、水管理等、
 被覆資材(茶は茶の袋の番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の袋の番号・被覆時期を記載する
 露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 -

ノーネットメロン：播種：平成24年8月24日，定植：9月20日，畝幅：280cm，株間：40cm。

畝肩1条植2本仕立て，約900株/10a，施肥：平成24年8月3日 ケントップ 1500kg/10a，

苦土石灰 100kg/10a，マルチ栽培，加温栽培 その他管理は慣行に従った。

人工交配：10月12日～10月27日。

収穫期間(適期)：平成24年11月下旬～。

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージを記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としてご提出ください)

別紙に記載。

10. 試験区

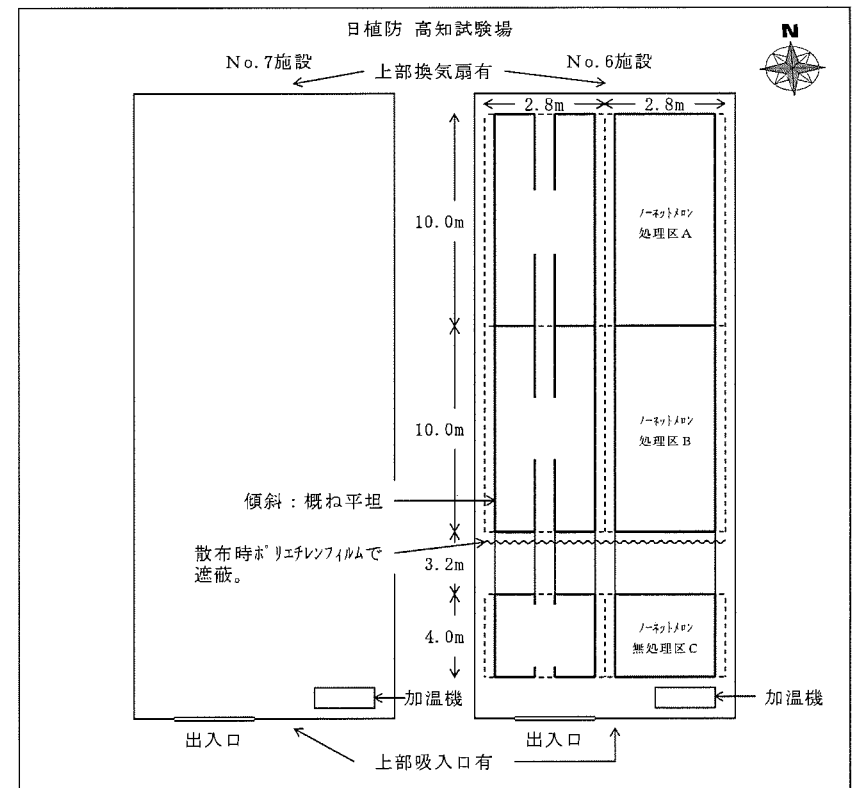
(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B : 各28.0m², 25株

無処理区C : 11.2m², 10株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積：225m²，容積：680m³，高さ：3.4m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてご提出ください)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	処理濃度	処理量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H24年11月13日	①	/	無処理			①2000倍	278L	①3.9mL/7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月20日	①, ②, ③		①2000倍, ②2000倍, ③2000倍				278L	①3.9mL, ②3.9g, ③3.9g / 7.8L/28.0㎡	成熟期	茎葉散布
11月26日	①, ②, ③		①2000倍, ②2000倍, ③2000倍				278L	①3.9mL, ②3.9g, ③3.9g / 7.8L/28.0㎡	収穫期	茎葉散布
月 日	①:クロマフェノジド(マトリックフロアブル)									
月 日	②:プロエキミド(ワラワDF)									
月 日	③:ジノテフラン(スカークル顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		処理開始時刻	処理時の天候
H24年11月13日	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコーンノズル1頭口を装着し均一に散布。	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	処理開始時刻; 16:05 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコーンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:15 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ	
11月26日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカコーンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 16:50 処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇	
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	処理濃度	処理量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H24年11月6日		⑤	無処理			⑤1000倍	281L	⑤7.9mL/7.9L/28.0m ²	成熟期	茎葉散布
11月13日		⑤, ⑥				⑤1000倍, ⑥1000倍	281L	⑤7.9mL, ⑥7.9g/7.9L/28.0m ²	成熟期	茎葉散布
11月20日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	281L	④7.9mL, ⑤7.9mL, /7.9L/28.0m ² ⑥7.9g	成熟期	茎葉散布
11月26日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	281L	④7.9mL, ⑤7.9mL, /7.9L/28.0m ² ⑥7.9g	収穫期	茎葉散布
月 日	④ヒトリタリル(フレオフロアブル)									
月 日	⑤ヒトリフロキシエン(ラノ乳剤)									
月 日	⑥ホースカト(カンタストライフロアブル)									

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の湿度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H24年11月6日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノス [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 16:25 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月13日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノス [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 16:35 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 曇後雨
11月20日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノス [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 16:50 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月26日	背負式バッテリー噴霧機(丸山製作所 MSB111-A)にキョウカクコンノス [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 15:45 処理時の天候: 曇 当日の天候: 雨後曇
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24. 11月27日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A; 10:20 ~ 10:30 B; 9:10 ~ 9:20 天候: 晴れ C; 7:40 ~ 7:50	C → B → A	A区: 6個(7.8kg) B区: 6個(8.0kg) × 1分析 C区: 6個(9.0kg)	11月27日
11月29日	A-2	B-2						採取 A; 11:40 ~ 11:50 B; 11:10 ~ 11:20 天候: 曇	B → A	A区: 6個(8.0kg) B区: 6個(8.3kg) × 1分析	11月29日
12月 3日	A-3	B-3						採取 A; 11:40 ~ 11:50 B; 11:20 ~ 11:30 天候: 晴れ	B → A	A区: 6個(7.8kg) B区: 6個(8.8kg) × 1分析	12月 3日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24. 11月27日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
11月29日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

- (1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、採取後乾燥等のための輸送方法を記載
- 処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。
- 採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車運んだ。
- (2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、脱殻・粉すり等の方法、直後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載
- ダンボール箱に包装紙を敷き、破損防止のため底にエアークッションを敷いた。果実を個別に包装紙で包んだ後、ダンボール箱に並べて入れ梱包した。
- また緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。
- 試験区ごと別々に梱包した。
- (3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所
- (4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、輸送会社等
- 到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。
- (5) 備考 -

(24-調理加工(高知)ノーネットメロンI)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：すいか

平成23年.11/11 モレスタン水和剤 4000倍, アファーム乳剤 2000倍 散布,

12/2 アファーム乳剤 2000倍 散布,

12/9 プレバリンフロアブ# 1000倍, アトマイヤーフロアブ# 4000倍 散布,

12/27 モレスタン水和剤 3000倍 散布,

12/1, 8, 19 S-2200 40SC 2000倍, トップジンM水和剤 1500倍, ビタシオDF 2000倍, スミレックス水和剤 1500倍 散布。

平成24年春作：ほうれんそう

平成24年.3/16 ランマンフロアブ# 500倍 灌注,

4/17 アトマイヤー顆粒水和剤 10000倍 散布,

4/9, 16 ニップラン水和剤 2000倍 散布。

平成24年春夏作：なす

平成24年.6/6 アファームエクトラ顆粒水和剤 1500倍, ベネアOD 4000倍, アファーム乳剤 2000倍 散布,

6/26, 7/3 ホリガリレリン脂肪酸エステル(NK-1001)乳剤 1000倍 散布,

6/26 A-253乳剤 4000倍, ベスタガード水溶剤 1000倍 散布。

平成24年秋冬作：ネットメロン

平成24年.9/2 アトマイヤー水和剤 2000倍 散布,

9/19 アファーム乳剤 2000倍, アトマイヤーフロアブ# 4000倍, グコニール1000 1000倍 散布,

9/28 プレバリンフロアブ#5 1000倍 散布,

10/12 グコニール1000 1000倍, モレスタン水和剤 3000倍, ベスタガード水溶剤 1000倍 散布。

平成24年秋冬作：ノーネットメロン

平成24年.9/8 アファーム乳剤 2000倍 散布,

9/20 アファーム乳剤 2000倍 散布,

9/28 プレバリンフロアブ#5 1000倍 散布,

10/2 アトマイヤーフロアブ# 4000倍, ベルクトフロアブ# 1000倍 散布,

10/12 グコニール1000 1000倍, モレスタン水和剤 3000倍, ベスタガード水溶剤 1000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成24年.11/9 アファーム乳剤 2000倍, ベスタガード水溶剤 1000倍, ベルクトフロアブ# 1000倍 散布。

(24-調理加工(高知)ノーネットメロンI)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	1						20.3	20.0	19.7	19.8	19.4	17.1	19.7	19.2	18.7	17.6	20.1	16.5	19.9	20.4	20.0	19.6	16.9	17.1	18.7	19.0	17.9	18.6	18.3	16.8	18.5	
	2																															
	3						○							○								○					○	△			△	
	4						B							A, B								A, E					A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2			
1	5	18.1	15.9	18.1																												
	6																															
	7			△																												
	8			A-3, B-3																												
1	9																															
	10																															
	11																															
	12																															
1	13																															
	14																															
	15																															
	16																															
1	17																															
	18																															
	19																															
	20																															
1	21																															
	22																															
	23																															
	24																															
1	25																															
	26																															
	27																															
	28																															
1	29																															
	30																															
	31																															
	2																															
2	1																															
	2																															
	3																															
	4																															

薬剤処理日(ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。
 また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号(試験区ラベルと同様の番号)を当該欄へ記入する。
 施設内気温測定には、テークガー(株式会社 ティアントデイ おんどとりTR-71U1)を使用した。

(24-調理加工(高知)ノーネットメロンI)

別紙1 試料写真

写真1. ノーネットメロン全景



写真2. ノーネットメロン1回目処理



写真3. ノーネットメロン2回目処理



写真4. ノーネットメロン3回目処理



写真5. ノーネットメロン4回目処理



写真6. ノーネットメロン5回目処理



平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年11月 ~ 24年12月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①クロマフェノシド(マトリックプロアブル), ②プロニカミド(ケラDF), ③ジノテフラン(スタークル顆粒水溶液)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①クロマフェノシド 5.0%, ②プロニカミド 10.0%, ③ジノテフラン 20.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ①17H40002, ②759586, ③09F50001。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ④ビリガリル(プレオアブル), ⑤ビリプロキフェン(ラー乳剤), ⑥ホスカリド(カンタストライアブル)。
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ④ビリガリル 10.0%, ⑤ビリプロキフェン 10.0%, ⑥ホスカリド 50.0%。
- (3) 被験物質のLot No. ④CAA010, ⑤GA333F, ⑥K1Z01。

2. 農作物名 まくわうり 品種名 金太郎

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 覚、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土(壤土) 壇壤土・壇土・軽壇土 (○を付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要

播種期・移植期・施肥の種類・量・時期・樹齢・栽植密度(畝間・株間)・株数(10a)・水管理等、
被覆資材(茶は茶れい殺番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の茶れい殺・イチゴ栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 -

まくわうり: 播種:平成24年8月27日, 定植:9月26日, 畝幅:280cm, 株間:80cm,

畝肩1条植主枝4本仕立, 約450株/10a, 施肥:平成24年8月9日 ヤシガラチップ 1400kg/10a,

苦土石灰 100kg/10a, 追肥:11月20日 くみあい液肥1号(12-5-7) 33kg/10a,

マルチ栽培, 加温栽培, その他管理は慣行に従った。人工交配:10月31日~11月16日。

収穫期間(適期):平成24年12月中旬~。

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージ
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 各31.4㎡, 14株

無処理区C: 11.2㎡, 5株

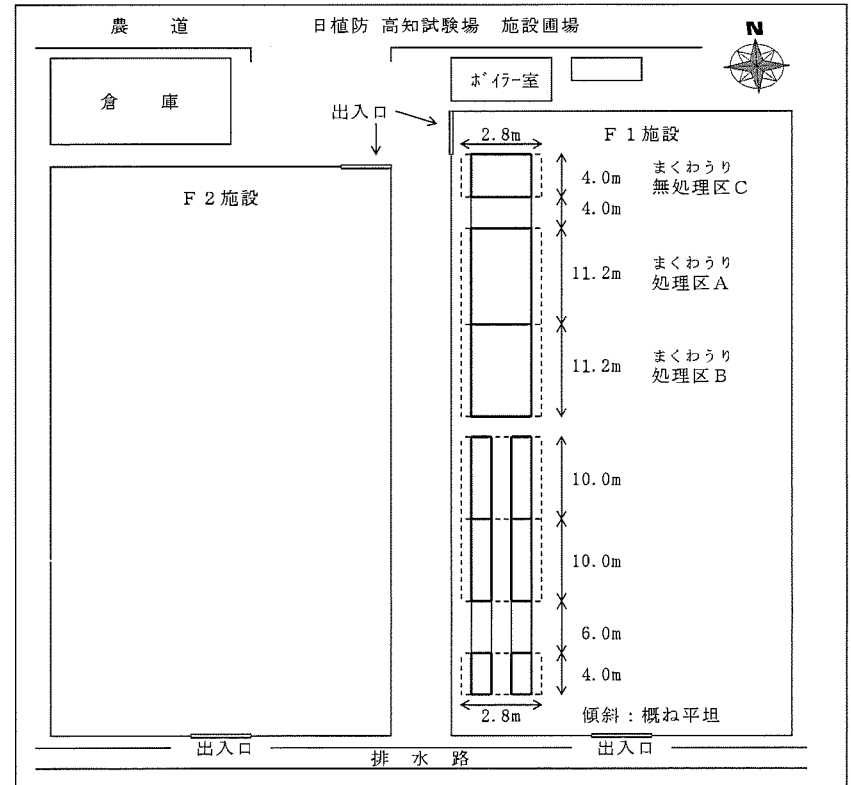
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積:986㎡, 容積:2909㎡, 高さ:3.9m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H24年11月27日	①	/	無処理			①2000倍	281L	①4.4mL/8.8L/31.4m ²	成熟期	茎葉散布
12月4日	①, ②, ③					①2000倍, ②2000倍, ③2000倍	281L	①4.4mL, ②4.4g, /8.8L/31.4m ² ③4.4g	成熟期	茎葉散布
12月10日	①, ②, ③					①2000倍, ②2000倍, ③2000倍	281L	①4.4mL, ②4.4g, /8.8L/31.4m ² ③4.4g	収穫期	茎葉散布
月 日	①:クロマフェノジド [®] (マトリックプロアブル)									
月 日	②:プロニミト [®] (ウラアDF)									
月 日	③:ジ [®] テフラン(スカール顆粒水溶剤)									
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の湿度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H24年11月27日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の湿度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
12月4日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノス [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 14:50 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月10日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノス [®] 1頭口を装着し均一に散布。		処理開始時刻; 16:20 処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

11. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処理量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H24年11月20日		⑤	無処理			⑤1000倍	278L	⑤8.7mL/8.7L/31.4m ²	果実肥大期	茎葉散布
11月27日		⑤, ⑥				⑤1000倍, ⑥1000倍	278L	⑤8.7mL, ⑥8.7g/8.7L/31.4m ²	成熟期	茎葉散布
12月4日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	278L	④8.7mL, ⑤8.7mL, /8.7L/31.4m ² ⑥8.7g	成熟期	茎葉散布
12月10日		④, ⑤, ⑥				④1000倍, ⑤1000倍, ⑥1000倍	281L	④8.8mL, ⑤8.8mL, /8.8L/31.4m ² ⑥8.8g	収穫期	茎葉散布
月 日	④ヒリカ [®] リル (フ [®] レオフロア [®] ル)									
月 日	⑤ヒリア [®] ロキシフェン (ラノ [®] 乳剤)									
月 日	⑥ホ [®] スカリト [®] (カンタス [®] ライフロア [®] ル)									

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年11月20日	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等 背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノス [®] ル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 14:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
11月27日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノス [®] ル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 13:50	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月4日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノス [®] ル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 13:45	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
12月10日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカクコンノス [®] ル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻; 15:20	処理時の天候: 晴れ 当日の天候: 晴れ
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 -

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H24.12月11日	A-1	B-1	C (無処理)					採取 A: 10:50 ~ 11:00 B: 10:10 ~ 10:20 天候: 晴れ C: 9:30 ~ 9:40	C → B → A	A区: 12個 (5.3kg) B区: 12個 (5.2kg) × 1分析 C区: 12個 (5.3kg)	12月11日
12月13日	A-2	B-2						採取 A: 11:00 ~ 11:10 B: 10:10 ~ 10:20 天候: 晴れ	B → A	A区: 12個 (5.2kg) B区: 12個 (5.1kg) × 1分析	12月13日
12月17日	A-3	B-3						採取 A: 10:30 ~ 10:40 B: 9:40 ~ 9:50 天候: 晴れ	B → A	A区: 12個 (5.4kg) B区: 12個 (5.0kg) × 1分析	12月17日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H24.12月11日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月13日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
12月17日	1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鋏を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで自動車で運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・脱すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

ダンボール箱に包装紙を敷き、試料を並べて入れた。その後上から包装紙を被せ梱包した。緩衝材として包装紙を使用した。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

(24ー調理加工 (高知) ノーネットメロンⅡ)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

平成23年秋冬作：なす

平成23年.11/21 カートホブ液剤 4000倍 灌注,

11/25 アファム乳剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 2000倍 散布,

11/14, 21, 28 NF-171フロアブル5 1000倍 散布,

12/9 ヘルクトフロアブル 2000倍, アファム乳剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

12/27 ヘルクトフロアブル 2000倍, アファム乳剤 1000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

平成24年.1/12 アファム乳剤 1000倍, ベストガード水溶剤 2000倍 散布,

1/10, 17, 24 ME5343顆粒水和剤 2000倍 散布,

3/1 アファム乳剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 2000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍 散布,

3/8 アトマイヤーフロアブル 4000倍, フレオフロアブル 1000倍 散布,

3/16 ホルスタール乳剤 1500倍, カンタストライフロアブル 1000倍 散布,

2/27, 3/5, 12, 19, 26 タニコール1000フロアブル 1000倍 散布,

2/27, 3/5, 12, 19, 26 カグンVIIエアゾル 原液噴射,

4/24 アトマイヤーフロアブル 4000倍, アファム乳剤 1000倍 散布。

平成24年秋冬作：ネットメロン

平成24年.8/24 D-D 20L/10a,

10/2 アトマイヤーフロアブル 4000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布,

10/11 アファム乳剤 1000倍 散布,

10/19 トリフィン水和剤 3000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布,

10/29 カートホブ液剤 4000倍 灌注,

11/9 ベストガード水溶剤 1000倍, アファム乳剤 2000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布,

11/16 カートホブ液剤 4000倍 灌注。

平成24年秋冬作：まくわうり

平成24年.8/24 D-D 20L/10a,

塩基性塩化銅, 食酢 購入種子に処理済,

9/8 アファム乳剤 2000倍 散布,

9/24 アファム乳剤 2000倍, アトマイヤーフロアブル 4000倍 散布,

10/2 アトマイヤーフロアブル 4000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布,

10/11 アファム乳剤 1000倍 散布,

10/19 トリフィン水和剤 3000倍, ベストガード水溶剤 1000倍 散布,

10/29 カートホブ液剤 4000倍 灌注,

11/9 ベストガード水溶剤 1000倍, アファム乳剤 2000倍, モレスタン水和剤 4000倍 散布。

9. 被験物質以外に使用した農薬

平成24年.11/30 ベストガード水溶剤 2000倍, アファム乳剤 1000倍, ヘルクトフロアブル 1000倍 散布。

(24-調理加工(高知)ノーネットメロンⅡ)

気象表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 _____ 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(24年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	気温(施設内温度)																				21.4	21.9	18.9	19.0	20.6	21.6	19.5	19.8	21.0	18.7	20.3	
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																					○							○			
	区記号(試料番号)																					B							A, B			
1	気温(施設内温度)	19.7	17.7	20.9	19.7	18.7	19.0	19.8	18.8	19.1	19.5	20.4	20.3	18.5	21.2	21.5	21.0	18.8														
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取				○						○	△		△				△														
	区記号(試料番号)				A, B						A, B	A-1, B-1, C	A-2, B-2					A-3, B-3														
	気温(施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															
	気温(施設内温度)																															
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号(試料番号)																															

薬剤処理日(ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号(試験区ラベルと同様の番号)を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、データロガー(株式会社 ティント`デイ おんどとりTR-71Ui)を使用した。

(24-調理加工(高知)ノーネットメロンⅡ)

別紙1 試料写真

写真1. まくわうり全景



写真4. まくわうり4回目処理



写真2. まくわうり1回目処理



写真5. まくわうり5回目処理



写真3. まくわうり2回目処理



平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年 12月 ~ 25年 1月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①クロマフェニト[®] (マトリック)フロアブル, ②アロニカミト[®] (ウレラ) DF,
③ジ[®]ノテフラン (スタークル) 顆粒水溶剤, ④ビ[®]リタ[®]リル (フレオ)フロアブル,
⑤ビ[®]リブ[®]ロキシフェン (ラノー) 乳剤, ⑥ホ[®]スカリト[®] (カンタス) ドライフロアブル

- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①クロマフェニト[®] 5.0%, ②アロニカミト[®] 10.0%, ③ジ[®]ノテフラン 20.0%,
④ビ[®]リタ[®]リル 10.0%, ⑤ビ[®]リブ[®]ロキシフェン 10.0%, ⑥ホ[®]スカリト[®] 50.0%

- (3) 被験物質の Lot No. ①17H40002, ②759586, ③09F50001, ④CAA10, ⑤GA333F, ⑥K1Z01

2. 農作物名 メロン (ノーネット) 品種名 ホームランスター改良系

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿 日高 正浩 福元 義人 和田倉 誠也 佐藤 典敬

5. 土性 砂壤土 減水深 _____ cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要

播種期・移植期・施肥の種類・量・時期・樹齡・栽植密度 (畝間・株間)・株数 (/10a)、水管理等、
被覆資材 (茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載する

<施設> 無袋

播種: 平成24年9月21日 定植: 平成24年10月16日 畝間: 2.50m 株間: 0.45m 1条植

主枝2本仕立て 地這栽培 栽植本数 (10aあたり): 900株 白ポリマルチ 圃場は概ね平坦

施肥 (10aあたり): <元肥> 12/10/03 堆肥 3000kg 苦土石灰 140kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12) 50kg

有機配合888号(8-8-8) 75kg 12/10/15 硝安 定植前日, 2g/植穴施与

<追肥> 無し

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージ
を記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

12/12/20 スミレックスくん煙顆粒 50g/450m²

12/12/26 スミレックスくん煙顆粒 50g/450m²

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A: 24.8m² (22株) 処理区B: 24.8m² (22株)
無処理区C: 6.8m² (6株)

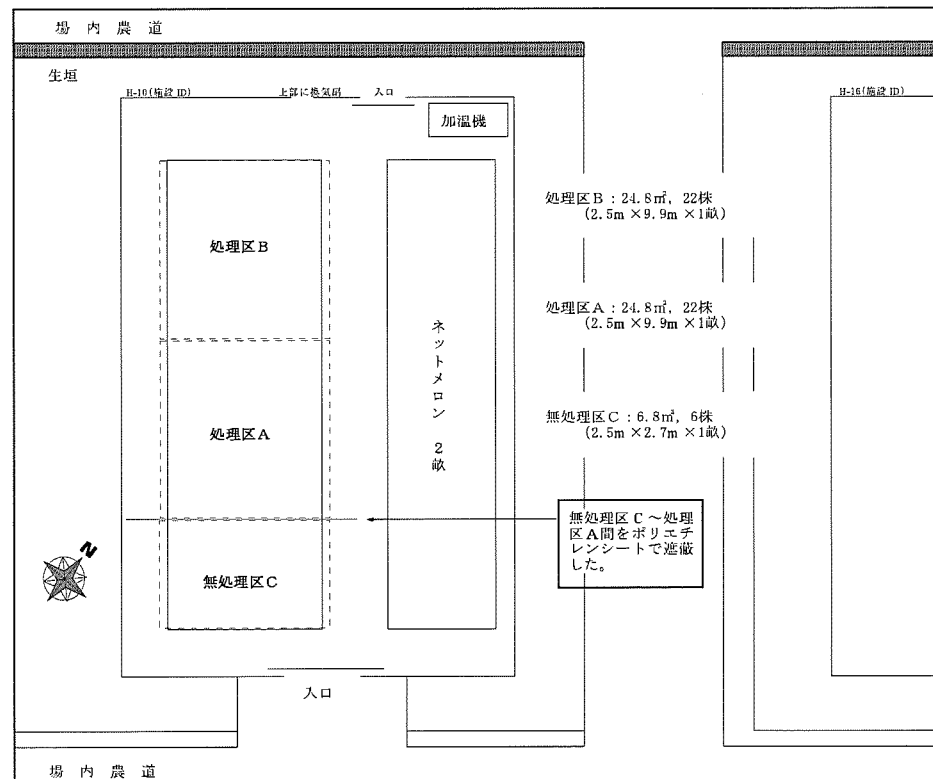
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150m² (6.0m×25.0m), 450m³, 最高3.7m

- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

処理月日	区分	A区	B区	C区			処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
								10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
12月 12日			⑤	無処理			1000倍	242ℓ	⑤7.0ml/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
12月 19日		①					2000倍	242ℓ	①3.5ml/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
			⑤⑥				1000倍(混用)	242ℓ	⑤7.0ml,⑥7.00g/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
12月 26日		①②③					2000倍(混用)	242ℓ	①3.5ml,②3.50g,③3.50g/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
			④⑤⑥		①クロマフェノジド(マトリック)フロアブル 2000倍		1000倍(混用)	242ℓ	④7.0ml,⑤7.0ml,⑥7.00g/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
1月 1日		①②③			②プロニカミド(ウララ)DF 2000倍		2000倍(混用)	242ℓ	①3.5ml,②3.50g,③3.50g/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	果実肥大期	茎葉散布
			④⑤⑥		③ジノテフラン(スタークル)顆粒水溶剤 2000倍		1000倍(混用)	242ℓ	④7.0ml,⑤7.0ml,⑥7.00g/7.0%調製液を作製 24.8㎡に6.0%を散布した	収穫期	茎葉散布
					④ビリタリル(プレオ)フロアブル 1000倍						
					⑤ビリアロキシフェン(ラー)乳剤 1000倍						
					⑥ホスカリト(カンタス)ドライフロアブル 1000倍						

処理月日	区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
				特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
12月 12日		丸山製 バッテリー噴霧機	MSB151-A+狭角コーンノズル	茎葉散布 処理時刻 AM10:05~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
12月 19日		丸山製 バッテリー噴霧機	MSB151-A+狭角コーンノズル	茎葉散布 処理時刻 B区PM1:49~, A区PM2:09~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
12月 26日		丸山製 バッテリー噴霧機	MSB151-A+狭角コーンノズル	茎葉散布 処理時刻 B区PM2:51~, A区PM3:22~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ
1月 1日		丸山製 バッテリー噴霧機	MSB151-A+狭角コーンノズル	茎葉散布 処理時刻 A区PM2:43~, B区PM3:20~ 天候:晴れ 無風 処理後の天気は晴れ

(1) 展着剤 — 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

.....

.....

.....

.....

.....

気象表

観測地点および試料調製場所 観測地点：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設 (H-10)

記号 ○：薬剤処理日

気温：平均気温 (1 時間毎)

降水量：日界 ー 時

△：試料採取日

(24 - 25年)

測定時刻 ー 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12	気温 (施設内温度)											22.2	22.2	21.6	22.3	21.5	21.8	22.8	21.7	22.2	22.0	21.2	21.6	22.8	21.5	21.6	21.7	22.0	21.6	23.1	21.4	22.1
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取												○								○							○				
	区記号 (試料番号)												B								A, B						A, B					
1	気温 (施設内温度)	22.9	22.6	23.0	21.1	21.4	21.3	22.7	21.3	21.6	21.8	20.4	21.8	20.1	20.8	21.2	22.3	21.8	20.3													
	降水量																															
	薬剤処理/試料採取	○	△		△					△																						
	区記号 (試料番号)	A, B	C, A-1, B-1	A-2, B-2						A-3, B-3																						

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。
また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

(24 - 調理加工 (宮崎) ノーネットメロン)

試験場名 (社)日植防宮崎試験場

別紙. 過去 1 年間に作付けした作物及び使用した農薬

作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
ノーネットメロン	ハッサ乳剤	11	12	15	1500倍
	アグロリン乳剤	11	12	15	1000倍
	スミレックス水和剤	11	12	22	1000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	11	12	22	10000倍
	ハッサ乳剤	11	12	22	1500倍
	アグロリン乳剤	11	12	22	1000倍
	ランマンフロアブル	11	12	22	1000倍
	スミレックス水和剤	11	12	22	1000倍
	モスビラン水溶剤	11	12	22	2000倍
	ランマンフロアブル	11	12	22	1000倍
	モレスタン水和剤	11	12	22	3000倍
	ダントツ水溶剤	11	12	29	2000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	11	12	29	10000倍
	ハッサ乳剤	11	12	29	1500倍
	アグロリン乳剤	11	12	29	1000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	2	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	4	2000倍
	ハッサ乳剤	12	1	4	1500倍
アグロリン乳剤	12	1	4	1000倍	
ネットメロン	アグロリン乳剤	11	12	20	1000倍
	モレスタン水和剤	11	12	22	3000倍
	モスビラン水溶剤	11	12	22	2000倍
	ダントツ水溶剤	11	12	22	2000倍
	ハッサ乳剤	11	12	27	1500倍
	アグロリン乳剤	11	12	27	1000倍
	ハッサ乳剤	12	1	3	1500倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	3	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	3	2000倍
	アグロリン乳剤	12	1	3	1000倍
	アグロリン乳剤	12	1	10	1000倍
	ハッサ乳剤	12	1	10	1500倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	10	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	10	2000倍
	アトマイヤー顆粒水和剤	12	1	14	10000倍
	ダントツ水溶剤	12	1	16	2000倍
	アグロリン乳剤	12	1	16	1000倍
	ハッサ乳剤	12	1	16	1500倍

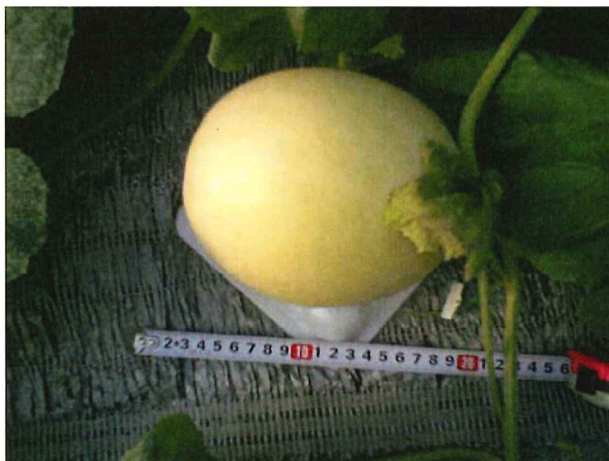
作物	農薬名 (商品名または有効成分)	年	月	日	濃度又は処理量/処理方法
ほうれんそう	ネマキック粒剤	12	3	12	20kg/10a, 播種前, 全面処理土壌混和
	フロムキン(ANM-138)フロアブル	12	4	9	2000倍
	フロムキン(ANM-138)フロアブル	12	4	16	2000倍
メロン (現作・育苗期)	塩基性塩化銅	12	9	21	種苗会社による種子浸漬処理
	ダコニール1000	12	9	21	1000倍
	サンマイトフロアブル	12	10	15	1000倍
	ダコニール1000	12	10	15	1000倍
	ジマンタイオン水和剤	12	10	15	500倍
メロン (現作・定植後)	アファーム乳剤	12	11	2	2000倍
	ダコニール1000	12	11	2	1000倍
	ジマンタイオン水和剤	12	11	2	500倍
	アトマイヤー水和剤	12	11	13	2000倍
	ダコニール1000	12	11	13	1000倍
	モレスタン水和剤	12	11	13	2000倍
	ジマンタイオン水和剤	12	11	13	500倍
	モスビランシエット	12	11	23	50g/450 m ³
	モレスタン水和剤	12	11	28	2000倍
	コルト顆粒水和剤	12	11	28	3000倍
	ジマンタイオン水和剤	12	11	28	500倍
	ダコニール1000	12	11	28	1000倍
	ダコニール1000	12	12	7	1000倍
	アファーム乳剤	12	12	7	2000倍
	モレスタン水和剤	12	12	7	2000倍
ジマンタイオン水和剤	12	12	7	500倍	

処理時の果実の写真

処理区B:1回目散布時(2012/12/12)



処理区A:1回目散布時(2012/12/19)



処理区B:2回目散布時(2012/12/19)



処理区A:2回目散布時(2012/12/26)



処理区B:3回目散布時(2012/12/26)



(24 - 調理加工 (宮崎) ノネットメロン)

処理時の果実の写真

処理区A: 3回目散布時(2013/01/01)

処理区B: 4回目散布時(2013/01/01)



平成24年度

農薬登録に係る調理加工試験導入に関する調査事業

試料調製明細書

キウイフルーツ	日本植物防疫協会茨城研究所
	日本植物防疫協会山梨試験場
	日本植物防疫協会高知試験場

平成24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 24年10月 ~ 24年11月)

1. 被験物質

一般名(商品名)剤型・有効成分名・成分含有率及び被験物質の Lot No.

- ① クロルフェナピル(コテツ)フロアブル・クロルフェナピル:10% Lot No. I0M01
- ② イプロジオン(ロブラール)水和剤・イプロジオン:50% Lot No. PD12C00005
- ③ ジェトフェンカルブ(スミブレンド)水和剤・ジェトフェンカルブ:12.5% Lot No. HI106
- ④ イミダクロプリド(アドマイヤー)フロアブル・イミダクロプリド:20% Lot No. T1C01
- ⑤ ペルメトリン(アディオオン)乳剤・ペルメトリン:20% Lot No. OY04N
- ⑥ フルアジナム(フロンサイド)水和剤・フルアジナム:50% Lot No. 778881
- ⑦ ベノミル(ベンレート)水和剤・ベノミル:50% Lot No. IC549F
- ⑧ アセタミプリド(モスピラン)水溶剤・アセタミプリド:20% Lot No. A2B07

2. 農作物名 キウイフルーツ 品種名 ヘイワード

3. 試験実施機関名 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所

4. 試験責任者氏名 森田 久孝、小川 和己、宮川 直也、後藤 直人、柑本 俊樹、小林 照二

5. 土性 砂土・砂壌土・**壤土**・塩壌土・埴土 (○を付す) 減水深 cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

平成23年5月7日:アグリマイシ100 1000倍, デイブテレックス乳剤 1000倍, 6月23日:フルメット液剤 果実浸漬, 28日:

グコニール1000 1000倍, スプラザイト水和剤 1500倍, 7月26日:ペルメット水和剤 1000倍, スプラザイト水和剤

1500倍散布, 11月8日:ロブラール水和剤 1000倍,

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被験資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被験時期、茶の寒れい紗・リン栽培の被験時期を記載する。

露地・施設の別 露地 有袋・無袋の別 無袋

樹齢:20年生, 施肥:平成23年12月20日 エコバク8883(8-8-8-3(苦土)-0.5(ネツ)) 140kg/10a,

剪定:平成24年1月, 交配:5月29日

収穫期間(適期):11月10日前後(園主の慣行の収穫時期)

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入して下さい。

開花期:5月下旬

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

平成24年5月12日:アグリバト水和剤 1000倍, デイブテレックス乳剤 1000倍, 6月15日:グコニール1000 1000倍

デイブテレックス乳剤 1000倍, 6月20日:フルメット液剤 果実浸漬, 7月10日:グコニール1000 1000倍,

10. 試験区

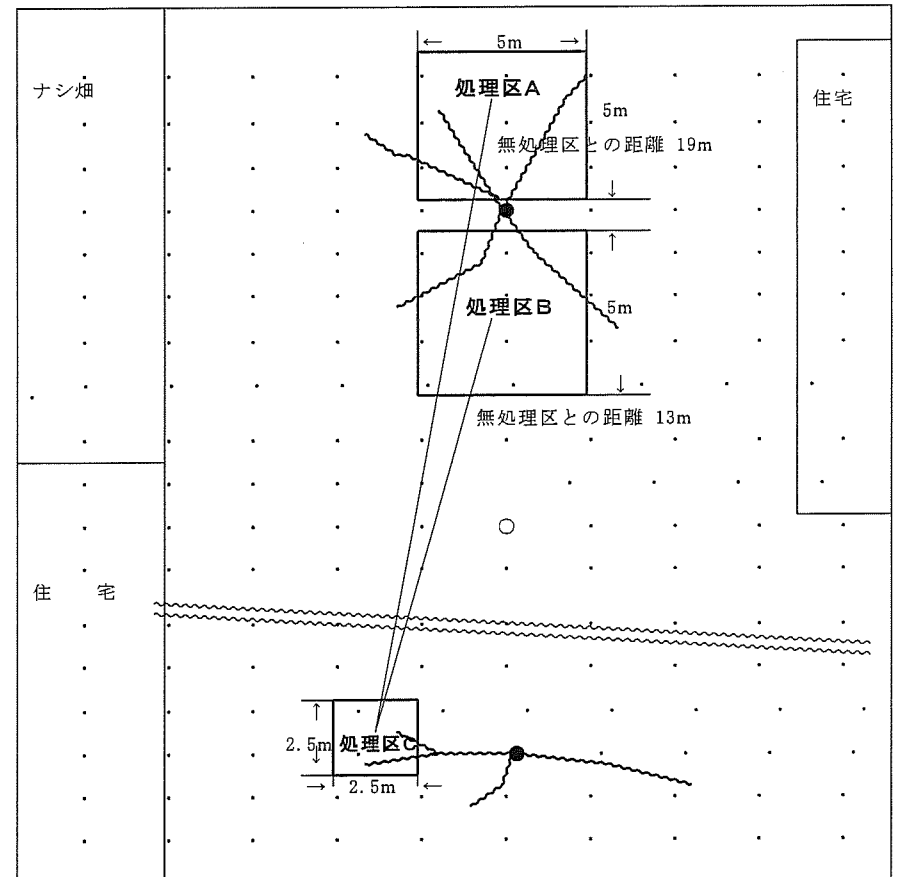
(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B:25m²(5×5m), 無処理区C:6.3m²(2.5×2.5m)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 棚高さ:1.5~1.2m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)
ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A区				B区				C区	処理濃度	処理量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無処理		10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
9月30日					○		○			下記(1)のとおり:⑤⑦	380L/10a(薬液が滴り落ちる程度)	下記(2)のとおり:⑤⑦	果実充実期	茎葉散布
10月8日					○	○	○			下記(1)のとおり:⑤⑥⑦	380L/10a(薬液が滴り落ちる程度)	下記(2)のとおり:⑤⑥⑦	果実充実期	茎葉散布
10月15日		○	○		○		○	○		下記(1)のとおり:②③⑤⑦⑧	380L/10a(薬液が滴り落ちる程度)	下記(2)のとおり:②③⑤⑦⑧	果実充実期	茎葉散布
10月22日		○	○		○		○	○		下記(1)のとおり:②③⑤⑦⑧	380L/10a(薬液が滴り落ちる程度)	下記(2)のとおり:②③⑤⑦⑧	果実充実期	茎葉散布
10月29日	○	○	○	○	○		○	○		下記(1)のとおり:①②③④⑤⑦⑧	380L/10a(薬液が滴り落ちる程度)	下記(2)のとおり:①②③④⑤⑦⑧	果実充実期	茎葉散布
11月4日	○	○	○	○						下記(1)のとおり:①②③④	380L/10a(薬液が滴り落ちる程度)	下記(2)のとおり:①②③④	果実充実期	茎葉散布
月 日														
月 日														
月 日														

(1) 処理濃度: ①2000倍, ②1000倍, ③2000倍, ④2000倍, ⑤2000倍, ⑥1000倍, ⑦2000倍, ⑧2000倍
 (2) 試験区当(農薬量/散布量/面積): ①, ②, ④, ⑤, ⑦, ⑧: 4.8g/9.5L/25m², ③, ⑥: 9.5g/9.5L/25m²,

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深さ・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
9月30日	試験区を4区画に分け、(株)丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111・付属2頭ノズル)を用いて時間計測で茎葉(果実を含む)に散布した。		B区: 8時40分より散布。散布時の天気:曇り一時晴れ。無風。
10月8日	試験区を4区画に分け、(株)丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111・付属2頭ノズル)を用いて時間計測で茎葉(果実を含む)に散布した。		B区: 9時50分より散布。散布時の天気:晴れ。微風。
10月15日	試験区を4区画に分け、(株)丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111・付属2頭ノズル)を用いて時間計測で茎葉(果実を含む)に散布した。		A区: 11時より散布。散布時の天気:晴れ。微風。 B区: 10時30分より散布。散布時の天気:晴れ。微風。
10月22日	試験区を4区画に分け、(株)丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111・付属2頭ノズル)を用いて時間計測で茎葉(果実を含む)に散布した。		A区: 10時25分より散布。散布時の天気:晴れ。微風。 B区: 10時より散布。散布時の天気:晴れ。微風。
10月29日	試験区を4区画に分け、(株)丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111・付属2頭ノズル)を用いて時間計測で茎葉(果実を含む)に散布した。		A区: 14時40分より散布。散布時の天気:晴れ。微風。 B区: 14時より散布。散布時の天気:晴れ。微風。
11月4日	試験区を4区画に分け、(株)丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111・付属2頭ノズル)を用いて時間計測で茎葉(果実を含む)に散布した。		A区: 11時40分より散布。散布時の天気:晴れ。無風。
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用した区番号 なし 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

1.2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順(区番号順)	試料送付量	試料送付月日
11月 5日	A-1	B-1	C					C; 9:30~9:45・曇り B-1; 10:00~10:15・曇り A-1; 10:25~10:30・曇り	C→B-1→A-1	C; 30個・4.5kg B-1; 30個・4.2kg A-1; 30個・4.5kg	10月 5日
11月 7日	A-2							A-2; 8:30~8:40・晴れ	-	A-2; 30個・4.3kg	11月 7日
11月 11日	A-3							A-3; 10:20~10:35・晴れ	-	A-3; 30個・4.5kg	11月 11日
11月 12日		B-2						B-2; 9:15~9:25・曇り(雨の合間)	-	B-2; 30個・5.0kg	11月 12日
11月 19日		B-3						B-3; 9:10~9:25・曇り	-	B-3; 30個・4.4kg	11月 19日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその理由を記載する)
11月 5日	1. 試料の大きさは <input checked="" type="checkbox"/> やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/>) 3. その他 () 4. 原因
11月 7日	1. 試料の大きさは <input checked="" type="checkbox"/> やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/>) 3. その他 () 4. 原因
11月 11日	1. 試料の大きさは <input checked="" type="checkbox"/> やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/>) 3. その他 () 4. 原因
11月 12日	1. 試料の大きさは <input checked="" type="checkbox"/> やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/>) 3. その他 () 4. 原因
11月 19日	1. 試料の大きさは <input checked="" type="checkbox"/> やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は (やや早い <input type="checkbox"/> やや遅熟 <input type="checkbox"/>) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後処理等のための輸送方法を記載

偏りがないように、薬剤散布時に4区画に分けた1区画より、試験区の境界部をはずし8個ずつ合計32個を採取した。(130~150)

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・積り等の方法、再後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

車の荷台にポリシートを敷き作業を行った、新しい段ボール箱に包装紙を敷き、採取した果実で大きさのできるだけ揃った果実30個を選び入れた。緩衝材として包装紙を使用した。

(3) 試料送付先 一般財団法人 残留農薬研究所 化学部

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便を使用し、翌日午前中着で送付した。

(5) 備考 試験期間中の果実の肥大(周囲) (単位 cm) 9/30 10/8 10/15 10/22 10/29 11/4 11/12 11/19
処理区B 同B 同A、B 同A、B 同A、B 同A 同B 同B (平均値 単位 cm)

b

a 20.7 21.0 20.6 20.7 20.4 20.7 20.7 20.4

b

b 22.7 22.9 22.9 23.0 22.6 21.8 22.7 22.0



写真1. 試験区全景



写真2. 処理区A



写真3. 処理区B



写真4. 無処理区C



写真5. 薬液調製作業



写真6. 薬剤散布状況



写真7. A区処理1回目



写真8. A区処理2回目



写真9. A区処理3回目



写真10. A区処理4回目



写真11. B区処理1回目



写真12. B区処理2回目



写真13. B区処理3回目



写真14. B区処理4回目



写真15. B区処理5回目



写真16. 試料採取状況1



写真17. 試料採取状況2

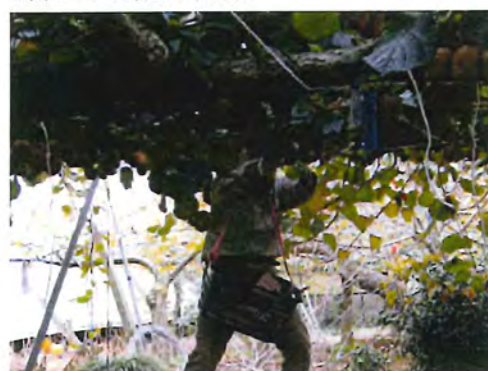


写真18. 採取試料の1例



写真19. A区1回目採取時



写真20. B区1回目採取時



写真21. C区採取時



日	降水量(mm)			気温(°C)			風向・風速(m/s)						日照 時間 (h)	雪(cm)	
	合計	最大		平均	最高	最低	平均 風速	最大風速		最大瞬間		最多 風向		降雪 合計	最深積雪 値
		1時間	10分間					風速	風向	風速	風向				
1	0.0	0.0	0.0	26.2	31.9	22.1	2.7	8.9	南	16.5	南	南西	9.5	///	///
2	0.0	0.0	0.0	22.1	27.2	20.0	1.7	3.0	北北東	7.2	北北東	北	1.5	///	///
3	0.5	0.5	0.5	20.6	22.8	18.0	2.4	4.5	北北東	10.6	北東	北	0.0	///	///
4	0.0	0.0	0.0	22.4	27.5	18.5	3.0	6.7	北北東	15.8	北	北北西	7.4	///	///
5	0.0	0.0	0.0	22.8	27.9	18.7	1.2	3.1	北東	5.3	南南東	南	8.9	///	///
6	3.5	3.0	1.5	22.5	27.4	18.5	1.3	4.1	南南東	6.6	北	北北西	1.9	///	///
7	14.5	3.0	1.0	17.8	22.0	15.1	0.9	3.7	北東	6.3	北東	北	2.1	///	///
8	0.0	0.0	0.0	17.7	23.4	12.1	1.6	4.4	北北東	8.1	北東	北	9.3	///	///
9	0.0	0.0	0.0	17.7	23.9	13.8	1.7	3.4	北北東	6.8	東南東	北	6.7	///	///
10	0.0	0.0	0.0	17.7	22.7	12.9	1.6	4.3	北東	6.4	北北西	北	3.4	///	///
11	9.5	9.5	8.5	19.9	26.1	15.2	1.7	5.3	北東	8.2	南南東	北北西	6.5	///	///
12	4.5	11.5	1.0	17.9	23.9	13.2	1.2	2.4	北東	6.3	北東	北東	8.1	///	///
13	0.0	0.0	0.0	16.8	23.5	8.9	1.0	2.9	東北東	4.8	東北東	北北東	9.0	///	///
14	0.0	0.0	0.0	16.5	22.4	10.4	1.2	3.4	南南東	5.9	南南東	北	4.4	///	///
15	0.0	0.0	0.0	18.8	25.9	12.8	1.3	4.8	北北東	9.3	北東	北北西	10.1	///	///
16	0.0	0.0	0.0	15.9	23.0	10.9	1.3	4.6	南南東	7.2	南南東	北北東	10.2	///	///
17	7.0	4.5	2.0	15.3	22.5	9.0	1.0	3.9	南南東	5.6	南南東	北北西	2.7	///	///
18	15.5	4.0	3.0	16.3	18.9	12.4	1.2	3.7	北北東	7.1	北東	東北東	0.0	///	///
19	10.0	6.5	2.0	14.1	20.2	9.4	1.3	4.7	北東	7.4	北北東	北北東	7.9	///	///
20	0.0	0.0	0.0	14.4	21.1	6.6	1.3	3.7	南	7.0	南南西	北	8.7	///	///
21	0.0	0.0	0.0	16.7	26.8	9.3	1.1	4.9	西南西	8.7	西南西	北	10.0	///	///
22	0.0	0.0	0.0	16.5	23.2	11.2	1.2	3.5	南	6.0	南南東	北	7.0	///	///
23	9.0	3.5	1.5	15.9	19.4	11.2	1.0	3.1	北北東	7.8	北東	北	0.0	///	///
24	0.0	0.0	0.0	13.4	19.9	6.4	1.5	6.0	西南西	12.6	西南西	北北西	9.9	///	///
25	0.0	0.0	0.0	13.6	19.6	10.1	1.1	3.1	南南東	5.6	南	北北西	5.2	///	///
26	0.0	0.0	0.0	15.8	23.3	8.3	1.2	2.6	南東	6.2	東	北	8.1	///	///
27	0.0	0.0	0.0	15.7	20.7	12.3	1.9	4.1	北北東	8.2	東	北北西	4.2	///	///
28	17.0	3.5	1.0	14.0	15.3	11.9	1.0	2.6	北東	3.8	北東	北	0.0	///	///
29	0.0	1.0	0.0	15.3	23.4	8.2	1.1	4.4	北東	7.2	北東	北	5.5	///	///
30	0.0	0.0	0.0	11.3	17.6	6.0	0.8	2.1	南南東	3.9	南南西	北北西	6.1	///	///
31	0.5	0.5	0.5	10.7	17.3	6.2	1.1	3.1	北東	4.8	北北東	北	1.1	///	///

データに付加している記号の意味

13/1/11 小林照二

日	降水量(mm)			気温(°C)			風向・風速(m/s)						日照 時間 (h)	雪(cm)	
	合計	最大		平均	最高	最低	平均 風速	最大風速		最大瞬間		最多 風向		降雪 合計	最深積雪 値
		1時間	10分間					風速	風向	風速	風向				
1	0.0	0.0	0.0	12.3	18.0	6.5	1.4	5.3	西南西	9.2	西	北	7.9	///	///
2	0.0	0.0	0.0	11.7	16.8	5.5	2.8	6.9	西南西	14.5	北西	西北西	9.7	///	///
3	0.0	0.0	0.0	9.5	18.1	2.9	0.9	2.4	北東	4.8	北東	北	9.8	///	///
4	0.0	0.0	0.0	9.8	17.6	2.3	1.1	3.0	南南東	5.4	南南東	北北東	9.6	///	///
5	0.0	0.0	0.0	11.4	15.5	6.2	1.1	1.8	北北東	4.2	北	北北西	0.0	///	///
6	33.5	14.5	4.5	14.2	16.1	12.3	1.1	3.3	北北東	4.8	北北東	北	0.0	///	///
7	0.5	0.5	0.5	13.9	21.1	7.8	1.2	5.0	西南西	8.7	西南西	北北西	6.8	///	///
8	0.0	0.0	0.0	12.9	21.4	4.4	1.6	5.5	西南西	10.7	西南西	南西	9.5	///	///
9	0.0	0.0	0.0	11.9	20.2	6.2	1.1	2.4	南南東	4.6	南南東	北北西	8.8	///	///
10	0.0	0.0	0.0	11.3	19.6	3.4	1.0	3.5	北東	5.5	北北東	北東	8.8	///	///
11	17.5	4.0	1.0	11.7	15.1	7.5	1.1	2.4	北北東	4.6	北東	北北西	1.0	///	///
12	3.0	2.5	1.0	14.7	20.2	10.0	1.3	2.9	北北東	4.9	東北東	北北西	3.0	///	///
13	0.0	0.0	0.0	11.8	17.4	7.4	1.2	2.9	西南西	4.3	西南西	西南西	4.0	///	///
14	0.0	0.0	0.0	10.8	17.1	4.2	2.2	6.5	南西	10.4	西南西	西南西	9.2	///	///
15	0.0	0.0	0.0	7.1	14.6	0.7	1.0	4.8	西南西	10.0	西	北	6.7	///	///
16	0.0	0.0	0.0	8.0	16.3	0.4	1.1	2.3	南南東	5.0	南東	北	9.4	///	///
17	19.5	10.5	2.5	7.7	10.8	3.8	1.2	3.2	西南西	4.7	西北西	北	0.0	///	///
18	0.0	0.0	0.0	9.5	16.9	2.1	2.2	6.1	西南西	12.0	北西	西	9.4	///	///
19	0.0	0.0	0.0	5.9	8.3	1.3	1.1	2.4	北北東	4.7	北北東	北北西	0.0	///	///
20	0.0	0.0	0.0	8.0	17.6	0.2	1.4	6.0	西南西	12.3	西	北西	9.2	///	///
21	0.0	0.0	0.0	7.9	13.5	2.8	1.4	5.3	西南西	8.1	南西	北北東	9.3	///	///
22	0.0	0.0	0.0	8.7	15.7	5.0	1.0	1.8	北東	3.8	東北東	北北西	5.9	///	///
23	0.0	0.0	0.0	7.2	10.8	3.5	0.8	2.1	北北東	3.1	南南西	北	0.0	///	///
24	0.0	0.0	0.0	8.0	12.6	2.3	0.9	2.9	南南東	4.9	南南東	南東	6.2	///	///
25	0.0	0.0	0.0	5.5	11.5	-0.4	1.1	3.0	南南東	5.5	南	北北東	8.4	///	///
26	1.5	0.5	0.5	6.0	7.3	4.2	0.8	2.4	西南西	4.0	南西	北北東	0.0	///	///
27	0.0	0.0	0.0	7.9	13.7	-0.1	2.7	7.4	西南西	13.2	西南西	西南西	9.2	///	///
28	0.0	0.0	0.0	3.5	7.1	-1.3	0.9	1.7	北北東	4.4	北	北北西	0.1	///	///
29	0.0	0.0	0.0	6.4	13.0	-1.5	0.9	2.0	北北東	3.6	北北東	北	5.3	///	///
30	0.0	0.0	0.0	8.2	9.8	5.8	1.2	3.0	北北東	5.3	北	北北西	0.0	///	///

データに付加している記号の意味

13/1/11 小林照二

平成 24年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間2012年9月~11月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型
- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ①イプロジオン(ロブラール)水和剤 | ⑤シベルメトリン(アグロスリン)乳剤 |
| ②プロシドン・ジエトフェンカルブ(スミブレンド)水和剤 | ⑥ベノミル(ベンレート)水和剤 |
| ③クオルフェナピル(コテツ)フロアブル | ⑦フルアジナム(フロンサイド)水和剤 |
| ④イミダクロプリド(アドマイヤー)フロアブル | ⑧アセタミプリド(モスピラン)水溶剤 |

- (2) 有効成分名及び成分含有率
- | | |
|-------------------------------|---------------|
| ①イプロジオン・50% | ⑤シベルメトリン・6.0% |
| ②プロシドン・37.5%, ジエトフェンカルブ・12.5% | ⑥ベノミル・50% |
| ③クオルフェナピル・10% | ⑦フルアジナム・50% |
| ④イミダクロプリド・20% | ⑧アセタミプリド・20% |

- (3) 被験物質のLot No.
- | | |
|--------------|----------|
| ① PD12C00005 | ⑤ OY04N |
| ② HI106 | ⑥ IC549F |
| ③ IOM01 | ⑦ 778881 |
| ④ TIC01 | ⑧ A2B07 |

2. 農作物名 キウイフルーツ 品種名 ヘイワード

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 山梨試験場

試験圃場所在地 山梨県甲州市塩山牛久保 日植防借り上げ圃場

4. 試験責任者氏名 田代定良、中西秀明、丸山直哉

5. 土性 砂土・砂壌土・壤土・埴壌土・埴土 (○を付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬(別紙としても構いません)

なし

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は茶れい砂着受)、いちご・おとう等の被覆時期、茶の茶れい砂・トンネル栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 露地 有袋・無袋の別 無袋

樹齢:25年,栽植密度:約14樹/10a(9×8m), 棚仕立て, 樹高:約1.7m,

施肥:24年2月;配合肥料(14-14-14)10kg/樹,

収穫期間(適期): 10月26日~11月10日

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

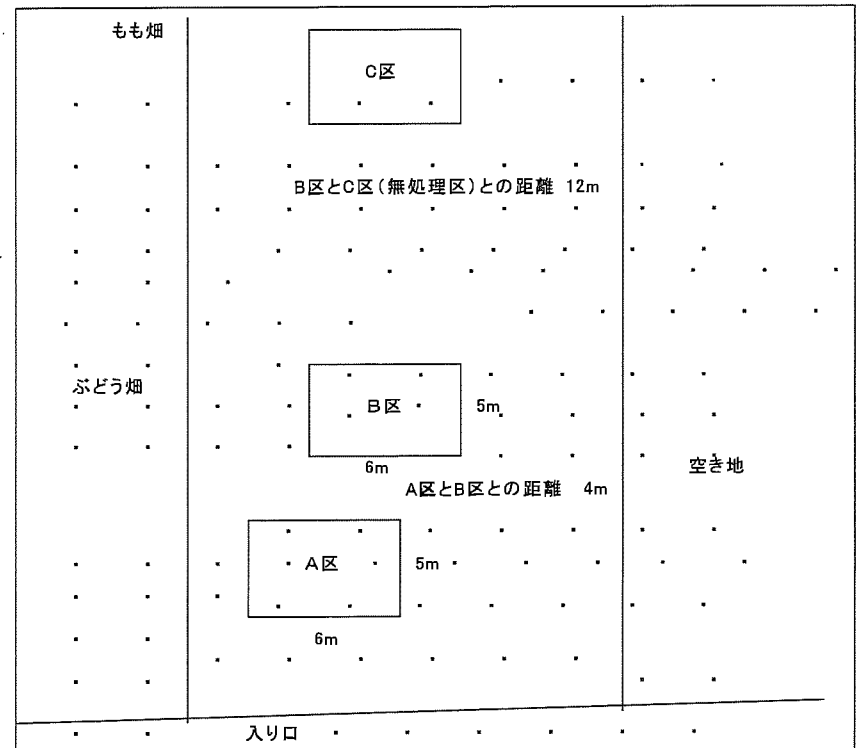
なし

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 A区, B区, C区:30㎡(5m×6m)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 棚高:1.5m

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)



(平成24年度 調理加工(山梨)キウイフルーツ)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 山梨試験場

1. 処理方法(下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

①ロブラール水和剤 ②スミブレンド水和剤 ③コテツフロアブル ④アドマイヤーフロアブル ⑤アディオン乳剤 ⑥ペンレート水和剤 ⑦フロンスайд水和剤 ⑧モスピラン水溶剤

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
									10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
9月20日		⑤⑥	無処理					⑤2000倍 ⑥2000倍	333L	⑤5.0ml/10L/30㎡ ⑥5.00g/10L/30㎡	成熟期	茎葉全面散布
9月27日		⑤⑥⑦						⑤2000倍 ⑥2000倍 ⑦1000倍	333L	⑤5.0ml/10L/30㎡ ⑥5.00g/10L/30㎡ ⑦10.00g/10L/30㎡	成熟期	茎葉全面散布
10月4日	①②	⑤⑥⑧						①1000倍 ②2000倍 ⑤2000倍 ⑥2000倍 ⑧2000倍	333L	①10.00g/10L/30㎡ ②5.00g/10L/30㎡ ⑤5.0ml/10L/30㎡ ⑥5.00g/10L/30㎡ ⑧5.00g/10L/30㎡	成熟期	茎葉全面散布
10月11日	①②	⑤⑥⑧						①1000倍 ②2000倍 ⑤2000倍 ⑥2000倍 ⑧2000倍	333L	①10.00g/10L/30㎡ ②5.00g/10L/30㎡ ⑤5.0ml/10L/30㎡ ⑥5.00g/10L/30㎡ ⑧5.00g/10L/30㎡	成熟期	茎葉全面散布
10月19日	①②③④	⑤⑥⑧						①1000倍 ②2000倍 ③2000倍 ④2000倍 ⑤2000倍 ⑥2000倍 ⑧2000倍	333L	①10.00g/10L/30㎡ ②5.00g/10L/30㎡ ③5.0ml/10L/30㎡ ④5.0ml/10L/30㎡ ⑤5.0ml/10L/30㎡ ⑥5.00g/10L/30㎡ ⑧5.00g/10L/30㎡	成熟期	茎葉全面散布
10月25日	①②③④							①1000倍 ②2000倍 ③2000倍 ④2000倍	333L	①10.00g/10L/30㎡ ②5.00g/10L/30㎡ ③5.0ml/10L/30㎡ ④5.0ml/10L/30㎡	成熟期	茎葉全面散布
月 日												

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
9月20日	<small>処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等</small> ㈱丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉(果実を含む)全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	9時10分から散布。散布時の天候:晴れ。無風。
9月27日	㈱丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉(果実を含む)全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	8時45分から散布。散布時の天候:晴れ。無風。
10月4日	㈱丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉(果実を含む)全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	9時50分から散布。散布時の天候:晴れ。無風。
10月11日	㈱丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉(果実を含む)全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	9時45分から散布。散布時の天候:曇り。無風。
10月19日	㈱丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉(果実を含む)全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	13時50分から散布。散布時の天候:晴れ。微風。風の影響なし。
10月25日	㈱丸山製作所製背負式バッテリー噴霧機(MSB111)・付属二頭ノズルを用いて、茎葉(果実を含む)全体に葉から滴り落ちる程度を散布した。	13時40分から散布。散布時の天候:晴れ。微風。風の影響なし。
月 日		
月 日		

(1)展着剤 使用せず

(2)備考 薬剤を均一に散布するために試験区30㎡を30区画(1m×1m)に分け時間計測により散布した。また、各薬剤は試験場内または試験園場で散布直前に混濁液を調製した。

12. 試料採取(試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順(区番号順)	試料送付量	試料送付月日
10月26日	A-1	B-1	C					C区:9時30分~10時5分 晴れ B区:10時10分~10時24分 晴れ A区:10時30分~10時50分 晴れ	C→B→A	C区35個(3880g)×1分析 B区35個(4105g)×1分析 A区35個(4135g)×1分析	10月26日
10月28日	A-2							A区:8時20分~8時35分 雨	A	A区35個(4565g)×1分析	10月28日
11月1日	A-3							A区:13時30分~13時50分 晴れ	A	A区35個(4410g)×1分析	11月1日
11月2日		B-2						B区:9時50分~10時10分 晴れ	B	B区35個(4285g)×1分析	11月2日
11月9日		B-3						B区:10時35分~10時55分 曇り	B	B区35個(4410g)×1分析	11月9日
月 日										各区 以上× 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について(該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
10月26日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)2. 熟期は(やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他() 4. 原因
10月28日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)2. 熟期は(やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他() 4. 原因
11月1日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)2. 熟期は(やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他() 4. 原因
11月2日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)2. 熟期は(やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他() 4. 原因
11月9日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)2. 熟期は(やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他() 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)2. 熟期は(やや早い 通常 やや遅熟) 3. その他() 4. 原因

(1) 試料採取方法

薬剤散布時に分けた30区画の境界部を除きディスプレイ手袋をはめた手で、1区画1個以上合計40個以上を採取した。(手袋は試験区毎に交換した。)

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、脱殻・型すり等の方法、雨後の試料調製方法及び試料の梱包方法を記載

採取後は圃場隣接地で、各区大きさの揃った果実を35個選び、新しいダンボール箱にわら半紙を緩衝材として用いて梱包した。

ダンボール箱の内側に「試験区ラベル」を張り、外側には「梱包シール」を張った。処理区と無処理区は別梱包とした。

ただし10月28日の採取時には、降雨により試料が濡れていたため試験場に持ち帰り、試料調製室で風乾後梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関: 一般財団法人 残留農業研究所

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、 輸送会社等 採取当日、ヤマト運輸(株)のクール宅急便(冷蔵)で翌日午前中着指定で送付した。

(5) 備考



試験区A 2012年9月20日



試験区B 2012年9月20日



散布状況 2012年9月20日



散布時の果実(B区) 2012年9月20日



散布時の果実(A区) 2012年10月4日



薬剤秤量の様子 2012年10月19日



散布状況 2012年9月27日



試料採取 2012年10月26日



梱包の様子 2012年10月26日



梱包の様子 2012年10月26日



試料風乾の様子 2012年10月28日



風乾中の試料 2012年10月28日

平成24年度 農業作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 H24年10月 ~H24年11月)

1-1. 被験物質 (処理区A)

(1) 一般名・剤型 ①イミダクロプリド(アトマイヤーフロアブル)、②イプロジオン(ロフテール水和剤)、

③ジエトフェンカルブ(スミブレント水和剤)、④クロルフェナピル(コテツフロアブル)

(2) 有効成分名及び成分含有率 ①イミダクロプリド: 20.0%、②イプロジオン: 50.0%、

③ジエトフェンカルブ: 12.5%、④クロルフェナピル: 10.0%

(3) 被験物質の Lot No. ①T1C01、②PD12C00005、③HI106、④IOM01

1-2. 被験物質 (処理区B)

(1) 一般名・剤型 ⑤アミダゾールナム(フロンサイト水和剤)、⑥アセチミプリド(モスビラン水溶剤)、

⑦ベニミル(ベソレント水和剤)、⑧ベルマトリン(アティン乳剤)

(2) 有効成分名及び成分含有率 ⑤アミダゾールナム: 50.0%、⑥アセチミプリド: 20.0%、

⑦ベニミル: 50.0%、⑧ベルマトリン: 20.0%

(3) 被験物質の Lot No. ⑤778881、⑥A2B07、⑦1C549F、⑧0Y04N

2. 農作物名 キウイフルーツ 品種名 ヘイワード

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会高知試験場

試験圃場所在地 高知県土佐市波介 農家露地ほ場

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 寛、奴田原 誠克、森 克彦、川北 充彦、谷山 頼清

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土()・埴土 (を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

H24(キウイフルーツ):

1/8 機械油乳剤15倍 散布、5/6 アグリマイン100 1000倍 散布、

6/9、9/2 スプライト水和剤1500倍、ダコニール1000 1000倍 散布

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい砂番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい砂・10a栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別: 露地栽培、 有袋・無袋の別: 無袋、 仕立て法: 棚仕立て

樹齢: 25年生、 樹高: 約2m 栽植密度(/10a): 約110本(樹間3.0m×3.0m)

施肥 H23、12/3: 園芸有機777 60kg/10a

開花日: 12/5/25~6/5、人工受粉日: 12/5/27~6/3。その他一般管理は慣行に従った。

収穫期間(適期) : 11月中下旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

農業使用なし

10. 試験区

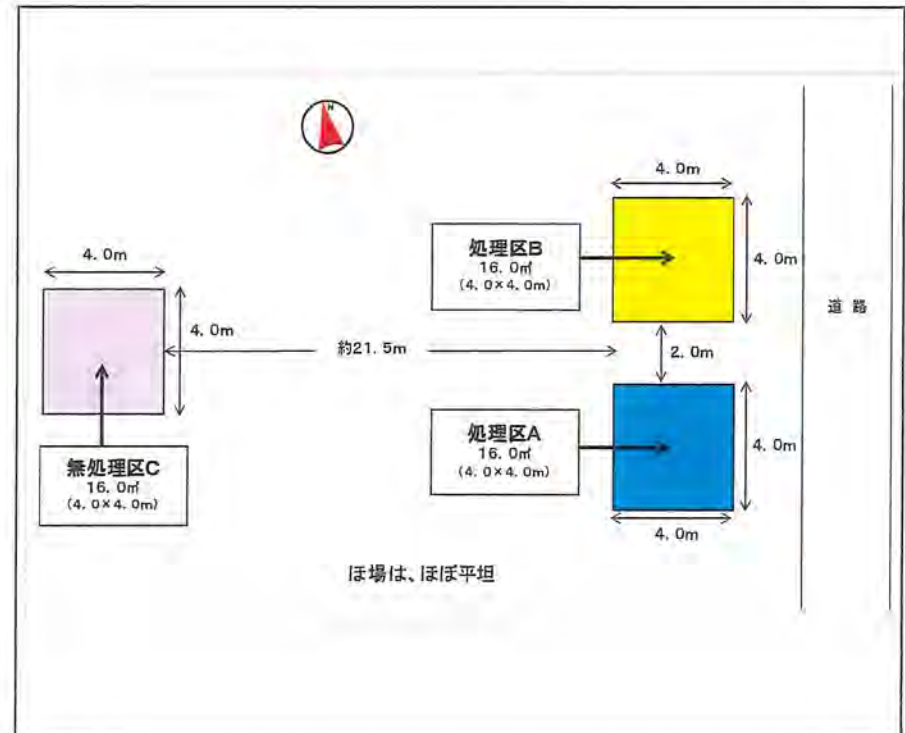
(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 16.0㎡ (4.0m×4.0m)

無処理区 C: 16.0㎡ (4.0m×4.0m)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ —

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点をつなぎ、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の軌方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

処理月日	区分	A区	B区	C区	D区	処理濃度	処理量		処理時の生育ステージ	処理方法(概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
124 10月 24日		②、③	/	無処理		②1000倍、③2000倍	350L	②5.6g、③2.8g /5.6L /16.0m ²	成熟期	散布
10月 31日		②、③	/			②1000倍、③2000倍	350L	②5.6g、③2.8g /5.6L /16.0m ²	成熟期	散布
11月 7日		①、 ②、③、	/			①2000倍、②1000倍、③2000倍、④2000倍	350L	①2.8mL、②5.6g、③2.8g、④2.8mL /5.6L /16.0m ²	成熟期	散布
11月 13日		①、 ②、③、	/			①2000倍、②1000倍、③2000倍、④2000倍	350L	①2.8mL、②5.6g、③2.8g、④2.8mL /5.6L /16.0m ²	収穫期	散布
月 日										
月 日										
月 日		①イミダクロプリト(アトマイーフロアブル)								
月 日		②イプロジオン(ロフテール水和剤)								
月 日		③ゾエトフェンカルブ(スミフレント水和剤)								
月 日		④クロルフェニル(コテツフロアブル)								

処理月日	区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
				124 10月 24日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。
10月 31日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:15、処理時天候 晴れ、	処理当日天候 晴れ、	風の影響はなし
11月 7日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:00、処理時天候 晴れ、	処理当日天候 晴れ、	風の影響はなし
11月 13日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 12:20、処理時天候 くもり、	処理当日天候 くもり時々晴れ、	風の影響はなし
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

(1) 展着剤 _____ 使用した区番号 _____ 展着剤名 _____ 濃度または量 _____

(2) 備考 _____

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区分							試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号				
H24 11月 14日	A-1	B-1	C (無処理)					A-1 : 9:20~9:25 雨 B-1 : 9:10~9:15 雨 C : 8:55~9:05 雨	C→B→A	各区30個以上×1分析	11月 14日
11月 16日	A-2							A-2 : 9:00~9:05 晴れ	A	30個以上×1分析	11月 16日
11月 20日	A-3							A-3 : 9:50~9:55 晴れ	A	30個以上×1分析	11月 20日
11月 21日		B-2						B-2 : 9:05~9:10 晴れ	B	30個以上×1分析	11月 21日
11月 28日		B-3						B-3 : 9:00~9:05 晴れ	B	30個以上×1分析	11月 28日
月 日										各区 以上× 分析	月 日
月 日										各区 以上× 分析	月 日

採取月日	区分	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)			
H24 11月 14日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因
11月 16日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因
11月 20日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因
11月 21日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因
11月 28日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因
月 日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因
月 日		1. 試料の大きさは (やや大きい <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い <input type="radio"/> 通常 やや過熟)	3. その他 ()	4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区全体から偏りがないように、できるだけ大きさのそろった果実を手で採取し、未使用の包装紙を敷いた採取用カゴに入れ高知試験場試料調製室まで自動車ですんだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した果実は試験区毎に未使用の包装紙を敷いたダンボール箱に同じ方向に並べ、上から包装紙を被せ果実が動かないように隙間に包装紙を詰めた。ダンボール箱には試験区ラベル及び貼り付け梱包した。

(3) 試料送付先 分析場所 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便を使用し、送付翌日午前着で送付した。

(5) 備考

気象表

観測地点 高知市比島町 高知地方気象台 (アメダス観測地点、試験地からの距離: 約 15 km)

記号: ○: 薬剤処理日

試料調製場所 高知県土佐市波介 農家露地ほ場

△: 試料採取日

気温: 平均気温 (1 時間毎) 降水量: 日界 時

(24年)

測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
10	気温 (施設内温度)										20.3	20.7	19.5	19.0	19.9	20.4	21.0	21.0	19.5	18.9	18.0	19.1	19.2	16.9	15.3	16.1	16.9	18.4	18.9	17.6	16.5	15.7	
	降水量										6.5	4.5					0.5	52.5	2.5				4.5	7.5				12.0	0.5				
	薬剤処理/試料採取										○						○								○								○
	区記号 (試料番号)											B						B								A, B							A, B
11	気温 (施設内温度)	13.4	13.0	13.2	13.7	16.5	16.8	14.2	14.1	15.6	14.6	14.4	14.2	11.4	9.3	8.6	11.3	12.4	11.2	11.4	12.1	12.1	12.3	13.3	12.6	10.9	12.7	9.0	8.8				
	降水量					1.5	8.5						35.5		0.5			53.5						1.5	10.5		4.0	21.0					
	薬剤処理/試料採取																○																△
	区記号 (試料番号)																	A, B															A, A-1, B-1, C, A-2, A-3, B-2, B-3
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																

アメダスデータを利用した。

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

(24 - 調理加工(高知)キウイフルーツ)



写真1 ほ場の全景



写真2 ほ場での果実の様子



写真3 10月10日散布時



写真4 10月16日散布時



写真5 10月24日散布時



写真6 10月31日散布時



写真7 11月7日散布時



写真8 11月13日散布時

調理加工キウイフルーツ作物残留試験の各散布時における果実等 (高知)